

留学ガイド 2024

STUDY ABROAD GUIDE

留学ガイド2024 目次

所長メッセージ	1
留学プランニング	
留学は、世界に羽ばたく第一歩	2
自分の留学計画を具体化させよう	2
主な語学試験	7
2024年度国際交流センター・年間スケジュール	10
プランニングチャート	12
留学制度	
獨協大学の留学制度	14
短期留学 共通事項	18
短期協定校留学	18
短期協定校 留学プログラム	19
短期協定校留学体験記	24
短期協定校留学オンラインプログラム・参加体験記	25
短期認定留学	26
2024年度短期認定留学プログラム一覧	27
短期認定留学（学外ドイツ語活動）	28
短期認定留学体験記	29
短期留学 Q & A	30
短期留学により修得した単位の認定について	31
長期留学 プランニングから留学出発まで	36
交換留学	
交換留学の資格・条件	38
2025年度交換留学募集要項	42
協定校情報	46
認定留学	
認定留学の資格・条件	65
これまでの認定留学先大学一覧	70
長期留学生（交換・認定）共通事項	
留学期間の延長	72
奨学金	72
留学前に行うこと	76
渡航手続き	78
留学時の学納金の取り扱い	80
留学中に行うこと	81
留学後に行うこと	82
長期留学により修得した単位の認定について	84
長期留学 Q & A	93
長期留学体験記	96
危機管理・安全対策	
安全な海外留学のために	104
危機管理	106
海外渡航時に役立つサイト	115
就職活動	
留学と就職	116
長期留学した学生の主な進路一覧	117
留学経験者による就職活動レポートとアドバイス	118
留学統計資料	120

「見えない文化への気づき」

国際交流センター所長
野原 ゆかり



コロナ禍での制限された生活も終わり、ようやく日常が戻ってきました。移動する喜びや、大切な人たちと会って同じ空間で共感できる幸せを噛みしめていることでしょうか。2023年春以降は、コロナ禍前とほぼ同様の形態で渡航を伴う留学も再開し、海外に飛び立つ学生の動きが見られる一方で、本学のキャンパスでは交換留学生在が学修のみならずさまざまな形で在學生との交流を深めています。このようにキャンパス内の国際交流が再び動き出していることは、教職員にとっても大変うれしいことです。

今、このメッセージを読んでいる皆さんは、すでに留学に一步踏み出しているのだと思います。行きたい国や学びたいことはもう決まっていますか。国際交流センターで相談してみましたか。留学を思い立ってから、単位のことや卒業のタイミング、就職活動のこと、そして経済的な負担など、悩みは多いと思います。しかし、留学した自分を想像してみてください。今のこの時間もまた楽しいものではないでしょうか。留学を充実させるためにも、さらには自身のキャリア形成につなげるためにも大切な時間だと言えます。

さて、教員としての私の仕事は大きく2つあり、ひとつは海外からの留学生に対する日本語教育で、もうひとつは、言語教育（主に日本語教育）にかかわる学問を学部生の皆さんに教えることです。そのため、協定校からの交換留学生や異文化に関心のある学部生と話す機会も多いです。学生の皆さんには、留学する前にぜひキャンパスでの国際交流を通して異文化間のコミュニケーションの機会を作ってほしいと思います。

本学では異文化や多文化をテーマにした授業が多く開講されています。すでに履修した人もいることでしょう。皆さんは、文化という言葉から何をイメージしますか。授業で同様の質問をすると、多くの方が言葉、料理、衣服、音楽などを挙げます。これらは見える部分で認識しやすいものです。一方、文化には意識、価値観、考え方、コミュニケーション・スタイルといった見えない部分もあります。これらは社会や人との関わりのなかで気づくことが多いと言われています。日本語日本文化のなかで気づいた留学生の例を挙げましょう。留学生が日本人とのやりとりで戸惑うこととしてよく言われるのが、「またご飯こう」や「また連絡するね」という言葉とその意図です。期待していてもそれが実現したことがない、というものです。日本語日本文化のなかでは、別れ際の挨拶のひとつとしてこれらの表現を使っている人が多いのではないかと思います。メッセージを発した側は、誘いや連絡の約束をしたという意識はない場合がほとんどだと思います。皆さんはどうですか。思い当たりますか。日本語日本文化で生きてきたあるいは十分理解している者同士なら、暗黙の了解として、挨拶だということで済むのですが、相手がそうでない場合は誤解が生じます。その誤解は人間関係にも影響することでしょう。その文化に入って初めて気づくということも個人の成長には大切なことですが、知識で準備することもまた大切なことです。

今の時間を有効に使い、見えない文化にもぜひ関心を持って留学の準備をしてほしいと思います。そして、留学の経験が皆さんの豊かな人生につながることを願っています。



留学プランニング

Study Abroad Planning

》 留学は、世界に羽ばたく第一歩

獨協大学では、長期休業期間を利用した短期留学プログラム（夏季・春季）と、1～2学期間にわたり留学する長期留学プログラムを用意しています。短期留学は語学力の向上や異文化・生活体験を目指すものであり、長期留学は専攻分野の学習・研究を主目的としています。自分の目的と本学の留学制度を照らし合わせ、自分に合った留学計画を考えてください。

留学は、留学形態にかかわらず十分な準備が必要となります。特に、1～2学期間にわたる長期留学の場合は、留学先大学への出願手続きやそのための語学能力試験の受験準備も含め、留学に出発する約1年半以上前から準備を始めることが求められます。留学に関する情報収集や語学能力試験のスコア取得に向けてできるだけ早い時期から取り組みましょう。

ただし、留学がゴールというわけではありません。卒業までに大学でどのようなことを身につけたいかという長期的な学習計画、卒業後の進路を視野に入れた人生計画のステップのひとつが留学なのです。

まずは、この「留学ガイド」に目を通すことから留学準備を始めてください。



自分の留学計画を具体化させよう

留学は、留学費用の準備や保証人の同意や協力を必要とすることから、自分の力だけですぐに実現できるものではありません。留学を実りあるものとするためにも、入念に留学計画を立て、早めに準備することが大切です。

1. 留学目的の明確化

留学したいと思ったら、まず留学の目的を明確にしましょう。留学は、語学力の向上、国際感覚の醸成、複眼的な視点の獲得、異文化理解など、得るものが多い反面、肉体的、精神的、金銭的な面で大きな負担がかかります。それだけに、「ぼんやりとした留学のイメージ」を可能な限り具体化させ、目的を明確にすることが大切です。

留学中は、言葉の問題のみならず、文化や習慣の違いからくるストレス等、さまざまな問題に直面します。留学の目的・目標をしっかりと持つことは、これらの困難を克服し、大きな留学成果を上げるための重要な基盤であると言えます。まず、「留学後にどんな自分になりたいのか」を想像しながら、留学計画を立ててみましょう。



- ①なぜ留学をしたいのか？
- ②何を目的に留学をするのか？
- ③その目的は留学をしなければ達成できないのか？
- ④留学を通して何を手に入れたいのか？
- ⑤留学の経験を将来どのように活かしたいのか？

2. 留学情報の収集・留学先の選定

留学に関する正確な情報を得た上で、自分に合った留学先を選びましょう。情報収集の際には、二次情報ではなく、必ず「オリジナルの情報源」から最新情報を得よう心がけてください。大学の情報を得るには、各大学のHPが最も確かな情報源です。提供されている授業、学内外周辺的环境、宿舎の情報、おおよその生活費等、多くの情報を入手することができます。国によっては、駐日大使館のHP上で留学情報を提供している場合もあります。また、

指導教員や受講している授業の教員に積極的に相談することも重要です。

ビザ取得の手続きや現地の治安に関しては、駐日大使館のHPや外務省が提供している海外安全情報等を確認し、最新の情報を入手するようにしましょう（P.115「海外渡航時に役立つサイト」）。

留学先の選定にあたって考慮すべきポイントは、①学びたい分野、②国・地域、③留学時期・期間、④大学・機関の特徴・規模・施設・地域環境・留学生数、⑤出願時に要求される能力（成績・語学力等）、⑥学費その他の必要経費等です。特に重要な点は、留学先の学科や設置科目の内容が、自分の専攻分野や関心に見合ったものであるかということです。各大学・機関のHPや学校案内（Catalog、Bulletin等）で確認しましょう。



- ①学びたい分野は？
- ②留学したい国・地域は？
- ③留学する期間、留学開始時期は？
- ④どのような大学（規模・施設・環境）に留学したいのか？ 等

インターネットや書籍等を活用し、自分自身で情報収集する習慣をつけましょう。

3. 国際交流センターに相談してみよう

「留学に興味はあるけれど、何から準備を始めたらいいか、わからない」という人は、まず天野貞祐記念館2階にある「国際交流センター」を訪ねてみましょう。各言語圏別の専門スタッフが相談に応じるほか、さまざまな留学関係の書籍、資料等を取り揃え、一部貸出も行っています。また、留学から帰国した学生のアンケート等も閲覧できます。

言語圏／曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
ドイツ語	○	○	○	—	○
英語	○	○	○	○	○
フランス語	—	○	—	○	○
スペイン語	○	—	○	○	—
中国語	○	—	—	○	—
韓国語	—	○	○	○	○
窓口オープン時間	通常：月～金 9：00～17：00、土 9：00～12：00 ※夏季休業期間中の開室についてはPorTaⅡ掲示板【お知らせ・ご案内】をご確認ください。				
場所	天野貞祐記念館2階				

一般的な留学相談については、窓口オープン時間であれば、曜日に関係なくいつでも相談に応じます。

内容により別途予約をお願いする場合があります。

またZoomによる留学相談も行っています。オンライン予約システム（DOORS）から事前予約してください。

変更がある場合は、PorTaⅡ掲示板【留学支援・国際交流】でお知らせします。

4. 留学説明会、語学試験説明会に参加してみよう

国際交流センターでは毎年4月に行う「海外留学ガイダンス」をはじめとして、さまざまなセミナー、説明会や交流会を開催するほか、留学や海外体験に関する情報提供を行っています。主なものはP.10の2024年度国際交流センター・年間スケジュールに記載しています。詳細はPorTaⅡ掲示板【留学支援・国際交流】で告知します。

5. 留学時期・期間の決定

【短期留学】

短期留学は、大学の夏季休暇・春季休暇を利用して海外の提携大学等で行われる約1ヶ月の「短期集中語学研修」で、原則として誰でも参加できます（定員超過の場合のみ選考あり）。なお、参加時期に卒業を予定している8学期生は、本学卒業（3月20日または9月20日）までに終了するプログラムに限り参加できます。

【長期留学】

長期留学は、2～3年次に留学した場合は留学期間を含めて4年間で卒業することも可能ですが、単位の認定および修得状況により卒業時期が延びる可能性があります。卒業後の進路やこれまでの学習状況等を勘案し、無理のない計画を立てましょう。

また、日本と他国の学年暦の違いが障壁になる場合があります。海外の大学の多くは通常8～9月が年度開始時期となっており、この時期から留学を開始するのが一般的です。（学事日程により春学期から留学が開始できない国・地域・留学先があります。）年度始めにオリエンテーションがあることや学習環境への適応を考えると、留学開始を現地の年度始めに合わせることを望ましいと言えます。基本的には学期ごとに入学できるシステムになっている大学でも、留学生に対しては年度始めだけに制限している場合もあります。

オーストラリア、韓国等は2～3月が年度始めとなっており、獨協大学の学年暦とほぼ対応しています。このような地域へ4年次に留学した場合は4年間で卒業できる可能性もありますが、帰国してすぐに卒業となるので、留学前に単位修得の条件等を必ず教務課各学部係窓口で相談するとともに、就職、大学院進学等、卒業後の計画を綿密に立て、キャリアセンターにも相談しながら準備をする必要があります。



留学の目的、留学希望先の国・地域、在学中の学習・履修計画に合わせて、最適な留学プログラムを選びましょう。

6. 留学資金計画

留学は学力、語学力とともに、留学経費をまかなうことのできる財政能力が重要です。留学費用は、渡航前の準備段階から発生します。例えば、語学能力試験の受験料、留学が決まった後は渡航費、ビザ申請費、保険料が必要になります。渡航後の留学費用の大部分は授業料と生活費（住居費・食費等）で、このほかに教材費、通信費、その他雑費等が加わります。留学経費は、国および地域、大学（公立・私立の別、協定校の場合は協定内容）、住居や食事の形態（学生寮・アパート、外食・自炊等）によって異なります。短期留学では約40万円から80万円以上、長期留学では1年間に約150万円から400万円以上かかるところもあります。また外国為替レートの変動により想定以上に費用がかさむこともあります。

留学先、渡航国によっては、留学経費を負担できる経済力を証明できないと入学許可書およびビザが発行されません。一般的には本人の銀行残高証明書や奨学金の受給証明書を提示する必要があります。

以上のことを念頭に、綿密な資金計画を立ててください。また、獨協大学の交換・認定留学制度を利用して留学する場合は、奨学金を申請することもできます（P.72～）。なお、留学先での就労は、多くの国で原則として禁止されています。

【長期留学の費用】

留学に必要な費用の主なものは、次の通りです。

1. 留学・渡航準備にかかわる費用

パスポート・学生ビザの取得、留学準備のため個人的に参加する語学研修の授業料等

2. 往復渡航費

3. 留学先大学へ支払う授業料、施設費等

留学中は、本学への授業料は全額免除されます。ただし交換留学では、協定に基づき、留学先大学へ授業料を納入する代わりに、獨協大学へ授業料を納入する場合があります。

※長期留学中の本学への学納金および大学からの学納金納付案内のスケジュールについては、P.80をご確認ください。

4. 住居費

5. 保険料等（本学が加入を義務づけている海外旅行保険等（P.106参照）、渡航国・地域や留学先が加入を義務づけている医療保険等）

6. 食費、書籍・教材費、被服費、交通費、通信費等、日常生活に必要な費用

【認定留学に必要な費用概算（参考）】

以下に示す費用は、2022年度までに認定留学した学生から提出された留学アンケート等の結果に基づくものです。ただし、留学する大学や地域等によって異なる場合があるため、あくまでも目安として利用しましょう。

留学先	留学先大学へ支払う登録費・学費等（年額）	学費以外に現地で必要な費用総額（年額）	獨協大学へ支払う費用※	
			入学年度 2016～2023年度	入学年度 2024年度以降
ドイツ語圏の大学	400～3,350ユーロ（州による）	11,000ユーロ	施設設備費 および 学生教育研究災害傷害 保険料 280,800円／年 ＋ 父母の会年会費 12,000円／年	教育充実費 （在籍基本料分） および 学生教育研究災害傷害 保険料 160,800円／年 ＋ 父母の会年会費 12,000円／年
英国の大学	10,000～17,000ポンド	9,100～11,400ポンド		
オーストラリアの大学	15,000～33,000豪ドル	16,000～20,000豪ドル		
アメリカの大学	13,000～28,000米ドル	15,000～20,000米ドル		
カナダの大学	12,000～20,000カナダドル	12,000～15,000カナダドル		
フランスの大学	2,000～7,000ユーロ	12,000～14,000ユーロ		
スペインの大学	7,000～9,000ユーロ	7,000～12,000ユーロ		
メキシコの大学	32,000～40,000メキシコペソ	48,000～110,000メキシコペソ		
中国の大学	17,000～30,000元	50,000～60,000元		
台湾の大学	110,000～120,000ニュー台湾ドル	150,000～300,000ニュー台湾ドル		
韓国の大学	600万～1,000万ウォン	1,000万～1,500万ウォン		

参考：1米ドル≒149円、1ポンド（英国）≒192円、1カナダドル≒112円、1ユーロ≒162円、1豪ドル（オーストラリア）≒100円、1メキシコペソ≒10円、1元（中国）≒21円、1ニュー台湾ドル≒5円、1ウォン（韓国）≒0.12円（2024年1月時点）

交換留学の費用は、各協定校の紹介ページ（P.46～）を参照してください。

※長期留学中の本学への学納金および大学からの学納金納付案内のスケジュールについては、P.80をご確認ください。

7. 学力の向上

留学先の受入れ可否の決定には、獨協大学の学業成績（GPA）（P.39参照）が考慮されます。また、十分な留学成果を収めるには、その裏付けとなる基本的な学力が備わっていることが必要です。さらに、留学先では授業中の発言や積極的な参加態度も大事な評価対象となりますので、知識を増やすだけでなく、自分の意見を持ち、進んで発言することを日頃から心がけましょう。



留学のためには、語学力だけでなく学業成績（GPA）も重要です。

獨協大学で履修する授業にも日頃から真面目に取り組み、良い成績を修められるようにしましょう。

8. 語学力の向上

語学能力の向上を目的とする短期留学プログラムでは、語学スコア等の参加要件はありませんが、長期留学の応募には語学スコア要件が設けられていますので、留学先大学の要件を確認する必要があります。

HP等で調べ、受験プランを立ててください（交換留学希望者は、P.42~の応募条件を参考にしてください）。語学試験の受験準備は留学先選びや情報収集と並行して、またはそれ以前から始めることが必要です。各種語学能力試験については、本冊子を参照するとともに、自分で実施団体のHPを確認しましょう。

語学力の向上には、地道な勉強が必要です。学内の施設や視聴覚教材、外国語講座を最大限活用し、語学力を高める努力をしてください。

●図書館

- ①3階 言語・語学エリア：多読本、語学検定試験対策の本、CDも借りられます。Maruzen eBook Library収録タイトルなど、オンラインで利用できる英語多読本もあります。
- ②3階 AVコーナーブース：DVDなどで各国の映画を活用しよう。
- ③3階 発話トレーニングブース：ALC NetAcademy（アルクネットアカデミー）などを使って、発音・発話練習ができます。教科書の音読もOKです。
- ④1階 日本学コーナー：日本について外国語や対訳で書かれた資料を言語ごとに配架。日本を紹介する際に役立ちます。
- ⑤1階 新聞コーナー：英字新聞をはじめ外国語の新聞が読めます。Nexis Uni® などのデータベースを使えば、世界の新聞を検索して、記事を読むこともできます。
- ⑥Galeデータベース：地球規模の社会課題について学習に役立つ文献を収録。英語の難易度表記、音声情報のテキスト付。

●ICZ (International Communication Zone) 天野貞祐記念館3・4階

- ①チャットルーム：ドイツ語／英語／フランス語／スペイン語／中国語／韓国語の無料会話レッスン
- ②マンツーマンオンライン英会話
- ③ピアサポーター：語学学習に力を入れている先輩に、アドバイスや経験を教えてもらえます。
- ④各言語圏ルームで最新情報を入手：世界のラジオ放送、新聞、雑誌、CD、DVD等
- ⑤各種語学能力試験の受験料補助、対策講座の実施
- ⑥留学生との交流・情報交換の場として利用しよう！
- ⑦何でも相談：大学院生等によるドイツ語／英語／フランス語の学習相談

●英語学習サポートルーム (English Learning Support Room) 中央棟1階

全カリ英語履修 8学科対象（ドイツ語学科、フランス語学科、経済学部、法学部）

- ①英語学習相談：英語学習アドバイザーが学習上の悩みや疑問に答え、個人に合わせた学習計画の支援を行います。英語学習サポートルームの窓口またはMy DOC (My Dokkyo Online Community) から予約可能
- ②ミニ講座：昼休みに、英語学習アドバイザーが効果的な学習法などのワークショップを実施
- ③ELSR Newsletter：英語学習に役立つ情報満載のニュースレターを定期的に発行

●英語学習相談コーナー (Consulting Corner for English : CCE) 言語文化学科対象

- ①英語学習サポート：言語文化学科の英語担当教員が個人・グループ相談を受け付け、英語力伸長を支援します。オンライン予約システム (DOORS) から事前予約。空きがあれば当日参加可。
- ②ワンポイントアドバイス講座：テーマを設け、英語学習のヒントをお届けします。



- 長期留学（1～2学期間）には、一定の語学力が求められます。
- 語学力は一朝一夕では身につかないので、留学時期にかかわらず、早いうちから継続的に学修する必要があります。
- 学部留学を希望する場合は、ほとんどの大学で指定の語学試験（英語の場合はTOEFL iBT®、IELTS™など）のスコア提出が求められます。受験機会は限られており、スコア入手までに時間を要しますので、早めに受験準備をしましょう。
- 語学能力試験のスコア提出が求められない大学への留学を希望する場合でも、自分の語学レベルを知るためにぜひ積極的に語学能力試験を受験してください。

主な語学試験

※語学検定試験の日程等は予定です。最新の情報は各自でご確認ください。

	試験名	試験概要	実施団体／問い合わせ先
ドイツ語	ゲーテ・インスティトゥート ドイツ語検定試験	世界で通用するドイツ語統一試験。A1レベルからC2レベルまで6段階が設けられている。C1以上の合格証書は、ドイツの大学に入学する際の語学試験の代わりになる場合がある。 本学学生は、割引コードを申請し、取得したコードを使用して申し込むと、受験料が割引される。 本学の教育研究支援センター（ICZ）では、2024年度春・秋学期には以下の対策講座を開講予定。 Goethe-Zertifikat A2 準備講座 Goethe-Zertifikat B1 準備講座	東京ドイツ文化センター 教育研究支援センター（ICZ）
	ÖSD （Österreichisches Sprachdiplom Deutsch）	オーストリア政府公認のドイツ語能力検定試験。A1レベルからC2レベルまで6段階が設けられている。各レベルとも筆記試験（読解、聴解、作文）と口述試験によって構成されている。C1以上の合格証書は、ドイツ語圏の一部の大学に入学する際の語学試験の代わりになる場合がある。試験は、年2回実施。	ÖSD関東事務局
	ドイツ語技能検定試験	「独検」の名前で広く知られている日本で行われる代表的なドイツ語の技能検定試験。レベルは5級から1級まで（準1級を含む）6段階が設けられている。夏期試験は2級～5級のみ、冬期試験は全級で実施。本学の教育研究支援センター（ICZ）では、2024年度、以下の級で模試を実施予定（無料）。春学期2級・3級（6月）、秋学期準1級・3級（11月）	（公財） ドイツ語学文学振興会 独検事務局 教育研究支援センター（ICZ）
	TestDaF	世界共通のドイツ語統一試験。読解・聴解・筆記・口述それぞれの分野でTDN 3～TDN 5までの3段階の判定があり、ドイツの大学へ留学する際の語学能力証明として認定される。 国内では、東京ドイツ文化センターと本学でのみ例年春と秋に実施。（2024年度より本学での実施を再開予定）	東京ドイツ文化センター
英語	TOEFL iBT® （Test of English as a Foreign Language）	英語を母語としない人々の英語コミュニケーション能力を測るテストで、TOEFL iBT® はインターネット版テストでコンピュータ受験する。日本国内では年に約50回、土日に実施。「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つのセクションからなる。各セクションのスコアは0～30の範囲で採点され総合スコア（0～120）が算出される。米国で大学学部留学に求められるスコアは61点以上。	TOEFL® テスト日本事務局
	TOEFL ITP®	マークシート形式の団体向けテストプログラム。Listening、Structure / Written Expression（文章表現や文法の知識）、Readingで構成され、スコアの範囲は310～677点で、TOEFL iBT® と高い相関性を持つテストである。学内実施のテストスコアは本学の一部の協定校で出願要件として利用できる。また、TOEFL iBT® 受験準備としても活用できる。 2024年度は年2回（6月、10月）学内で実施予定。	教育研究支援センター（ICZ）
	IELTS™ （International English Language Testing System）	海外留学や研修のための英語力判定試験。リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのパートからなる。各パートごとの英語力がバンドスコア（1.0～9.0）で示され、さらに総合評価としてオーバーオール・バンドスコア（1.0～9.0）が出される。一般的に大学学部の入学基準は6.0～6.5。 2024年度は、年2回（9月、2月）学内で実施予定。	（公財） 日本英語検定協会 IELTS™東京テストセンター （一財） 日本スタディ・アブロード・ファンデーション（JSAF） 教育研究支援センター（ICZ）
	実用英語技能検定 （英検）	国内最大規模の英語検定試験。「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を、筆記・リスニング・スピーキングのテストで直接的に測定し合否を判定。従来型（一次試験と二次試験を2日間で行う）とS-CBT（スピーキングテストをパソコン上で吹き込み4技能を1日で判定）がある。 レベルは5級から大学上級程度の1級（準2級・準1級を含む）までの7段階で、3級以上はスピーキングの試験がある。	（公財） 日本英語検定協会

フランス語	DELF・DALF	フランス国民教育省認定のフランス語資格試験。DELF (A1・A2・B1・B2)・DALF (C1・C2) の6つのディプロムから構成されており、聴解・読解・文書作成・口頭表現の4つの能力が評価される。 DELF B2以上を取得すると、フランスの大学の学部に入學する際に義務づけられているフランス語能力評価試験が免除される。	日本フランス語試験管理センター アンスティチュ・フランセ 東京 (東京の場合)
	TCF	フランス国民教育省認定のフランス語能力検定試験 (Test de Connaissance du Français)。結果は点数で示され、欧州共通基準 (CECRL) の6段階のレベルに分けられる。聴解・語彙文法・読解の3分野からなる。 TCF TP (一般): フランス語学科は2年次の終わりに全員受験。	日本フランス語試験管理センター アンスティチュ・フランセ 東京 (東京の場合)
	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	文部科学省および在日フランス大使館文化部後援。5級から1級 (準1級・準2級含む) までの7レベル。春 (準1級を除く)・秋 (1級を除く) 実施。準2級以上の一次試験は筆記と聞き取り・書き取り。二次試験は面接形式。3級以下は筆記試験と聞き取り試験。 本学の教育研究支援センター (ICZ) では、2024年度に以下の講座を開講予定。 ・二次面接対策講座 (年1回: 6月下旬予定/無料) ・2級・準2級模試 (5月・10月予定/無料)	(公財) フランス語教育振興協会 教育研究支援センター (ICZ)
スペイン語	DELE	スペイン教育・職業訓練省のもとインスティトゥト・セルバンテスが実施する、外国語としてのスペイン語検定試験。レベルは6段階 (A1・A2・B1・B2・C1・C2) で、筆記試験 (読解・聞き取り・西作文) と口頭試験からなる。日本国内で年2回実施され、東京では4月、7月にも特別開催 (レベル限定) がある。 本学の教育研究支援センター (ICZ) では、2024年6月・10月にA2・B1・B2レベルの口頭試験対策セミナー (無料) を開講 (予定)。	インスティトゥト・セルバンテス東京 教育研究支援センター (ICZ)
	スペイン語技能検定試験 (西検)	文部科学省後援のスペイン語試験。レベルは6級から1級までの6段階。2級以上は面接形式の二次試験がある。	(公財) 日本スペイン協会西検事務局
中国語	HSK・HSKK	中国政府認定の世界共通基準の資格「漢語水平考試」。HSK (筆記試験) は1級から6級までの6段階、HSKK (口頭試験) は初級・中級・高級の3段階に分けられている。	(一社) 日本青少年育成協会 HSK日本実施委員会
	中国語検定試験	日本中国語検定協会が実施している、主に日本語を母語とする中国語学習者対象の試験。準4級から1級までの6段階。準1級と1級のみ一次試験合格者および免除者対象に二次試験 (口頭試験) を実施。	(一財) 日本中国語検定協会
	TOCFL (華語文能力測驗)	台湾の国家中国語能力試験推進委員会が開発を行い、全世界への普及を推進している、台湾華語 (中国語) を母語としない人向けの能力試験。Level 1 入門級 (A2) からLevel 6 精通級 (C2) までの6段階評価。	TOCFL日本事務局
	TECC (中国語コミュニケーション能力検定)	TECCで測定するのは、中国語の実践的な運用能力、総合的なコミュニケーション能力で、初級者から上級者までの実力を1000点満点で測定する。入門レベルのF (0~249点) から上級レベルのA (900~1000点) までの6段階評価。	TECC検定事務局
韓国語	韓国語能力試験 (TOPIK)	韓国政府が認定・実施する韓国語試験。TOPIK IまたはIIを選択受験し、点数にしたがってIは1~2級、IIは3~6級に振り分けられる。試験科目はIが読解・聞き取り、IIが読解・聞き取り・筆記 (作文含む) となっている。	(公財) 韓国教育財団
	「ハングル」能力検定試験	日本語を母語とする韓国語学習者を対象とする試験。レベルは5級から1級 (準2級含む)、入門級 (オンライン試験)。試験科目は筆記・聞き取り・書き取り (1級)。1級のみ一次合格者に対して二次試験 (面接) がある。	特定非営利活動法人 ハングル能力検定協会

■ IELTS™試験受験料補助（学内実施分）

英国等への留学に必須とされる英語試験IELTS™は、年に2回、獨協大学の学生を対象に学内で実施されます。

学内会場に限り、受験料25,380円のうち10,380円を大学が補助し、15,000円で受験することができます。受験料補助を受けるには、以下のいずれかを満たしている必要があります。ぜひチャレンジしてください。

IELTS™バンドスコア4.5以上、TOEFL iBT® テスト 50点以上、TOEFL ITP® テスト 475点以上、
TOEIC® LISTENING AND READINGテスト 600点以上（IPテストの場合は本学で受験したスコアのみ可）

※取得日は出願締切日より2年以内のものを有効とします。

受験料等は変更になる場合があります。受験料補助出願方法等の詳細は、教育研究支援センター（ICZ窓口）で確認してください。

■ CEFRとは？

CEFR（セファール）という言葉を目にしたことがありますか。これはCommon European Framework of Reference for Languages（ヨーロッパ言語共通参照枠）の略称で、欧州評議会（Council of Europe）が2001年に公開した言語能力を評価する国際指標です。

CEFRは、外国語の熟達度をA1（初心者）、A2、B1、B2、C1、C2（ほぼネイティブ）の6つのレベルに分けて評価します。各レベルについて、その言語を使って「何ができるか」を表す「can-do descriptor」を用いて具体的に説明しています。

獨協大学の交換留学応募の語学力要件にも、CEFRのレベルが用いられています。

熟練した 言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。
自立した 言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の 言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

（出典）ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構
（英語4技能 資格・検定試験 懇談会HPより）

2024年度国際交流センター・年間スケジュール

実施時期は●で示しています。詳細の日程は、PorTa II 掲示板 [留学支援・国際交流] や国際交流センター掲示板で確認し

年	2024														
学期	春学期														
月	4			5			6			7			8		
時期	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
国際交流イベント・説明会 (国際交流センター主催、共催)	●海外留学 ガイダンス														
	留学成果報告会(前年度秋学期留学終了者) 長期留学終了者が留学終了後の2回にわたる事後研修への参加を通してまとめた留学成果や自身の課題、今後のキャリアプランを発表します。発表者にとっては、参加者からのフィードバックをもらい、次のステップに向けての新たな気づきを得ること、他の学生にとっては、留学や海外体験について考えるきっかけとすることを目的としています。														
	年間を通して各種セミナー・説明会・交流会を実施します。詳細はPorTa II 掲示板[留学支援・国際交流]でお知らせします。														
学内実施 語学試験 (教育研究支援センター主催)	IELTS						●説明会			●補助申請締切					
	TOEFL ITP® テスト			●説明会			●申込締切 ●学内実施								

留学制度	種別	留学開始時期	言語圏	派遣期間	4			5			6			7			8					
					上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
長期留学	交換留学	<2025年度春学期> 2025年2月~	ドイツ語	P42~の 2025年度 交換留学募集要項参照					●説明会						●説明会							
			英語							●説明会			●締切 ●選考		●内定							
			フランス語						●説明会						●締切 ●選考			●内定				
			中国語							●説明会					●締切 ●選考 ●内定							
			韓国語						●説明会			●締切 ●選考 ●内定										
		<2025年度秋学期> 2025年8月~	ドイツ語																			
			英語									●説明会										
			フランス語																			
			スペイン語						●説明会													
			中国語																			
	認定留学		<2024年度秋学期> 2024年9月~										●申請 期限	事前 研修								
			<2025年度春学期> 2025年2月~		●フランス語圏 ガイダンス																	
	短期留学	協定校留学	夏季・春季休業期間中								●夏季プログラム 募集説明会										夏季 短期協定校留学プログラム実施 ・ハレ=ヴィッテンベルク大学 ・ウイスコンシン大学 ・レジャイナ大学 ・フランシュ=コンテ大学 ・東呉大学 ・慶熙(キョンヒ)大学	
		認定留学				●夏季プログラム 募集説明会						●夏季プログラム 募集締切									夏季 短期認定留学プログラム実施	

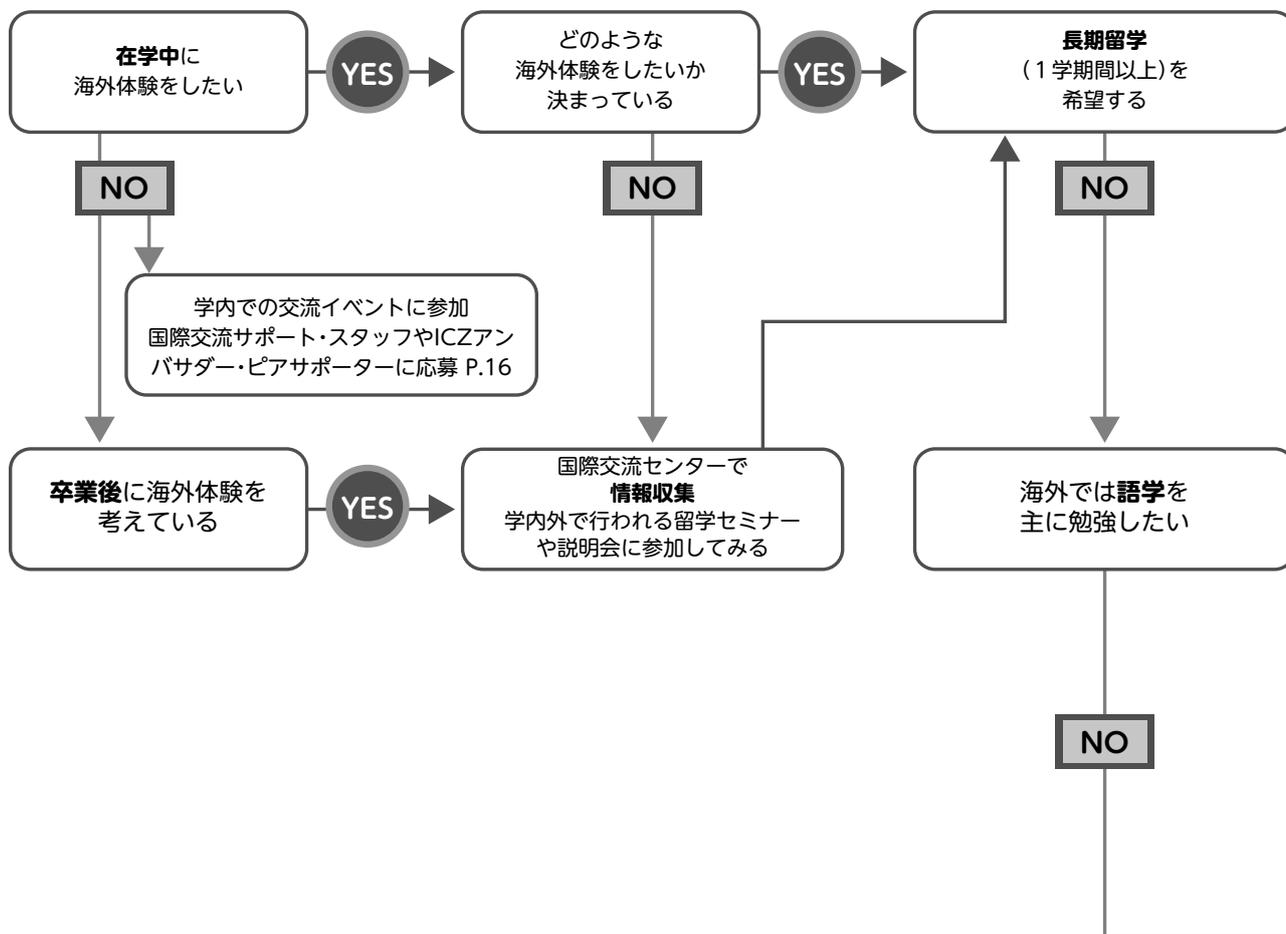
てください。

				2025																			
				秋学期																			
9			10			11			12			1			2			3					
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
<p>留学成果報告会(春学期留学終了者)</p> <p>長期留学終了者が留学終了後の2回にわたる事後研修への参加を通してまとめた留学成果や自身の課題、今後のキャリアプランを発表します。発表者にとっては、参加者からのフィードバックをもらい、次のステップに向けての新たな気づきを得ること、他の学生にとっては、留学や海外体験について考えるきっかけとすることを目的としています。</p>																							
●オンライン申込締切			●学内実施			●説明会			●補助申請締切			●オンライン申込締切			●学内実施								
			●説明会 ●申込締切 ●学内実施																				
9			10			11			12			1			2			3					
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
●締切 ●選考 ●内定			●二次募集締切			●選考 ●内定			●事前研修			<p>交換留学の決定時期とその後の学修</p> <ul style="list-style-type: none"> 留学開始の2学期前の学期中に学内選考を行い、留学が内定します。 留学開始直前学期は、留学に向けて専門や関連科目の知識を深めるとともにより具体的な準備をする学期です。 											
			●説明会			●二次募集締切 ●選考 ●内定			●事前研修														
●二次募集締切			●事前研修						●事前研修														
						●説明会						●説明会			●締切 ●選考 ●内定								
			●説明会			●一次募集締切			●選考 ●内定			●二次募集説明会			●二次募集締切			●選考 ●内定 ●三次募集締切					
												●説明会						●締切 ●選考 ●内定					
			●説明会			●締切 ●選考 ●内定			●内定														
			●説明会			●締切			●選考 ●内定														
			●説明会			●締切			●選考 ●内定						●二次募集締切			●選考 ●内定					
			フランス語圏ガイダンス ●			●事前研修			●事前研修			●申請期限											
			●春季プログラム募集説明会			●春季プログラム募集締切									<p>春季 短期協定校留学プログラム実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーク大学 ・ウーロンゴン大学 ・マラガ大学 								
			●春季プログラム募集説明会			●春季プログラム募集締切												<p>春季 短期認定留学プログラム実施</p>					

》》 プランニングチャート

質問に沿って進み、自分にピッタリの留学や海外体験を探してみましょう。

関連ページを参照したり、説明会に参加し、理解を深めましょう。



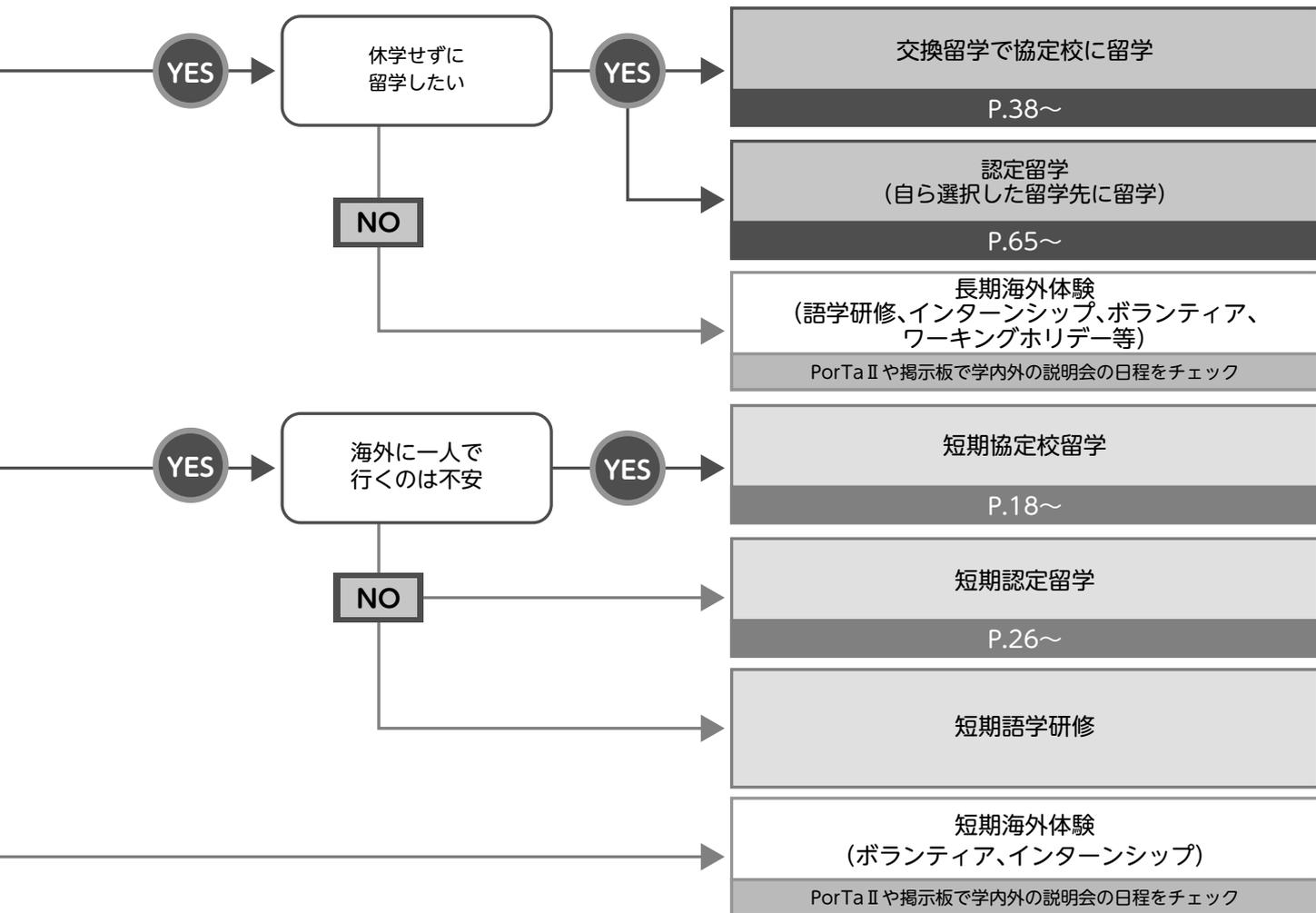
*** 新型コロナウイルス感染症の留学への影響と対応について ***

新型コロナウイルスの感染拡大により2019年度末から2022年度にかけて留学プログラムは大きな影響を受けました。学生派遣については、本学「海外危機管理マニュアル」ガイドラインに沿った対応を行いました。具体的には、2019年度においては外務省危険情報（感染症危険情報を含む）レベル3が発令された地域に留学中の学生に対しては「留学中止、帰国」の指示（勧告）を出しました（ただし、個々の学生のおかれた状況により帰国が困難である、または現地滞在を継続するほうがより安全だと考えられる場合には、保証人の同意のもと、留学の継続を認めました）。2020年度春学期以降開始の留学については、プログラム開始の概ね45日前時点で外務省危険情報レベルが1以下でない場合は派遣中止としました。その結果ほとんどの長期留学が派遣中止または延期となりました。派遣中止となった学生については、留学予定先大学の授業が日本国内でオンライン受講でき、本人が希望する場合は、その受講を「長期留学」として認めました。2021年度春学期についても同様の対応となりましたが、2021年6月に文部科学省が大学間交流協定等に基づく1年間（派遣期間9ヶ月以上）の海外留学プログラムの支援を条件付きで再開するとの通知を出し、それを受けて、学内協議を重ねた結果、2021年度秋学期から本学が定める条件を全て満たす場合は特例措置として渡航による交換留学を認めました。2022年度も引き続きこの特例措置を適用し、加えて秋学期からは認定留学のうち本学の協定校へ留学する者に限り、条件を満たした場合は特例措置を追加適用し、渡航を認めました。また、外務省危険情報レベルが1に引き下げられた国への通常の認定留学も追加で認める決定をしました。

2023年度以降は留学の対応に関しては概ね従来の状況に戻りました。しかしながら、当面は引き続き慎重に対応しなければならない状況が続くと思われるため、上記方針を原則として、今後も状況に応じて判断してまいります。

短期留学については2022年度は夏季・春季ともに渡航を伴う全プログラムを実施し、加えて協定校実施のオンラインプログラムも単位認定対象の「短期協定校留学オンラインプログラム」として実施しました（春季も継続）。

海外学修をめぐる状況が大きく変化したとはいえ、留学が貴重な学修成果を上げる機会であることに何ら変わりはありませんので、大学として皆さんの安心・安全を第一に、今後ともさまざまなサポート、情報提供を行ってまいります。



GLOBAL FRONTIER

天野貞祐記念館2階の国際交流センター・日本語教育オフィスと、3・4階ICZ*をまとめて「GLOBAL FRONTIER」と名付け、学内の国際化を推進しています。
※ICZ (International Communication Zone)

URL:
https://www.dokkyo.ac.jp/global_frontier/

facebook: 獨協大学GLOBAL FRONTIER



Instagram: dokkyo_global



X (旧Twitter) : @dokkyoglobal



さまざまなアクティビティを通して世界とつながる [ICZ]

ICZは「異文化交流」をテーマにした施設で、在學生は誰でも利用できます。外国の文化に触れられる書籍や映像資料、ボードゲームなどを取りそろえており、また、留學生や外国人學生も多く利用するため日本にいながら異文化交流ができます。

このICZで活躍してくれているのが**GLOBAL FRONTIER アンバサダーとピアサポーター**の學生たちです。

- 活動内容
 - ・アンバサダー：イベントの企画・実施、広報
 - 【例】留學生との交流イベントの企画・実施
 - ICZの施設や活用法のアドバイス等
 - ・ピアサポーター：外国語学習相談
 - 【例】勉強方法や検定試験対策、留学等に関する相談対応

ICZでは、ゲーテ・インスティトゥートドイツ語検定試験、IELTS等といった留学に必要な資格試験をはじめ、TOEIC(R) L&R公開テスト等、就職活動に活用できる資格試験の受験料割引サポート、また、資格試験や外国語学習に役立つ多数のイベントや講座も実施しています。

ICZで体験できる豊富なアクティビティを通して世界とつながってみませんか？



留学制度

Study Abroad Programs

独協大学の留学制度

独協大学の留学制度には、大きく分けて「短期留学」と「長期留学」があります。



短期留学

短期留学には、本学が企画し協定校で実施する教職員同行の「短期協定校留学」と、本学が認定した研修プログラム（教職員の同行なし）から選んで個人で参加する「短期認定留学」の2種類があります。

どちらも本学の夏季休暇・春季休暇を利用して行われる「短期集中語学研修」です。語学力の向上、異文化・生活体験、さまざまな国の学生との交流を目的とするもので、ホームステイができるプログラムもあり、「長期留学」へのステップともなります。また、研修先での修了証と成績表をもとに本学教員が評価し、合格と評価された場合は本学の外国語科目等の単位として認定されます。どの科目の単位が認定されるかは、留学先・所属学科によって異なります（P.31～）。

■ 短期協定校留学（原則として本学教職員の同行あり） Check P.18～

本学が企画し、旅行会社が旅行業務法上の受注型企画旅行として、協定校で実施する研修です。4月および10月に行われるプログラム別の参加者募集説明会（日程はPorTaⅡ掲示板 [留学支援・国際交流] 参照）に出席し、プログラム内容や申込方法を確認してください。

■ 短期認定留学（本学教職員の同行なし） Check P.26～

旅行会社が募集型企画旅行として実施する外国語研修プログラムのうち、授業内容、授業時間数、研修時期などが本学基準を満たすプログラムについて、短期認定留学として参加者を募集しています。詳細は4月および10月に行われる短期認定留学参加者募集説明会（日程はPorTaⅡ掲示板 [留学支援・国際交流] 参照）で配布する募集要項で確認してください。

■ 短期認定留学（学外ドイツ語活動） Check P.28

ドイツ語学科が推奨するプログラム等から興味のあるプログラムを選択し、個人で申込や航空券、宿泊などの手配を行うドイツ語学科生のみが参加できるプログラムを、短期認定留学（学外ドイツ語活動）として実施します。詳細はP.28を参照してください。

短期留学の目的

夏季・春季休業期間に実施する約1ヶ月の短期留学は、在学生であれば学年を問わず誰でも参加できます（定員超過の場合のみ選考あり）。他国の文化を知り、外国語学習のモチベーションを上げることが目的です。

帰国後は、留学先で学んだ言語の語学能力試験を受験してレベルアップを確認しましょう。可能なら、さらに半年間または1年間の長期留学にもチャレンジしてください。



長期留学

長期留学には、交換留学と認定留学の2種類があります。

いずれも、本学から派遣される留学生としての自覚と責任感を持ち、全ての授業および試験に出席し、単位修得に努めることが求められます。

■ 交換留学

獨協大学と学術交流協定を結んでいる大学へ、学内選考を通過した学生を派遣します。交換留学生は原則として、奨学金や研修費補助等を受給することができます。

■ 認定留学

大学間の協定によらず、個人で留学先大学を選択し入学許可を得た上で、本学の承認手続きを経て留学します。応募条件を満たす場合は、本学が給付する奨学金に応募することができます。

長期留学生は、次の優遇措置を受けることができます。

1. 留学中の授業料を免除

【交換留学の場合】

それぞれの大学との協定に基づいて、獨協大学または留学先大学のどちらかの授業料が全額免除になります。

【認定留学の場合】

獨協大学の授業料が全額免除され、留学先に授業料を納付します。

※交換留学および認定留学ともに、授業料以外の学納金（施設設備費または教育充実費（在籍基本料分）、学生教育研究災害傷害保険料、父母の会年会費）は期日（春学期4月末・秋学期9月末）までに納める必要があります。

2. 単位の認定（振替・換算）

留学先で修得した単位は、32単位を上限として本学の卒業に必要な単位として認定することができます。

3. 在学期間として算入

長期留学の期間は在学期間として算入されます。したがって、2.の単位の認定を行うことで留学期間を含めて4年間で卒業することも可能です。

長期留学の目的

1. 外国語運用能力、コミュニケーション能力の向上

留学終了後に、留学前のCEFR（P.9参照）のレベルを最低でも1段階上げましょう。

2. 国際的視野の獲得

専門の科目履修や他国の人々との交流を通して、自分（日本）の位置を相対化して把握するしなやかな理解力（＝教養）を身につけ、ゼミなどを含む授業やクラブ活動等においてリーダーシップを発揮できるようになりましょう。

3. 国際人としての行動力、問題解決能力を養う

留学中の生活で起こるさまざまな問題を自ら解決する逞しい行動力と自立心を身につけ、他国の学生と積極的に交流し、留学後も継続しうるネットワークを作り上げましょう。

4. 社会的責任・使命を果たす

留学後は“グローバル・シチズン”としての自覚を持ち、留学中に学んだこと、体得したことを積極的に発信しましょう。また国際社会のために行動することの意義を周囲の人々に伝えましょう。



日本文化を発信する“アンバサダー”へ

留学は、短期の留学であっても、学業面だけでなく精神面にも大きな成長をもたらします。それだけに、自分自身の成長だけにとどまらず、留学先で日本文化を発信し、日本の理解者を世界に増やす“アンバサダー”としての役割もぜひ果たしてください。留学から帰国した皆さんが、獨協大学のグローバル化推進のための原動力となり、卒業後には、国の内外を問わずグローバルに活躍する人材になってほしいと願っています。



留学制度を使わない海外体験・異文化体験

本学の留学制度を使わず、海外へ語学学習に出かけたり、ワーキングホリデーやボランティアに長期間参加する学生もいます。このような目的で大学を長期間休む場合は休学手続きを取る必要があります。休学手続きについては、教務課に確認してください。休学の場合は所定の期日までに手続きを行うことで授業料が免除されます（施設設備費または教育充実費（在籍基本料分）、学生教育研究災害傷害保険料、父母の会年会費を除く）。渡航する日程や利用する航空会社が決まり次第、PorTa II（留学支援 > 海外渡航情報入力）に入力してください。

■学内での国際交流

獨協大学では、半年または1年間本学で学修する海外協定校からの外国人留学生（交換留学生）をさまざまな方面からサポートしてくれる学生スタッフを募集しています。

■国際交流サポートスタッフ

海外協定校から来日する外国人留学生のために、主に次のサポートをしてくれる学生を学期ごとに募集しています。

- ・ 宿舎入居時の案内（宿舎最寄駅等でのピックアップ含む）
- ・ 日用品購入の同行
- ・ 市役所等での手続きをサポート
- ・ その後の日本での生活をサポート など

【募集方法と時期】（2023年度実績※）

●募集方法

PorTa II 掲示版 [留学支援・国際交流] にてお知らせ

●募集時期

春学期のサポート：1月中旬、秋学期のサポート：7月中旬

※外国人留学生の受入れ状況により2024年度の募集は変更となる可能性があります。

■GLOBAL FRONTIER アンバサダー・ピアサポーター（P.13参照）

アンバサダーは、GLOBAL FRONTIERの広報やイベントの企画・運営を、ピアサポーターは、学生の外国語学習に関するアドバイス等を行う学生スタッフです。詳細は、天野貞祐記念館3階のICZカウンターまでお問い合わせください。

■日本語学習サポーター

外国人学生・外国人留学生に対して、「日本語」科目の授業内外をサポートする日本語学習サポーターを学期ごとに募集しています。主なサポート内容は次のとおりです。

- ・ 「日本語」科目の授業課題や予習・復習の支援
- ・ 「日本語」科目の授業参加、留学生への情報提供および話し合いへの参加

日本語学習サポートに興味のある学生は、天野貞祐記念館2階の日本語教育オフィス（国際交流センター隣）までお問い合わせください。

国際的視野を広げるために獨協大学でできること・すべきこと

新型コロナウイルスの感染拡大により私たちは、日本に生きる自分たちの日常が、世界と分かちがたく結びついていることを痛感させられました。世界を知ることなしに、私たちは自らの立ち位置、そして進むべき道を考えることは困難です。世界を知るには留学は大きな力となります。しかし国際的な視野を得るために獨協大学で学べること、学ぶべきことも、実はたくさんあるのです。

本学は外国語学部、国際教養学部、経済学部、法学部の4学部11学科の学生が同じキャンパスで学んでいます。学部・学科を超えた交流を通し、様々な考え方や価値観に触れ、柔軟な思考力を身につけることができます。このオールインキャンパスのメリットを活かして自分が所属する学科・学部の授業だけでなく、他学部他学科で開設されている科目にも目を向け、留学の準備も含め、グローバル・シチズンとして生きていく力を養ってください。

1. グローバルな視点を養うための学び

- ・履修計画は、卒業要件のみにとらわれることなく、より広い興味・視野に立って考えてみましょう。そのためにはクラス担任や演習指導教員に積極的にアドバイスを求めてください。
- ・学問研究には専門分野を問わず、その学問体系の根底となる文化や思考方法に対する理解も必要です。学んでいるときには関連性がよくわからずバラバラだったことが、いつか、ああ、そういうことだったのか、と思えることがあるかもしれません。
- ・視野を広げるには、キーワードによるシラバス検索も役に立ちます。

【基本的な知識を幅広く養う】日本史、世界史、文化史、思想史、宗教史、社会保障、情報、社会調査、統計 など

【地域研究】文化研究、ツーリズム、開発 など

【国際社会理解】国際関係、国際協力、国際経済、国際政治、国際法、NPO、NGO、グローバル など

【現代社会理解】環境、ジェンダー、SDGs、メディア、移民、難民 など

2. グローバルイベント

- ・国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」(例年6月に実施)

獨協大学が草加市国際交流協会と共催で本学キャンパス内で実施する国際交流フェスティバルです。世界各国出身の方と草加市民が参加し、自国文化に関連するバザール、料理、音楽、ダンスなどを披露します。2023年度のフェスティバルでは、獨協大学からも、高橋雄一郎ゼミ(外国語学部)、米山昌幸ゼミ(経済学部)、国際親善倶楽部(DIAC)、E.S.S.(英語会)が参加しイベントを盛り上げました。



- ・Interaction Lounge ～日本語×好きな言語で話そう～

留学生と自分の好きなことや興味のあることを好きな言語で語り合うイベントで、2023年度は秋学期に全12回実施しました。曜日ごとに異なるトピックが設定され、トピックごとのグループに分かれて留学生と会話を楽しむことができます。

2023年度実施のトピック例：

旅行、マンガ/アニメ、音楽など

Instagram: dokkyo_global



 イベントの様子はこちら！

3. グローバル時代のキャリアデザイン

- ・【ICZ】×【国際交流センター】×【キャリアセンター】 語学・留学・就職 なんでも出張相談所

ICZ、国際交流センター、キャリアセンターの3課が合同で開設する出張窓口です。

留学と就職、就職と語学学習、語学学習と留学など組み合わせて考えることで将来の選択肢が広がります。ICZ、国際交流センター、キャリアセンターのスタッフが一堂に集まり、さまざまな疑問や質問にお答えします。

※2024年度の内容や実施日は、確定次第、PorTa II 掲示板 [留学支援・国際交流] / [図書館・学修支援・語学学習] でお知らせします。

短期留学 共通事項

短期留学参加者は、国際交流センターが実施する「危機管理セミナー」への出席（P.105参照）や、本学指定の海外旅行保険への加入（P.106参照）が義務付けられています。その他、遵守すべき事項を定めた誓約書を提出してください。なお、参加申込者が定員より大幅に少なかった場合、または研修先機関の都合等により、やむを得ず研修が中止となることもあります。本学が危険と判断する事態（戦争、テロ、新型インフルエンザ等の感染症流行など）が発生した場合も、研修の中止や研修期間の短縮またはコース変更を行うことがあります。

※参加プログラムによっては、一部日程が定期試験の追試験と重なる場合があります。万一、追試験受験対象となる事態が生じても、特別措置は一切講じられません。プログラム選定の際は、十分に留意してください。

■ 単位認定

留学先が発行する修了証、成績表をもとに単位認定の審査が行われ、その結果により単位が認定されます。研修に参加すれば自動的に単位認定されるわけではありません。また単位認定で振替・換算できる科目は学部・学科により異なるので、P.31からの「短期留学により修得した単位の認定について」を熟読し、不明点がある場合は必ず事前に教務課の各学部窓口で確認してください。



ホームステイを伴うプログラムについて

以下をよく理解の上、参加申込みをしてください。

1. ホストファミリーの家庭環境は各々差があります。
ホストファミリーのライフスタイルや家族構成（高齢の夫婦のみの家庭、母子家庭、小さな子どもがいる家庭、同世代の異性の子どもがいる家庭、共働きの家庭、一人暮らしの方等）、人種・民族、文化、食事（ホストファミリーの手作り、冷凍食品、参加者自身による自炊等）、ペットの有無、設備、通学距離・方法等は、滞在する家庭によって異なります。
2. ホームステイ申込書等で、家庭環境（子どもやペットの有無等）の希望を記載できる場合も、必ずしも希望どおりになるわけではありません。
3. 他の日本人や、同じプログラムに参加する本学の学生、他国からの学生と同じホームステイ先になる場合があります。ホストファミリーに限らず、留学先で知り合う人たちとは、心を開いて人間関係を築く努力をしましょう。人とのつながりから学べることはたくさんあります。
4. 「ゲスト（お客様）」として滞在するのではなく、家族の一員として、滞在中はハウスルール（家庭内の規則）を守り、感謝の気持ちを忘れずに行動しましょう。
5. 出発前、プログラム参加中に、参加者の一方的な希望による滞在先の変更はできません。
ただし、ホストファミリー側のやむを得ない諸事情（不慮の出来事、病気等）により、ホームステイ先が現地手配側により変更される場合があります。

短期協定校留学

「短期協定校留学参加申込書」、「誓約書」その他必要な書類を定められた期日までに国際交流センターに提出してください。上記の書類の提出をもって申込手続き完了となりますが、申込者が定員を超過した場合は選考を行うことがあります。「短期協定校留学参加申込書」、「誓約書」は、PorTaⅡダウンロードセンター>留学支援>留学関連提出書類>短期留学参加申込書類>短期協定校留学からダウンロードしてください。なお、次ページ以降に記載のプログラム日程・費用等は、変更になる場合があります。

※短期協定校留学はすべて4単位認定プログラムとして実施します。また参加者による単位認定申請手続きは不要です。



夏季プログラム

夏 季	研修先大学	ハレ=ヴィッテンベルク大学 (ドイツ)		
	クラスのレベル	初級～上級		
1クラスの最大人数	12名			
本学での募集人数	15名 (2023年度参加実績15名)			
ド イ ツ 語	宿泊形態	ホームステイ		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
教室内の授業	週5日 9:00～12:15/13:00～14:30/土曜日 エクスカーション			
授業科目	総合的なドイツ語授業、ドイツ事情、小グループでのテーマに沿ったプレゼンテーション			
エクスカーション	3日間のミュンヘン研修、ベルリンおよびライプツィヒへの日帰り観光、ヴィッテンベルク市内観光等。エクスカーションは、土曜日に行われず (最終週のみ水曜日)。			
応募資格	獨協大学に在学中であること			
研修費用	約69万円 (往復航空運賃、団体行動中の交通費、宿泊費、講習費、教材費、エクスカーション費、ミュンヘン研修費、海外旅行保険料、研修期間中の食費 (朝・夕)、燃油サーチャージ等を含む)			
研 修 期 間	2024年8月3日(土)～9月2日(月) (31日間)			
	8月 3日(土)	羽田発		
	8月 4日(日)	フランクフルト経由ベルリン着、ヴィッテンベルクへ		
	8月 5日(月) ～8月28日(水)	ハレ=ヴィッテンベルク大学でのドイツ語研修 (ホームステイ)		
	8月29日(木)	ヴィッテンベルクからベルリンへ。空路でミュンヘンへ移動。ミュンヘン研修 (3泊)		
	9月 1日(日)	ミュンヘン発 (機内泊)		
	9月 2日(月)	羽田着		
その他	世界各国より参加者あり。日本人比率はクラスレベルによります。			

夏 季	研修先大学	ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校 (アメリカ)		
	クラスのレベル	初級～中級		
1クラスの最大人数	10～15名			
本学での募集人数	12～30名 (2019年度参加実績14名)			
英 語	宿泊形態	学生寮、ホームステイ他		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
教室内の授業	週5日 8:00～12:00/13:00～14:30			
授業科目	会話、スピーチ、読解、作文等レベル別クラス。各自のテーマに沿ったプレゼンテーション、ディスカッション。			
エクスカーション	カヌー体験、ピクニック、キャンプファイヤー、チーズ工場見学等 (予定)			
応募資格	獨協大学に在学中であること			
研修費用	約86万円 (往復航空運賃、団体行動中の交通費、宿泊費、講習費、教材費、海外旅行保険料、研修期間中の食費、燃油サーチャージ等を含む)			
研 修 期 間	2024年8月4日(日)～8月25日(日) (22日間)			
	8月 4日(日)	羽田発、シカゴ経由ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校着		
	8月 5日(月) ～8月23日(金)	ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校での英語研修 (大学寮泊 + ホームステイ他)		
	8月24日(土)	スティーブンス・ポイントからシカゴへ移動、シカゴ発		
	8月25日(日)	羽田着		
その他	他国の学生が参加する場合があります。			

夏 季	研修先大学	レジャイナ大学 (カナダ)		
	クラスのレベル	プレイスメントテストによりクラス分け		
	1クラスの最大人数	15名程度		
	本学での募集人数	15~30名 (2023年度参加実績26名)		
英 語	宿泊形態	学生寮		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	週5日 8:30~11:30/12:30~15:30		
	授業科目	総合的な英語力アップのための集中授業。レジャイナ大学学生との交流アクティビティ等。		
	エクスカージョン	ロイヤル・サスカチュワン博物館、カナダ連邦騎馬警察歴史博物館、フェネック農場、乗馬体験等		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	約82万円 (往復航空運賃、宿泊費、講習費、エクスカージョン費、海外旅行保険料、研修期間中の食事 (朝・昼・夕)、燃油サーチャージを含む)		
	研 修 期 間	2024年8月4日(日)~8月25日(日) (22日間)		
8月 4日(日)		成田発、カルガリー経由レジャイナ着		
8月 5日(月) ~23日(金)		レジャイナ大学での英語研修		
8月24日(土)		レジャイナ発カルガリー経由成田へ		
8月25日(日)		成田着		
そ の 他	レジャイナ大学とは2020年に学術交流協定を締結。2021・2022年度はオンラインによる短期プログラム、2023年度は渡航プログラムを実施。他大学学生の参加あり。			

夏 季	研修先大学	フランシュ・コンテ大学 (CLA) (フランス)		
	クラスのレベル	入門~上級までの5段階		
	1クラスの最大人数	15名程度		
	本学での募集人数	15~25名 (2023年度参加実績14名※)		
フ ラ ン ス 語	宿泊形態	学生寮 (個室)		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	週5日 9:00~11:00/13:00~16:00 *曜日により異なる (週25時間)		
	授業科目	会話、読解、発音、聞き取り、文法、作文などの総合的なフランス語の授業を中心に、フランスの文化、文明についての講座、校外学習もあります。		
	エクスカージョン	ブザンソン周辺地域の文化に触れる小旅行等 任意参加、料金別途現地支払い		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	約62万円 (往復航空運賃、団体行動中の交通費、宿泊費、講習費、海外旅行保険料、燃油サーチャージ等を含む) *エクスカージョンの費用、食費は含まれていません。		
	研 修 期 間	2024年8月3日(土)~9月1日(日) (30日間)		
8月 3日(土)		羽田発		
8月 4日(日)		イスタンブール経由ジュネーブ着、ブザンソンへ		
8月 5日(月) ~8月30日(金)		フランシュ・コンテ大学でのフランス語研修 (フランシュ・コンテ大学学生寮)		
8月31日(土)		ブザンソンからジュネーブへ		
9月 1日(日)		イスタンブール経由で羽田着		
そ の 他	世界各国より参加者あり。日本人比率はクラスレベルによります。 ※2023年度はブルゴーニュ大学 (CIEF) で実施			

夏季	研修先大学	東呉大学(台湾)		
	クラスのレベル	初級～中級		
1クラスの最大人数	12～15名程度			
本学での募集人数	8～15名(2018年度参加実績9名)			
中国語	宿泊形態	学生寮(4人部屋)		
	本学教職員の同行	あり(前半10日間)		
	教室内の授業	週4～5日 9:00～12:00/13:00～16:00(週により異なる)		
	授業科目	語学課程(聴解・会話・読解・作文など)、文化課程(歴史・芸術・人文・伝統芸能など)		
	エクスカージョン	宜蘭(ラフティングと葱油餅作り体験)、台北(故宮博物館)、台北(ケーキ博物館でのパイナップルケーキ作り体験)(予定)		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	約41万円(往復航空運賃、宿泊費、研修費(校外学習含む)、海外旅行保険料、平日の朝食・昼食、燃油サーチャージを含む)		
	研修期間	2024年8月4日(日)～8月24日(土)(21日間)(予定)		
		8月4日(日)	羽田発、台北(松山)着	
		8月5日(月)～8月23日(金)	東呉大学での中国語研修(学生寮)	
		8月24日(土)	台北(松山)発、羽田着	
	その他	東呉大学附属の中国語研修機関である華語教学中心で開講される夏季研修で、午前の語学課程、午後の文化課程、そして校外学習の3つを軸にしたプログラムです。		

夏季	研修先大学	慶熙(キョンヒ)大学(韓国)		
	クラスのレベル	初級～上級		
1クラスの最大人数	15～20名			
本学での募集人数	8～19名(2023年度参加実績10名)			
韓国語	宿泊形態	民間宿泊施設		
	本学教職員の同行	あり(前半10日間)		
	教室内の授業	週5日 9:00～12:50		
	授業科目	韓国語授業(文法、スピーキングなど)、文化体験(詳細未定)、慶熙大生との交流会、会話特別講座		
	エクスカージョン	日帰り旅行2日(詳細未定)		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	約41万円(往復航空運賃、宿泊費、講習費、海外旅行保険料、燃油サーチャージを含む)		
	研修期間	2024年8月4日(日)～8月27日(火)(24日間)(予定)		
		8月4日(日)	羽田発、ソウル(金浦)着	
		8月5日(月)～8月26日(月)	慶熙大学での韓国語研修	
		8月27日(火)	ソウル(金浦)発、羽田着	
	その他	ソウル市北東部の比較的落ち着いた地域に位置しています。ヨーロッパの歴史的建造物を思わせる建物が並ぶ美しいキャンパスです。韓国語の授業の質にも定評があります。一般向けに行われる授業のほかに獨協大生のための会話特別講座を組み合わせたカリキュラムで、短期間で韓国語力の向上を目指します。		

春季プログラム

春季	研修先大学	ヨーク大学 (カナダ)		
	クラスのレベル	初級～中級		
	1クラスの最大人数	15～20名		
	本学での募集人数	15～30名 (2023年度参加実績26名)		
英語	宿泊形態	ホームステイ		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	週5日 10:00～12:00/13:15～15:00		
	授業科目	リスニング、スピーキング、文法、発音、カナダの歴史・地理・多文化主義等に関する講義・ディスカッション等		
	エクスカーション	ナイアガラの滝見学、CN Tower、水族館ツアー、ホッケー観戦等		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	未定 *10月下旬の募集説明会でお知らせします。 (参考:2023年度は約78万円。往復航空運賃、講習費、教材費、エクスカーション費、ホームステイ費、海外旅行保険料、燃油サーチャージ等を含む)		
研修期間		2025年2月16日(日)～3月9日(日) (22日間) (予定)		
		2月16日(日)	羽田発、トロント着 (ホストファミリー宅へ)	
		2月18日(火) ～3月7日(金)	ヨーク大学での英語研修 (ホームステイ)	
		3月8日(土)	トロント発	
		3月9日(日)	羽田着	
その他	大学付属の英語研修機関YUELIで開講されているSpring Break Immersion Program。他大学学生の参加あり。			

春季	研修先大学	ウーロンゴン大学 (オーストラリア)		
	クラスのレベル	初級～中級		
	1クラスの最大人数	15名		
	本学での募集人数	15～30名 (2023年度参加実績30名)		
英語	宿泊形態	ホームステイ		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	週5日 8:30～12:30または13:30～17:30 (クラス別で異なる)		
	授業科目	会話、読解、作文等。各国からの学生とグループディスカッションやプレゼンテーションを通しての学習。		
	エクスカーション	シドニー1日ツアー、アクティビティ (水族館、ブルーマウンテンズ、オーガニックファーム、アボリジナルアート体験、老人ホーム訪問等)		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	未定 *10月下旬の募集説明会でお知らせします。 (参考:2023年度は約76万円。往復航空運賃、団体行動中の交通費、ホームステイ費、講習費、教材費、エクスカーション費、海外旅行保険料、研修期間中の食費 (一部を除く)、燃油サーチャージ等を含む)		
研修期間		2025年2月22日(土)～3月23日(日) (30日間) (予定)		
		2月22日(土)	羽田発	
		2月23日(日)	シドニー着、ウーロンゴン大学へ	
		2月24日(月) ～3月21日(金)	ウーロンゴン大学での英語研修 (ホームステイ)	
		3月22日(土)	研修終了後シドニーへ移動。シドニー市内自由行動	
		3月23日(日)	シドニー発、羽田着	
その他	留学生を対象とした大学付属の英語研修機関で開講されているクラスで、レベル別に分かれて学びます。			

春季	研修先大学	マラガ大学付属語学学校CIE（スペイン）	
	クラスのレベル	初級～上級まで11段階	
	1クラスの最大人数	8～10名程度	
	本学での募集人数	10～15名（2023年度参加実績9名）	
スペイン語	宿泊形態	ホームステイ	
	本学教職員の同行	あり（前半10日間）	
	教室内の授業	月～金 9：00～13：00	
	授業科目	文法、会話、読解、作文等	
	エクスカージョン	グラナダ研修（2023年度実績）	
	応募資格	獨協大学に在学中であること	
	研修費用	未定 ＊10月下旬の募集説明会でお知らせします。 （参考：2023年度は約64万円。往復航空運賃、講習費、教材費、エクスカージョン費、ホームステイ費、海外旅行保険料、燃油サーチャージ等を含む）	
	研修期間	2025年3月1日（土）～3月30日（日）（30日間）（予定）	
		3月1日（土）	羽田発
		3月2日（日）	マラガ着（ホストファミリー宅へ）
3月3日（月） ～3月28日（金）		CIEでのスペイン語研修（ホームステイ）	
3月29日（土）		マラガ発	
	3月30日（日）	羽田着	
その他	世界各国より参加者あり。日本人比率はクラスレベルによります。		





短期協定校留学体験記

春季

スペイン語研修

マラガ大学

2022年度 プログラム参加

言語文化学科 O. N.

私がスペイン語研修に参加しようと思った理由は、スペインの文化を肌で感じたいと思ったことと、英語と第二外国語で学んでいるスペイン語のどちらも上達させたいと思ったからです。

スペインに行ってみて一番感じたのは、陽気で気さくな国民性です。例えば一人でバスに乗っていた時、隣に座っていたおじいさんが急に話しかけてきて孫自慢を始めたり、カフェのトイレが空くのを待っていたら、知らない女性が急に冗談を言ってきたりと、日本ではあまり考えられないことが日常茶飯事でありました。スペインでは誰にでも気さくに話しかけてくれる人が多いので、そのたびにもっと話せるようになりたいと思いました。また、同じ寮に住んでいたマラガ大学の学生もフレンドリーな人が多く、日本のことや大学のこと、趣味についてたくさん質問をしてくれました。



語学学校では、会話に重点を置いた授業が行われます。2週目くらいになると、授業の始まりに、前日のことや週末に行った場所などについて簡単に説明する時間がありました。最初は語彙も乏しく、文法でも曖昧な点が多かったため、全然話すことができませんでした。何度も繰り返すうちに使える単語が増え、最後の週になると自分の感情まで表現できるようになりました。クラスメイトには、ドイツ人、アメリカ人、カナダ人、ポーランド人などがいて、授業時間以外は英語を用いてコミュニケーションをとっていました。

マラガはとてものどかで、親切な人が多く、食べ物もおいしい素敵な場所です。勉強するにはもちろんですが、スペインの文化を学ぶのにも最適な場所だと思います。かの有名なピカソはマラガ出身の画家であるため、マラガにはピカソゆかりの名所がいくつかあります。また、アンダルシア地方独特のヨーロッパとイスラムが融合した文化も肌で感じることができます。

スペインでの1ヶ月は、楽しいことばかりではなく、時には不安になることもありました。それ以上に人として成長し、異文化交流の楽しさを実感することができました。少しでもスペインの文化に興味がある人、スペイン語を上達させたい人は、ぜひマラガ大学の短期留学に挑戦してほしいと思います。

夏季

英語研修

レジャイナ大学

2023年度 プログラム参加

英語学科 Y. M.

英語のスキルアップを目指したかったのと、異国の文化を実際に体験したくて、レジャイナ大学への短期留学を決めました。今まで海外に行った経験がなかったので、日本を出発するときは期待よりも不安のほうが大きかったのですが、いざカナダに着いてみると新しい経験ばかりで、非常に刺激的で有意義な時間を過ごすことができました。また多くのことを学ぶことができました。



平日は午前と午後に教室で授業を受け、週末は博物館や農場、屋内のレジャー施設などで課外活動を行いました。クラスの授業では、スキルアップのための会話練習やプレゼンテーションを行ったほか、カナダの歴史や人気のスポーツ、政治体制などについても学びました。また、授業中にカナダの先住民の文化や生活を紹介する施設に足を運ぶこともありました。他の大学からの参加者とはもちろん、韓国や中国、英国といった国籍の異なる人たちとの交流も活発に行いました。コミュニケーションは全て英語だったので、慣れない中大変でしたが、なんとか意思を伝えられるよう努力しました。日本では英語でコミュニケーションをとる機会が少なかったため、最初は相手が言ったことを理解することや、自分の気持ちを表現することがかなり難しく感じましたが、最終的にはお互いに英語でコミュニケーションをとることができるようになりました。その達成感は非常に大きかったです。

また、私が留学に行くにあたって最も懸念していたことは、アジア人差別やスリ、窃盗などの犯罪です。最初は大学内でも、街中に出る際もかなり警戒して行動していましたが、カナダがそもそも多文化社会であることや、レジャイナ大学が差別的な言動を許さないスタンスを明確にしていたこともあり、そうした経験をすることはありませんでした。むしろカナダの人はとても親切で、写真撮影に快く応じてくれたり、道を尋ねても丁寧に答えてくれたりと、困ったときに優しく接してくれる人がほとんどでした。街中でバスを待っているときに、走行中の車から顔を出して、「そこバス停じゃないよ!」と教えてくれて、道案内までしてもらったこともありました。日本では考えられないような経験だと驚きました。

3週間という非常に短い期間の研修でしたが、日本との文化の違いを実際に体験し、その後の学習に対するやる気あがり、帰国後の大学生活に大きな影響を与えてくれました。海外でしか経験できないことはたくさんあります。自分の世界を広げるためにも、ぜひ留学を考えてみてはいかがでしょうか？

短期協定校留学オンラインプログラム

2024年度は渡航をとまなう短期協定校留学および短期認定留学のほかに、オンラインプログラムを実施します。

■オンラインプログラムのメリット

- ・渡航することなく現地の授業を受けることができるので費用を抑えることができる。
- ・ディスカッションやグループワーク等を通じて、他大学や他国・地域の学生と交流することができる。プログラムによっては、現地学生や地元住民との交流も含まれる。
- ・ライブ授業だけでなく、オンデマンドによるレッスンが充実している。
- ・オンライン上のコミュニケーション力やITスキルを鍛えることができる。

■オンラインプログラム参加の目的（参加者アンケートより）

- ・語学力の向上
- ・語学学習に対するモチベーションの向上
- ・現地の文化や社会を知ることによって視野を広げたい
- ・長期留学に行くための事前準備

■募集案内・参加申込について

夏季または春季に実施する各プログラム詳細が決まり次第、PorTaⅡ掲示板「留学支援・国際交流」でお知らせします。参加を希望の場合は、「短期協定校留学（オンラインプログラム）参加申込書」を定められた期日までに国際交流センターに提出してください。その後、国際交流センターの指示に従い、研修先大学への出願および参加費支払いを完了してください。

「短期協定校留学（オンラインプログラム）参加申込書」は、PorTaⅡダウンロードセンター＞留学支援＞留学関連提出書類＞短期留学参加申込書類＞短期協定校留学（オンラインプログラム）からダウンロードしてください。
※短期協定校留学（オンラインプログラム）は、2単位認定プログラムです。また参加者による単位認定申請手続きは不要です。

■単位認定

留学先が発行する修了証、成績表をもとに単位認定の審査が行われ、その結果により単位が認定されます。研修に参加すれば自動的に単位認定されるわけではありません。また単位認定で振替・換算できる科目は学部・学科により異なるので、P.31からの「短期留学により修得した単位の認定について」を熟読し、不明点がある場合は必ず事前に教務課の各学部窓口で確認してください。

■参加に係る留意点

- ・時差：プログラムの開始時間は必ずしも日本時間の日中にあたるものばかりではありません。授業が行われる時間を事前に確認の上、参加を決める必要があります。
- ・通信機器・環境・通信データ量
使用されるオンラインツールはZoom、Microsoft Teamsなどプログラムによって異なります。マイクやカメラのほか、安定した通信環境を整えるとともに、授業で利用するアプリなども最新のバージョンにアップデートしておきましょう。

以下は2024年3月1日時点の情報です。プログラムが追加または中止されたり、日程や内容および費用が変更となる場合があります。

※日程および時間は日本時間で表記しています。

研修言語	英語
国・地域名	カナダ
研修先大学	レジャイナ大学
プログラム名	Go No Further Than Home to Learn English & Experience Canadian Culture
クラスのレベル	初級～中上級
日程（プログラム日数）	夏季：2024年8月11日～8月30日（18日間） 春季：2025年2月9日～2月28日（18日間）
授業時間数	68.5時間（4,110分）
授業内容	総合的な英語力アップのための集中講座：語学のみならず、さまざまなトピックを通してカナダの文化を学ぶ。観光地を巡るバーチャルツアーも含む（ライブ授業 38.5時間／オンデマンド授業 30時間）
費用	695カナダドル（約78,000円）

※参考 1カナダドル≒112円（2024年1月時点）

協定校提供 短期オンラインプログラム参加体験記

英語研修

レジャイナ大学（カナダ）

英語学科 O. M.

レジャイナ大学のオンライン留学プログラムに参加しようと思ったのは、長期休暇中に英語力を鍛えたい、何か一つのことを頑張りたいという思いがあったからです。元々長期休暇には海外に留学したいと思っていましたが、コロナで渡航ができなかったため、大学の案内を見てオンライン留学の参加を決めました。

本プログラムの良かった点は3つあります。1つ目は授業が午前中という点です。時差の関係で昼前に授業が終わるので長期休暇でも規則正しい生活ができます。午後は基本的に自由に過ごせるので充実した一日が送れました。2つ目は多くのアクティビティが含まれていたことです。毎週レジャイナ大学周辺の博物館や農場ヘリアルタイムのオンラインツアーなどのイベントがありました。ツアーガイドの方と会話をしながらなので、家にいながらもカナダに留学しているような気分になりとても楽しかったです。3つ目はレジャイナ大学学生との交流機会です。Zoomのブレイクアウトルームでレジャイナ大学に留学中の学生と（私は中国人学生と）1対1で話しました。お互い母語は英語ではないので相手の英語の訛りに苦戦しながらも、文化の違いやコロナ禍の状況などたくさん話すことができ、少しですが会話力が鍛えられた気がします（笑）。

3週間毎日英語に触れる環境に身を置くことで、英語コミュニケーション能力に自信が付き、とても充実した長期休暇になりました！

★プログラム中止または内容や日程、費用が一部変更となる場合があります。

短期認定留学

本学の指定する旅行会社の主催・運営による短期認定留学に参加した場合、所定の手続きと申請に基づき、短期認定留学により修得した単位を、一定の基準に基づいて本学で修得すべき授業科目の単位として認定することができます。プログラムへの参加を希望する人は、次の手続きを行ってください。なお、短期認定留学の申込にあたっては、プログラムに参加する学期は、在学していることが必要です。

1. 短期認定留学プログラム説明会への出席

詳細はPorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] にてお知らせします。

夏季プログラム：2024年4月17日（水） / 春季プログラム：2024年10月9日（水）（予定）

2. 短期認定留学研修先の決定

「2024年度短期認定留学プログラム一覧」から研修先を選択してください。各プログラムに関する質問はエスティーエートラベルが応じます。また、各プログラムのパンフレットは、PorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] にも掲載します。

※実施プログラムの開始日は、各学期の定期試験期間終了後に設定していますが、参加プログラムによっては、一部日程が定期試験の追試験と重なる場合があります。万一、追試験受験対象となる事態が生じても、特別措置は一切講じられません。プログラム選定の際は、各自で十分に留意してください。

3. 研修の申込

■国際交流センターに「短期認定留学参加申込書」、「誓約書」を以下の期日までに提出してください。

夏季プログラム：2024年6月7日（金）15：30 / 春季プログラム：2024年11月29日（金）15：30

「短期認定留学参加申込書」「誓約書」は、PorTaⅡ ダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 短期留学参加申込書類 > 短期認定留学からダウンロードしてください。

■プログラムの申込については、1.の短期認定留学プログラム説明会にて説明します。

4. 危機管理セミナーに出席

詳細は、PorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] および [あなたへのお知らせ] にてお知らせします。

以下の日程で参加できない場合は、事前に国際交流センターに相談してください。

夏季：2024年7月 3日（水）または7月 5日（金）（予定）

春季：2025年1月 8日（水）または1月10日（金）（予定）

5. 海外旅行保険等に加入（Web手続き・支払い）・被保険者証の受信

短期認定留学参加者は全員、本学が指定する海外旅行保険に加入していただきます。

Web申込方法や金額・支払い方法等は危機管理セミナーで案内します。手続き完了後、メールで受信する被保険者証は必ず印刷し、渡航先へ持参しましょう。

6. 短期認定留学の単位認定申請手続き

「短期認定留学単位認定申請書」を研修先大学等発行の修了証、成績表、「短期認定留学参加者アンケート」とともに以下の期日までに国際交流センターに提出してください。締切日以降の単位認定申請はできません。

夏季プログラム：2024年10月21日（月）15：30 / 春季プログラム：2025年4月21日（月）15：30

「短期認定留学単位認定申請書」「短期認定留学参加者アンケート」は、PorTaⅡ ダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 短期認定留学単位認定申請書類からダウンロードしてください。



2024年度短期認定留学プログラム一覧

以下は2024年2月現在の情報のため、最新のプログラム日程や費用は説明会で確認してください。

* プログラムにより認定される単位数が異なります。

* プログラム中止または内容や日程、費用が一部変更となる場合があります。変更が生じた場合は、PorTa II 掲示板 [留学支援・国際交流] にてお知らせします。

夏 季

研修先大学 (国・地域名)	シトラスカレッジ (アメリカ) (運営: FLS INTERNATIONAL)
研修都市	ロサンゼルス近郊 (グレンドール)
研修期間 (予定)	2024/8/4~2024/8/25
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	700,000~770,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	エンデランカレッジ (フィリピン)
研修都市	マニラ
研修期間 (予定)	2024/8/18~2024/9/14
認定単位数	4単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	500,000~550,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / マンツーマン: 1名、グループ: 4~10名
宿泊形態	大学寮

研修先大学 (国・地域名)	CIEオックスフォード (英国)
研修都市	オックスフォード
研修期間 (予定)	2024/8/17~2024/9/1 2024/8/31~2024/9/15
認定単位数	2単位
費用 (予定) (日程により燃油サーチャージ取扱異なる)	638,000円~688,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ / 最大12名
宿泊形態	大学寮 (オックスフォード大学 St Hilda's College)

研修先大学 (国・地域名)	LSIボーツマス (英国)
研修都市	ボーツマス
研修期間 (予定)	2024/8/24~2024/9/15
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	638,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ / 最大12名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	LSIボーツマス (英国)
研修都市	ボーツマス
研修期間 (予定)	2024/8/17~2024/9/15
認定単位数	4単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	698,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ ※コースにより中級以上 / 最大12名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	カンタベリー大学 (ニュージーランド) (運営: CCEL)
研修都市	クライストチャーチ
研修期間 (予定)	2024/8/24~2024/9/15
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを含む)	598,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	CLICインターナショナルハウス (スペイン)
研修都市	セビリア
研修期間 (予定)	2024/8/31~2024/9/22
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	678,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大10名
宿泊形態	レジデンス

春 季

研修先大学 (国・地域名)	シトラスカレッジ (アメリカ) (運営: FLS INTERNATIONAL)
研修都市	ロサンゼルス近郊 (グレンドール)
研修期間 (予定)	2025/2/9~2025/3/2
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	700,000~750,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	エンデランカレッジ (フィリピン)
研修都市	マニラ
研修期間 (予定)	2025/2/9~2025/3/8 2025/2/16~2025/3/14
認定単位数	4単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	500,000~550,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / マンツーマン: 1名、グループ: 4~10名
宿泊形態	大学寮

研修先大学 (国・地域名)	イーストサセックスカレッジ (英国)
研修都市	ルイス
研修期間 (予定)	2025/2/16~2025/3/9
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	548,000円
クラスレベル / クラス人数	初級 (A2)以上 / 最大19名
宿泊形態	大学寮

研修先大学 (国・地域名)	LSIボーツマス (英国)
研修都市	ボーツマス
研修期間 (予定)	2025/2/16~2025/3/16
認定単位数	4単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	688,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ ※コースにより中級以上 / 最大12名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	カンタベリー大学 (ニュージーランド) (運営: CCEL)
研修都市	クライストチャーチ
研修期間 (予定)	2025/2/15~2025/3/9
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを含む)	698,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	F+Uランゲージアカデミーハイデルベルク (ドイツ)
研修都市	ハイデルベルク
研修期間 (予定)	2025/3/2~2025/3/23
認定単位数	2単位
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	658,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大15名
宿泊形態	レジデンス



短期認定留学（学外ドイツ語活動）

ドイツ語学科においては、学科が推奨する短期留学に参加した場合、所定の手続きと申請に基づき、受講時間数に応じて、本学で修得すべき授業科目（2023年度以前入学者は選択科目、2024年度以降入学者は「学外ドイツ語活動」）の単位として認定することができます。プログラムへの申込、航空券・宿泊場所の手配などはすべて学生自身が手続きを行うこととなります。

1. プログラム申込、航空券、宿泊手配

DAAD（ドイツ学術交流会）のウェブサイトにて短期ドイツ語コースの情報がまとまっていますので、主体的に情報収集を行ってください。参加を希望するプログラムが決定したら、研修先大学名および渡航日程をドイツ語学科担当教員（常石史子 tsuneishi@dokkyo.ac.jp）に連絡し、参加許可を得たのちに、学生自身でプログラムへの申込、航空券・宿泊場所の手配を行ってください。

参考（DAADウェブサイト）：<https://www2.daad.de/deutschland/studienangebote/sommerkurse/de/>

以下のプログラムはあくまで一例であり、変更や中止などが生じる場合があります。

なお、以下のプログラム以外でも、所定の条件を満たせば単位認定が可能な場合があります。必ず事前にドイツ語学科の担当教員に相談してください。

2024年度夏季 短期認定留学（学外ドイツ語活動）候補プログラム（ドイツ）

研修先大学	プログラム期間	申込締切	費用 (Euro)	レベル	時間数 (h)	認定単位数
トリーア大学	8/5～8/30	7/15	750	A1, A2, B1, B2, C1	65.25	2
イエーナ大学	8/5～8/30	7/1	690	A2, B1, B2, C1, C2	120	4
フライブルク大学	8/2～8/29	6/30	880	A1, A2, B1, B2, C1	75	2
デュッセルドルフ大学	8/5～8/30	6/30	550	A2, B1, B2, C1	75	2
ハノーファー大学	8/5～8/29	6/1	650	A2	75	2
ハイデルベルク大学	8/1～8/28	6/15	820	A1, A2, B1, B2, C1, C2	84	2
ビーレフェルト大学	8/5～8/29	6/30	790	A2	75	2
テュービンゲン大学	8/5～8/31	6/30	730	A2, B1, B2, C1	96	4
ミュンスター大学	8/5～8/28	6/14	560	A2, B1, B2, C1	67.5	2
ミュンヘン大学	8/5～8/29	6/21	610	A2, B1	75	2
	8/5～8/29	6/21	650	A1, A2, B1, B2, C1	75	2
ゲッティンゲン大学	8/4～8/31	5/31	699	A1, A2, B1, B2, C1	75	2

2. 参加申込書、誓約書提出

ドイツ語学科教員から配付された「短期認定留学参加申込書（学外ドイツ語活動）」および「誓約書」をドイツ語学科共同研究室（中央棟5階）に2024年6月7日（金）までに提出してください。

3. 危機管理セミナー参加（必須）

2024年7月3日（水）または7月5日（金）（予定）

詳細はPorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] および [あなたへのお知らせ] にてお知らせします。

授業との重複で参加できない場合は、事前に国際交流センターに相談してください。

4. 海外旅行保険等の加入（Web手続き・支払い）・被保険者証の受信

短期認定留学（学外ドイツ語活動）参加者は、渡航を許可された全日程について本学が指定する海外旅行保険等に加入する必要があります。Web申込方法や金額・支払い方法等は危機管理セミナーで案内します。手続き完了後、メールで受信する被保険者証は必ず印刷し、渡航先へ持参しましょう。

5. 単位認定申請手続き

「短期認定留学（学外ドイツ語活動）単位認定申請書」を研修先大学等発行の修了証、成績表と「短期認定留学（学外ドイツ語活動）参加者アンケート」とともに、2024年9月30日（月）までにドイツ語学科共同研究室（中央棟5階）まで提出してください。締切日以降の単位認定申請はできません。



英 国

LSI ポーツマス

2023年度 夏季プログラム参加

英語学科 M. Y.

私が LSI ポーツマスへの短期留学を決めた主な理由は、実際自分がどれだけ英語を話せるのか知りたい、異文化体験がしたい、日本以外の国の人と生活してみたい、などでした。

私は 交換留学応募に必要な IELTS 6.0 取得という目標も掲げていたため、LSI ポーツマスでは、IELTS コース(週5日間計22.5時間)を受講しました。授業内容は、IELTS の4技能テストの内容の深掘り、毎週金曜日に行われる模擬試験でした。IELTS 受験経験がありテスト傾向はわかっていたものの、いざ細かい解説や先生の話すべて英語で聞くと、十分には理解できないという困難に直面しました。この問題を解決するために、わからない点はすぐに質問し、必ずその内容を理解したうえで授業を終えることを意識して授業に臨みました。また初めのころは、具体的な根拠をもとに発言すべき場面で、説得力のある言葉で伝えなければならないことにも苦戦しました。そのため、日常生活でもなるべく英語だけを話す、そして相手に理解してもらえるまで伝え方・言い方を工夫することなどに努めました。さらに、同じ日に IELTS 試験を受ける予定の友人と一緒に、放課後の試験勉強にも励みました。その結果、目標としていた 6.0 を取得することができました。

私はポーツマスでの1ヶ月間にさまざまな感情に見舞われました。どの感情も今振り返ってみると自分の精神を鍛えてくれたと感じています。例えば、スペイン人の友人と会話する際、自分にとって慣れない訛りの英語をうまく聞き取れない自分に対して悔しい気持ちを抱きました。しかし、どうしても話さなければならない状況に置かれていたために、ゆっくり話してもらい、わかるまで聞き返すことを恥ずかしがらないなど、あきらめずに彼らと接しました。そうしていくうちに次第に聞き取れるようになったのはもちろん、わからなくても落ち込まず、臆することなくわからないと主張していい、と強く思えるようになりました。また、全員が意思疎通できる言語が英語しかない、そして全員が英語を学びたいという共通の目的を持っている環境で英語学習ができる機会というのは本当に少ないと実感しました。このような環境だからこそ、他の学生の熱意が自分にも影響し、毎日がとても刺激的でした。そんな体験ができる環境で皆さんにもぜひ英語学習をしてみてくださいと強く思います。



フィリピン

エンデランカレッジ

2023年度夏季プログラム参加

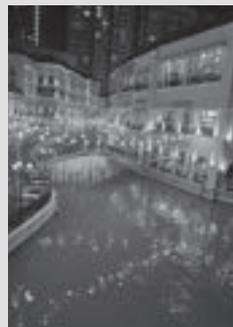
言語文化学科 I. A.

私は夏休みを利用してフィリピンのエンデランカレッジで1ヶ月を過ごしました。平日は毎日9時から15時まで授業を受け、授業のない週末は友人と出かけたりアクティビティに参加したりしました。また寮はほかの地域から来た日本の大学生や韓国の大学生なども一緒に、交流を深めることができました。寮で食事の提供はなかったので、近くのショッピングモールで友人と食事をしたり買い物をしたりしました。写真は近くのショッピングモールの写真です。

授業のほとんどはマンツーマンレッスンで、レッスンごとに決められた先生との1対1の授業なので、先生とも仲良くなれ、リラックスして授業を受けることができました。先生は日本語がわからず日本についてもあまり知らない方で、自分にとっては当たり前日本の食べ物や文化、日本独自のルールなどを一から英語で説明するのは、とても難しかったです。また連続して2時間もの間ずっと英語を使って会話をしていたので、最初の1週間は授業が終わるとかなり疲れを感じましたが、毎日授業を重ねるうちに次第に英語に慣れていき、研修が終わるころには、楽しみながら授業を受けることができたように思います。中学校から学習してきた英語を実際に使ってさまざまなトピックについて話し、たくさんの人と英語で親しく交流するという経験ができ、本当の意味でアウトプットができたのではないかと思います。

また、週末のアクティビティではストリートチルドレンとの交流に参加しました。実際に彼らが家族と住んでいるストリートを訪ね、話を聞くことができました。ストリートチルドレンという言葉は聞いたことがありましたが、詳しい知識は全くなく、正直なところ「かわいそうな人たち」といった他人の感想しか持っていなかったのですが、案内をしてくれた現地のボランティア団体の方から「かわいそうなのではない。彼らには彼らなりの幸せがあり、それは日本やほかの国の人たちと何も変わらない。彼らも夢を描くことができる、その夢の実現のための手伝いを私たちはすることができると」言われた言葉が、とても胸に迫りました。私も実際に子どもたちと短い時間でしたが交流しました。彼らはとても人懐っこくかわいくて、別れるときには「I will miss you.」と言ってくれるほど、愛情にあふれた子どもたちでした。そんな彼らが貧困によって夢を諦めざるを得ない状況はとても悔しいし、まずは私にできることは何なのか、もっと知り、もっと考えていきたいと感じました。

今回の留学の一番の目的は英語力向上でしたが、それ以上に、たくさんの人と仲良くなったりフィリピンの文化を学ぶことができたこと、人としても大きく成長できたことと実感しています。この経験を忘れず、周りの人たちに感謝しながら、これからもさまざまなことに挑戦していきたいと思っています。



短期留学 Q&A

Q 1. 短期協定校留学と短期認定留学の違いは何ですか？

A 1. 主な違いは本学教職員の同行有無と実施校の違いです（詳細はP.14参照）。短期協定校留学はプログラム開始時から約10日間は原則として本学教職員が同行しますが、認定留学は日本出発時から帰国まで参加者の個人行動となります。また協定校留学は本学協定校での実施に限られますが、認定留学ではさまざまな国・地域の教育機関によるプログラムを選択することができます。ただし、どちらのプログラムにおいても予め決められた留学期間を短縮・延長することはできません（短期認定留学（学外ドイツ語活動）は除く）。

Q 2. 参加にあたり、語学力や成績の条件、選考はありますか？

A 2. 語学力や成績要件はありません。

短期協定校留学：募集人数を超過しない限り、原則的に選考はありません。

短期認定留学：選考はありません。ただしプログラム定員を超過した場合には、参加できないことがあります。

Q 3. 短期留学期間中に卒業を迎える予定ですが、参加できますか？

A 3. 短期留学は本学在学が参加できるプログラムです。卒業を予定している8学期生は、卒業予定日（3月20日または9月20日）より前に研修が終了するプログラムのみ参加が可能です。なお8学期生が研修に参加した場合、単位認定の対象となりません。

Q 4. 短期認定留学（学外ドイツ語活動）の内容や参加条件を教えてください。

A 4. 参加希望者自身でドイツ語学科が推奨するプログラム等から興味のあるプログラムを選択し、申込や航空券、宿泊などの手配を行うドイツ語学科生のみが参加できるプログラムです。

本学が定める所定の手続きと申請をすることで、受講時間数に応じて単位認定をすることができます。詳細はP.28を確認してください。

Q 5. 留学中はどこに滞在しますか？

A 5. 滞在先は学生寮、ホームステイ等があります。協定校留学ではプログラムごとに指定されますが、認定留学では滞在先を選択できるプログラムもあります。滞在先により食事、シャワー、洗濯等のルールが異なります。初日に各自しっかり確認しておきましょう。特に短期認定留学（学外ドイツ語活動）では、安全面等に十分に配慮し、滞在先を決めましょう。

Q 6. 留学中、勉強以外にできることはありますか？

A 6. プログラムにより、エクスカージョン等が組み込まれている場合と、オプションで選択可能な場合があります。現地の文化を体験するよい機会となりますので参加を検討してみてください。ただし、車やバイク運転、パラグライダー、スカイダイビングなど危険を伴う活動は禁止されており、これらの活動に伴うケガや事故は保険適用対象外となります。

Q 7. 現地での生活費用はいくら必要ですか？

A 7. 留学先やプログラムに含まれる食事の回数等によっても金額は大きく異なります。過去の参加者のアンケートを国際交流センター内で公開していますので参考にしてください。また渡航時に多額の現金を持っていくのは危険です。クレジットカード、国際キャッシュカード、VISAデビットカード、トラベルマネーカード、キャッシュパスポートなど、複数の手段を用意しましょう。

Q 8. 初めての海外です。渡航前に知っておくべきことはありますか？

A 8. 各研修のオリエンテーションおよび危機管理セミナーで基本的事項を説明しますので必ず出席しましょう。事前に外務省海外安全情報無料配信サービス「たびレジ」に登録し、外務省の海外安全ホームページに掲載されているパンフレット『海外安全虎の巻』（PDFファイル）にも目を通しておきましょう。現地では、「ここは日本ではない！」という意識を常に持ちながら行動することが大切です（P.104～参照）。

Q 9. 留学中に病気やケガをするなど、困った時は誰に相談できますか？

A 9. 全ての参加者は、大学が指定する海外旅行保険およびトータルサポートサービスへの加入が義務づけられています。「海外危機管理サポートデスク」に連絡（LINE無料通話にも対応）をすれば、病気、ケガ、盗難等のトラブルについて、24時間365日、日本語で相談することができます。

Q 10. 留学先にはどんな通信手段を持って行けばよいですか？

A 10. 日本で普段使用している携帯電話、スマートフォンを海外でそのまま利用すると、国際ローミングサービスを利用することになり、高額な費用がかかります。海外で通話をしたい場合や無料Wi-Fiスポット以外でもインターネットを利用したい場合には、海外で使用可能なポケットWi-FiやSIMカード等を手配しておくことをおすすめします。

短期留学により修得した単位の認定について

1. 履修登録

短期協定校留学参加申込書または短期認定留学参加申込書を提出し、参加が認められた学生は、その申込書の提出をもって履修登録の手続完了とみなされます。この登録は履修登録上限には含まれません。

2. 成績評価、単位認定および振替・換算について

短期協定校留学の場合は同行教員、短期認定留学の場合は原則として所属学部学科の教務委員が、オンラインプログラムの場合には同行教員がないため協定校留学、認定留学ともに所属学部学科の教務委員が帰国後またはプログラム終了後に提出された修了証と成績表をもとに評価します。

合格と評価された場合は、短期留学に参加した翌学期の単位として認定し、翌学期の成績通知表に研修参加校名とともに評価欄に「P」と記載し、通知します。

振替・換算される科目は学部・学科により異なるので、以下の学科別の単位認定方針を各自熟読し、不明点は事前に教務課各学部係で確認してください。

また、認定単位数や振替・換算科目等の単位認定方針はプログラムにより変更となる場合があるので、参加申込時に必ず確認してください。

なお、卒業予定時期に関わらず、8学期生が研修に参加した場合、単位認定の対象となりません。

3. 単位の認定上限

認定できる単位数は通算8単位までです。



ドイツ語学科

ドイツ語研修	一研修につき、2023年度以前入学者は、選択科目〔換算科目（【留学先名】短期留学）〕（1単位×4科目まで）、2024年度以降入学者は、「学外ドイツ語活動」（2単位×2科目まで）として認定されます。
英語研修	卒業要件外科目「英語」（1単位×4科目まで）として認定されます。ただし研修に参加した年度に、全学共通授業科目の英語部門の科目を履修登録し、かつ単位を修得できなかった場合は、「English」として1単位×4科目までを上限に認定されます。



英語学科

英語研修	一研修につき、2023年度以前入学者は「Communication Skills」、2024年度以降入学者は、「Communication Seminar」（各2単位×2科目まで）の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Skills」または「Communication Seminar」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（4単位まで）として認定されます。
ドイツ語研修 フランス語研修 スペイン語研修 中国語研修 韓国語研修	一研修につき、全学共通授業科目の選択科目（外国語部門（英語以外））「【言語名】」（4単位まで×1科目）として認定されます。ただし、第二外国語としては認定されません。



フランス語学科

フランス語研修	一研修につき、2013年度～2019年度入学者は、卒業要件外科目「フランス語」（1単位×4科目まで）、2020年度以降入学者は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（1単位×4科目まで）として認定されます。
英語研修	一研修につき、卒業要件外科目「英語」（1単位×4科目まで）として認定されます。ただし研修に参加した年度に、全学共通授業科目の英語科目を履修登録し、かつ単位を修得できなかった場合は、「English」として1単位×4科目までを上限に認定されます。



交流文化学科

【英語】

英語研修	一研修につき、2023年度以前入学者は学科共通科目の「Communication Skills」、2024年度以降入学者は学科専門科目の「Discussion」（各2単位×2科目まで）の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Skills」または「Discussion」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（4単位まで）として認定されます。
------	--

【第二外国語（英語プラス1言語）】

卒業要件外科目として認定されます。ただし、下記科目を第二外国語（英語プラス1言語）として過去に履修登録し、単位認定時に未修得の場合は、以下に記載している順番に1単位×4科目まで振り替えます。

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
ドイツ語研修	1	ドイツ語（Ⅰa 総合1）	6	ドイツ語（Ⅰb 総合3）	11	ドイツ語（Ⅱb 総合2）
	2	ドイツ語（Ⅰa 総合2）	7	ドイツ語（Ⅱa 総合1）	12	ドイツ語（Ⅱb 総合3）
	3	ドイツ語（Ⅰa 総合3）	8	ドイツ語（Ⅱa 総合2）	13	ドイツ語（Ⅲa 応用）
	4	ドイツ語（Ⅰb 総合1）	9	ドイツ語（Ⅱa 総合3）	14	ドイツ語（Ⅲb 応用）
	5	ドイツ語（Ⅰb 総合2）	10	ドイツ語（Ⅱb 総合1）		

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
フランス語研修	1	フランス語（Ⅰa 総合1）	6	フランス語（Ⅰb 応用）	11	フランス語（Ⅱb 総合2）
	2	フランス語（Ⅰa 総合2）	7	フランス語（Ⅱa 総合1）	12	フランス語（Ⅱb 応用）
	3	フランス語（Ⅰa 応用）	8	フランス語（Ⅱa 総合2）	13	フランス語（Ⅲa 応用）
	4	フランス語（Ⅰb 総合1）	9	フランス語（Ⅱa 応用）	14	フランス語（Ⅲb 応用）
	5	フランス語（Ⅰb 総合2）	10	フランス語（Ⅱb 総合1）		

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
スペイン語研修	1	スペイン語（Ⅰa 総合1）	6	スペイン語（Ⅰb 会話）	11	スペイン語（Ⅱb 会話2）
	2	スペイン語（Ⅰa 総合2）	7	スペイン語（Ⅱa 会話1）	12	スペイン語（Ⅱb 総合）
	3	スペイン語（Ⅰa 会話）	8	スペイン語（Ⅱa 会話2）	13	スペイン語（Ⅲa 応用）
	4	スペイン語（Ⅰb 総合1）	9	スペイン語（Ⅱa 総合）	14	スペイン語（Ⅲb 応用）
	5	スペイン語（Ⅰb 総合2）	10	スペイン語（Ⅱb 会話1）		

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
中国語研修	1	中国語（Ⅰa 講読・文法）	6	中国語（Ⅰb 会話2）	11	中国語（Ⅱb 会話1）
	2	中国語（Ⅰa 会話1）	7	中国語（Ⅱa 講読・文法）	12	中国語（Ⅱb 会話2）
	3	中国語（Ⅰa 会話2）	8	中国語（Ⅱa 会話1）	13	中国語（Ⅲa 応用）
	4	中国語（Ⅰb 講読・文法）	9	中国語（Ⅱa 会話2）	14	中国語（Ⅲb 応用）
	5	中国語（Ⅰb 会話1）	10	中国語（Ⅱb 講読・文法）		

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
韓国語研修	1	韓国語（Ⅰa 総合1）	6	韓国語（Ⅰb 応用）	11	韓国語（Ⅱb 総合2）
	2	韓国語（Ⅰa 総合2）	7	韓国語（Ⅱa 総合1）	12	韓国語（Ⅱb 応用）
	3	韓国語（Ⅰa 応用）	8	韓国語（Ⅱa 総合2）	13	韓国語（Ⅲa 応用）
	4	韓国語（Ⅰb 総合1）	9	韓国語（Ⅱa 応用）	14	韓国語（Ⅲb 応用）
	5	韓国語（Ⅰb 総合2）	10	韓国語（Ⅱb 総合1）		



国際教養学部

研修に参加した翌学期に卒業要件外科目として認定されます。ただし、次の条件を満たす場合は、記載している表の科目を1単位×4科目まで（ただし、英語上級、英語演習Ⅱ、上級英語演習Ⅰ、上級英語演習Ⅱ、スペイン語上級、中国語上級、韓国語上級は2単位×2科目まで）卒業要件単位として振り替えることができます。

- 学生が科目の振り替えを希望し、当該科目を未修得であること。
- 振り替えることができる科目は、研修に参加した学期までに当該学生が履修可能な科目に限る。
- 5学期に研修に参加した場合、英語上級は1科目2単位まで振り替え可とする。

【2023年度以前入学者】

英語研修	1 から 7 学期 で 研修 に 参加	履修 可能学期	科 目 名
		1	英語Ⅰ (IE)、(W)、(S)
		2	英語Ⅱ (IE)、(W)、(S)
		3	英語Ⅲ (IE)、(W)
		4	英語Ⅳ (IE)、(W)
		5	英語上級 英語演習Ⅱ 上級英語演習Ⅰ 上級英語演習Ⅱ

スペイン語研修	1 から 7 学期 で 研修 に 参加	履修 可能学期	科 目 名
		1	スペイン語Ⅰ (総合1)、(総合2)、(入門)、(会話)
		2	スペイン語Ⅱ (総合1)、(総合2)、(基礎表現)、(会話)
		3	スペイン語Ⅲ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		4	スペイン語Ⅳ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		5	スペイン語上級

中国語研修	1 から 7 学期 で 研修 に 参加	履修 可能学期	科 目 名
		1	中国語Ⅰ (総合1)、(総合2)、(入門)、(会話)
		2	中国語Ⅱ (総合1)、(総合2)、(基礎表現)、(会話)
		3	中国語Ⅲ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		4	中国語Ⅳ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		5	中国語上級

韓国語研修	1 から 7 学期 で 研修 に 参加	履修 可能学期	科 目 名
		1	韓国語Ⅰ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		2	韓国語Ⅱ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		3	韓国語Ⅲ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		4	韓国語Ⅳ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		5	韓国語上級

【2024年度以降入学者】

英語研修	1 から 7 学期 で 研修 に 参加	履修 可能学期	科 目 名
		1	英語Ⅰ (IE)、(W)、(S)
		2	英語Ⅱ (IE)、(W)、(S)
		3	英語Ⅲ (IE)、(EP)
		4	英語Ⅳ (IE)、(EP)
		5	英語上級 英語演習Ⅱ 上級英語演習Ⅰ 上級英語演習Ⅱ

スペイン語研修	1 から 7 学期 で 研修 に 参加	履修 可能学期	科 目 名
		1	スペイン語Ⅰ (総合1)、(総合2)、(入門)、(会話)
		2	スペイン語Ⅱ (総合1)、(総合2)、(基礎表現)、(会話)
		3	スペイン語Ⅲ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		4	スペイン語Ⅳ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		5・6	スペイン語上級

中国語研修	1 から 7 学期 で 研修 に 参加	履修 可能学期	科 目 名
		1	中国語Ⅰ (総合1)、(総合2)、(入門)、(会話)
		2	中国語Ⅱ (総合1)、(総合2)、(基礎表現)、(会話)
		3	中国語Ⅲ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		4	中国語Ⅳ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		5・6	中国語上級

韓国語研修	1 から 7 学期 で 研修 に 参加	履修 可能学期	科 目 名
		1	韓国語Ⅰ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		2	韓国語Ⅱ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		3	韓国語Ⅲ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		4	韓国語Ⅳ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		5・6	韓国語上級



経済学部

研修に参加した翌学期に、卒業要件単位として以下の通り単位認定します。

研修区分	単位認定対象科目	単位認定数
英語研修	English（全カリ選択必修科目）	一研修につき、1単位×4科目まで
ドイツ語研修	ドイツ語	一研修につき、1単位×4科目まで
フランス語研修	フランス語	一研修につき、1単位×4科目まで
スペイン語研修	スペイン語	一研修につき、1単位×4科目まで
中国語研修	中国語	一研修につき、1単位×4科目まで
韓国語研修	韓国語	一研修につき、1単位×4科目まで

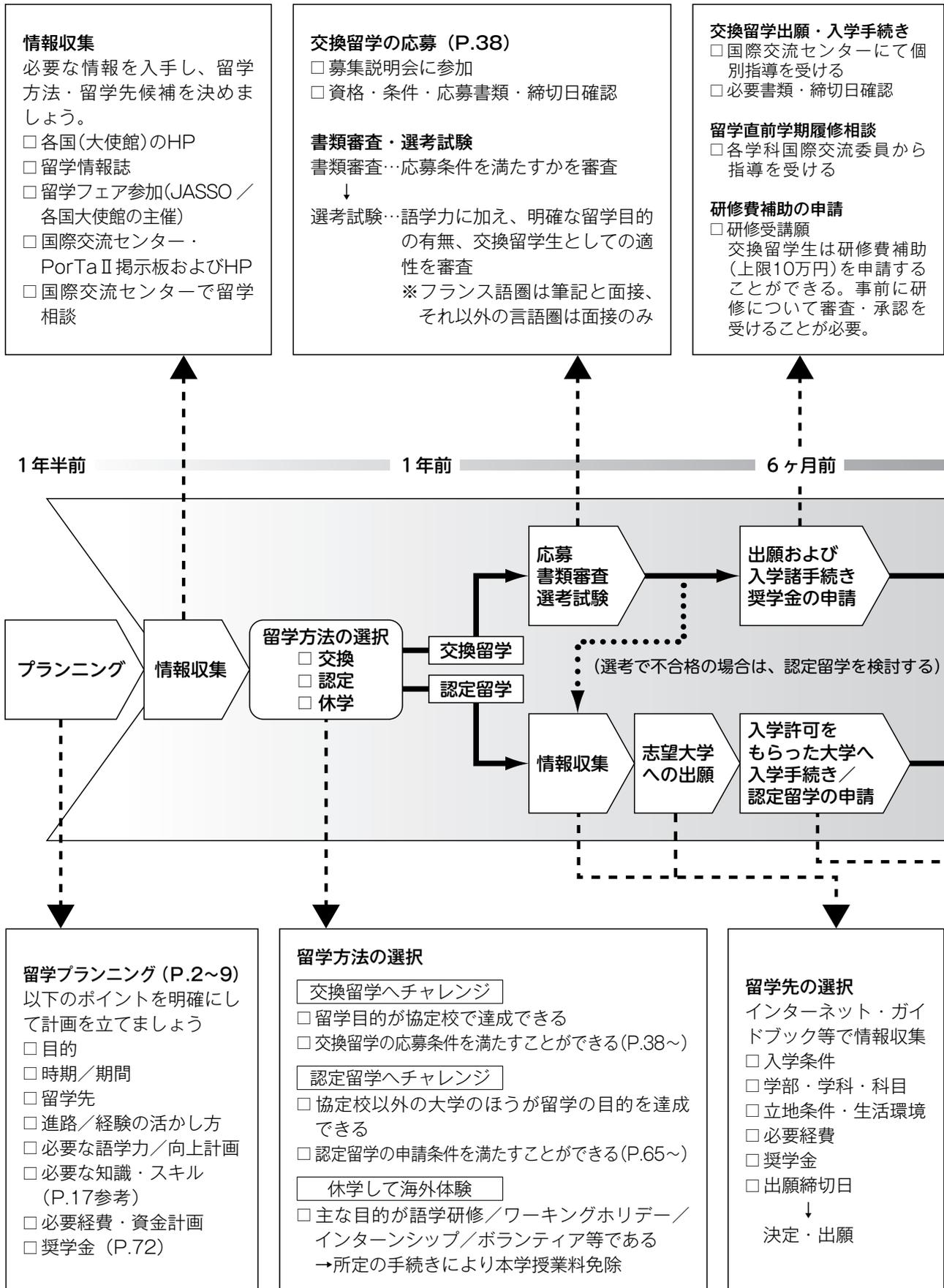


法学部

研修に参加した翌学期に、以下の通り単位認定します。ただし、翌学期に振り替える科目がない場合は、卒業要件外科目として認定します。

なお、英語研修修了者であっても、認定単位が成績通知表に記載されていない時点（認定確定前）において必修の英語科目の履修登録を削除することはできません。

研修区分	振り替え対象科目	単位認定数
ドイツ語研修	ドイツ語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位まで
英語研修	Englishの単位として振り替え	一研修につき4単位まで
フランス語研修	フランス語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位まで
スペイン語研修	スペイン語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位まで
中国語研修	中国語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位まで
韓国語研修	韓国語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位まで



留学情報サイト

日本学生支援機構(JASSO) 海外留学情報サイト
<https://ryugaku.jasso.go.jp/>
 ドイツ大学検索サイト
<https://www.hochschulkompass.de>
 スイス大学検索サイト
<https://www.studyprogrammes.ch/>
 アメリカ大学検索サイト
<https://educationusa.jp>
<https://www.petersons.com/>
<https://bigfuture.collegeboard.org/college-search>
Study UK : Discover You
<https://study-uk.britishcouncil.org/>
カナダ留学情報
<https://www.educanada.ca/index.aspx?lang=jpn>
オーストラリア留学情報
<https://www.studyaustralia.gov.au/ja>
ニュージーランド留学情報
<https://www.studywithnewzealand.govt.nz/ja>
フランス政府留学局(Campus France) 日本支局サイト
<https://www.japon.campusfrance.org/ja>
スペイン大学検索サイト
<http://studyinspain.info/en/estudios/universidades/>
メキシコ大学検索サイト
<http://www.anuies.mx/anuies/instituciones-de-educacion-superior/>
Study in China
<https://www.studyinchina.edu.cn>
Study in Taiwan
<https://www.studyintaiwan.org>
Study in Korea
<http://www.studyinkorea.go.kr/en/main.do>

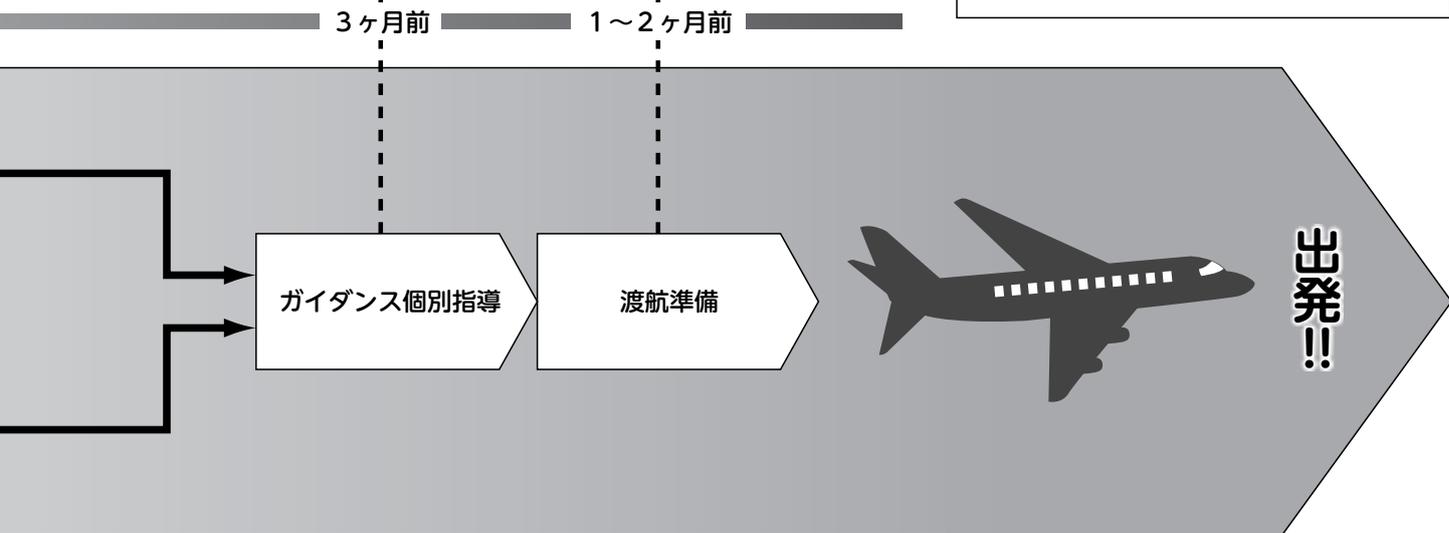
留学前に行うこと (P.76~)

- 個別ガイダンス(国際交流センター)
- 単位振替事前相談(教務課)(P.84~)
- 長期留学予定者のための就職ガイダンス(キャリアセンター)
- 危機管理セミナー(7月・1月)(出席必須)
- 奨学金各種手続き(学生課)
- 事前研修 (P.77)

渡航手続き (P.78~)

- パスポート・ビザ取得
- 渡航先の入国・行動制限措置、安全情報等の確認と準備
- 航空券予約
- 健康診断・歯科検診
- 本学指定海外旅行保険等への加入
- 出発日程をPorTa II に入力

奨学金 (P.72)



留学先大学への入学手続き

- 留学先大学から受入許可通知受領
- 入学手続き(ドイツの場合は現地で行う)
※留学しない大学へは留学辞退の手続きも忘れずに行う

本学での手続き

- 認定留学の申請(P.68)

申請期限

秋学期からの留学… 6月末日

春学期からの留学… 1月末日

- 獨協大学国際奨学金(認定留学生)申請(P.72)
- 留学先大学の保険資料提出(留学先大学から指定保険への加入が義務付けられた場合のみ)

本ガイド 参考ページ

主な語学試験	P.7~9
2024年度国際交流センター・年間スケジュール	P.10~11
これまでの認定留学先大学一覧	P.70~71
海外留学奨学金・利用中の奨学金	P.72~75
海外渡航時に役立つサイト	P.115
留学と就職	P.116

交換留学の資格・条件

交換留学については応募時に、次の1. から5. の条件を満たしていることが必要です。

また、交換留学は留学開始時に本学に2学期以上在学（編入学生は1学期以上在学）していることが必要です（ドイツ語、英語、フランス語学科は3学期以上）。加えて、交換留学の場合は応募時から留学直前の学期まで、本学に在学していることが求められます。

※大学院生の場合は資格・条件が異なるため、大学院事務室にお問い合わせください。

1. 修得単位数

応募時に次に掲げる各学科所定の単位を修得していること。

2023年度以前入学者

学部	外国語				国際教養	経済			法		
	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
1学期											
2学期		16単位以上 ^{*注}	16単位以上（「フランス語Ⅰ」6単位を含む） ^{**注}	16単位以上	16単位以上（外国語科目6単位を含む）	16単位以上（英語科目3単位を含む）			16単位以上		
3学期	32単位以上	32単位以上	32単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」12単位を含む）	32単位以上	32単位以上（外国語科目12単位を含む）	32単位以上（英語科目6単位を含む）			32単位以上		
4学期	48単位以上	48単位以上	48単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」18単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国語科目18単位を含む）	48単位以上（英語科目8単位を含む）			48単位以上		
5学期	64単位以上	64単位以上	64単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国語科目24単位、演習2単位を含む）	64単位以上（英語科目10単位を含む）			64単位以上		
6学期	80単位以上	80単位以上	80単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」2単位、「演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	80単位以上（英語科目10単位を含む）			80単位以上		
7学期	96単位以上	96単位以上	96単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	96単位以上（必修科目を全て修得していること）			96単位以上		
8学期	112単位以上	112単位以上	112単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上（必修科目を全て修得していること）			112単位以上		

*注：留学開始時期は4学期目以降とする。

**注：留学開始時期は4学期目以降とする。また2学期目終了時に進級要件を満たしていない場合は、書類選考不合格（学内選考日程の都合により、面接選考を通過している場合でも遡って書類選考不合格）とする。

学部	外国語				国際教養	経済			法		
学科	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
1学期											
2学期		16単位以上*注	16単位以上（「フランス語 I」5単位、基礎演習部門より2単位を含む）**注	16単位以上	16単位以上（外国語科目6単位を含む）	16単位以上（英語科目3単位を含む）			16単位以上		
3学期	32単位以上	32単位以上	32単位以上（「フランス語 I・II」10単位、基礎演習部門より4単位を含む）	32単位以上	32単位以上（外国語科目12単位を含む）	32単位以上（英語科目6単位を含む）			32単位以上		
4学期	48単位以上	48単位以上	48単位以上（「フランス語 I・II・III」15単位、基礎演習部門より6単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国語科目18単位を含む）	48単位以上（英語科目8単位を含む）			48単位以上		
5学期	64単位以上	64単位以上	64単位以上（「フランス語 I・II・III・IV」20単位、基礎演習部門より8単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国語科目24単位、演習2単位を含む）	64単位以上（英語科目10単位を含む）			64単位以上		
6学期	80単位以上	80単位以上	80単位以上（「フランス語 I・II・III・IV」20単位、「総合フランス語 I」2単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	80単位以上（英語科目10単位を含む）			80単位以上		
7学期	96単位以上	96単位以上	96単位以上（「フランス語 I・II・III・IV」20単位、「総合フランス語 I・II」4単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	96単位以上（必修科目を全て修得していること）			96単位以上		
8学期	112単位以上	112単位以上	112単位以上（「フランス語 I・II・III・IV」20単位、「総合フランス語 I・II」4単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上（必修科目を全て修得していること）			112単位以上		

*注：留学開始時期は4学期目以降とする。

**注：留学開始時期は4学期目以降とする。また2学期目終了時に進級要件を満たしていない場合は、書類選考不合格（学内選考日程の都合により、面接選考を通過している場合でも遡って書類選考不合格）とする。

2. 評定平均値 (GPA)

応募までの獨協大学における修得科目の評定平均値 (GPA) が**2.30以上**であること (小数点以下第3位を四捨五入*)。

GPAの計算は次の方法で行います。自分の正確なGPAを把握するため、学期末に通知される成績通知表は必ず全部保管しておきましょう (成績証明書にはFと×の科目は記載されないの、注意してください。×は2023年度まで使用されていたものです)。

教職・司書・司書教諭課程科目ならびに各学科の学則別表のうち、卒業に必要な単位に算入できないと定められている科目は計算から除きます。 ※2018年度以前入学者は小数点以下第2位を四捨五入。

$$GPA = \frac{(AAの単位数 \times 4 + Aの単位数 \times 3 + Bの単位数 \times 2 + Cの単位数 \times 1)}{\text{総登録単位数 (累計)}}$$

…「総登録単位数」は、Fと×の科目を含むが、Pの科目は除く。

※交換協定校によっては、別途GPA要件を定めている場合があるので、各協定校の紹介ページで確認してください。

〈例〉マンチェスター大学3.0以上、ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校2.75以上等

3. 語学力

P.42～45の「2025年度交換留学募集要項」の「語学力の条件」欄を参照のこと。

4. 留学先の条件

所属する学部学科の授業科目と関連のあるコース、学科への留学であること、かつ所属学部学科が定める以下の条件を満たしていることが必要となります。

学部	外国語				国際教養	経済			法		
学科	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
言語圏	制限なし	制限なし	フランス語圏	制限なし	制限なし	制限なし			制限なし		
教授言語	ドイツ語 または 英語	英語	フランス語	制限なし	英語 スペイン語 中国語 韓国語 等	制限なし			制限なし		
留学期間	2学期間を原則とするが、1学期間も可										

5. 交換留学の期間

交換留学の期間は、1学期間または2学期間です。留学期間は本学の学期に合わせて取り扱われ、以下の期間となります。

- 1学期間の留学：春学期または秋学期の1学期間（留学先での学修期間は3ヶ月以上）
- 2学期間の留学：春学期～秋学期、または秋学期～翌年春学期の2学期間（留学先での学修期間は6ヶ月以上）

※協定校の学事日程と本学の学事日程にずれがある場合、希望する時期からの留学ができない場合もあるので注意してください。例えば、アメリカや英国の大学の多くは、春学期が1月に開始となり、本学の秋学期日程と重なるため、春学期から留学を開始することはできません。

※留学先大学の学期終了後（期末試験終了後）は速やかに（遅くとも1ヶ月以内に）帰国してください。



1 学期間の留学に関する注意事項

- ① 1学期間のみの受け入れを認めている協定校に限り応募が可能です。募集対象校は説明会等でお知らせします。
- ② 同じ大学に対し、2学期間と1学期間の両方で応募することはできません。ただし、大学が異なれば、併願は可能です。
- ③ 各協定校の応募者数が募集定員を上回った場合、選考において2学期間の留学志願者を優先する場合があります。

「しなやかに逞しく世界と交流できる教養人」とは

本学の交換留学プログラムは「しなやかに逞しく世界と交流できる教養人」の育成を目的としています。

この交換留学プログラムが目指す「しなやかさ」とは、異質な文化や考え方を寛容に柔軟に受けとめる力であり、他者を助ける用意がある心の広さです。そして「逞しさ」とは、さまざまなバックグラウンドを持つ人々と物怖じせずにつきあうことができ、自らの主張を積極的に発信し、行動に変えることのできる力です。海外での学習を通して、この両方の力をバランスよく併せもつとともに、豊かな語学力、コミュニケーション能力、主体性、異文化理解の精神を備えた人材の育成を目指します。留学先では日本文化を発信し、日本の理解者を世界中に増やす“アンバサダー”として、留学終了後は他の学生を牽引するリーダーとして本学のグローバル化推進の原動力となる等、国内外問わずグローバルな環境下で自ら行動し活躍できる人材へと成長することを期待しています。

事前・事後研修について

交換留学生は、プログラム趣旨や留学目的を再確認し、充実した留学期間を送るための準備としての事前研修、留学後には留学で得た学びと経験を振り返るとともに、さらにそれぞれが次のステップに向け学修計画をブラッシュアップするための事後研修の参加を必須とします（本ガイドP.77およびP.82参照）。



交換留学の応募方法

長期留学の資格・条件および交換留学募集要項を熟読し、自分が条件を満たしているかを確認した上で、以下「提出書類」の①～④（留学先により⑤⑥も）を揃え、応募締切日までに国際交流センターに提出してください。

応募締切日の目安はP.10の2024年度国際交流センター・年間スケジュールを参照してください。日程の詳細はPorTaⅡ掲示板〔留学支援・国際交流〕および国際交流センター掲示板で確認してください。

提出書類

所定様式はPorTaⅡダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 交換留学応募書類からダウンロードしてください。

- ①長期留学志願書（所定様式）
- ②誓約書（所定様式。本人および保証人の署名・捺印が必要）
- ③成績通知表（最新のもの、コピー可、A4サイズにコピーすること。PorTaⅡからのダウンロード可）
- ④必要とされる語学力証明書（有効期限内のものに限る、コピー可）
- ⑤志望理由書（所定様式。ドイツ語圏、英語圏、韓国への応募者のみ）
- ⑥留学先での履修計画（所定様式。英語圏、韓国への応募者のみ）

長期留学志願書には、演習指導教員（またはクラス担任）の署名、面談時の所見が必要です。必ず事前に指導教員に相談をし、承認を得てから応募してください。応募の際は事前に教務課の確認印をもらった上で提出してください。



交換留学応募における注意点

- ①選考は、第一次の書類審査（フランス語圏は筆記試験も実施、P.58～59参照）と第二次の面接選考により行います。面接選考は主に（1）語学能力、（2）コミュニケーション能力、（3）研究計画・専門知識、（4）留学への意欲、の観点から評価します。
長期留学志願者には、第1希望、第2希望の協定校名を記載できますが、応募状況や語学力によっては、それ以外の協定校に内定する場合があります。
- ②各協定校の応募者数が募集定員を上回った場合、選考において2学期間の留学志願者を優先する場合があります。
- ③提出書類である語学力の証明書を応募締切日までに提出できるよう、語学試験の証明書が手元に届く日を確認の上、受験日を設定しましょう。
- ④交換協定校によっては、別途GPA要件を定めている場合があるので、各協定校の紹介ページで確認してください。
また、GPA要件は応募書類提出時に満たしていなければなりません。
- ⑤応募書類提出後に、留学先・留学期間・留学開始時期の変更はできません。
- ⑥面接結果発表後に留学を辞退した場合は、原則として同じ派遣年度*の募集には応募できません。
- ⑦面接で不合格となった場合は、同じ派遣学期の二次・三次募集には応募できません。ただし、面接において交換留学生としての資質は有しているが派遣定員超過を理由に不合格となった場合は、再応募することができます。

※上記⑥で示す「派遣年度」とは、留学先の学事カレンダーに基づく学年度です。派遣始期が2通りある大学においても、「派遣年度」はあくまでも留学先大学の「学年度」を意味します（獨協大学の学年度は4月～翌年3月）。不明な場合は、国際交流センターで確認してください。

2025年度交換留学募集要項

No	国・地域名	大学・機関名	出発		募集 人数	授業料		派遣開始時期
			秋	春		派遣先	本学	
1	ドイツ	イエーナ大学	○	○	2	要	免除	2025年 4月～ 2025年10月～
2	ドイツ	デュースブルク=エッセン大学	○	○	4	要	免除	2025年 4月～ 2025年10月～
3	ドイツ	デュッセルドルフ大学	○	○	2	要	免除	2025年 4月～ 2025年10月～
4	ドイツ	ハイデルベルク大学	○	○	2	要	免除	2025年 4月～ 2025年10月～
5	ドイツ	ハレ=ヴィッテンベルク大学	○	○	2	要	免除	2025年 4月～ 2025年10月～
6	ドイツ	ヒルデスハイム大学	○	○	2	要	免除	2025年 4月～ 2025年10月～
7	ドイツ	ブレーメン専門単科大学	○	○	2*	要	免除	2025年 4月～ 2025年10月～
8	ドイツ	ベルリン自由大学	○	○	2	要	免除	2025年 4月～ 2025年10月～
9	ドイツ	マールブルク大学	○	○	5	要	免除	2025年 4月～ 2025年10月～
10	ドイツ	ミュンスター大学	○	○	2*	要	免除	2025年 4月～ 2025年10月～
11	ドイツ	リューネブルク大学	○	○	2	要	免除	2025年 3月～ 2025年 9月～
12	ドイツ	レーゲンスブルク大学	○	○	3*	要	免除	2025年 4月～ 2025年10月～
13	スイス	バーゼル大学	○	○	2*	要	免除	2025年 2月～ 2025年 9月～
14	アメリカ	ウィスコンシン大学 スティーブンス・ポイント校	○	×	2	免除	要	2025年 8月～
15	アメリカ	カリフォルニア大学 デービス校	○	○	10	要	免除	2025年 4月～ 2025年 9月～
16	アメリカ	カリフォルニア州立大学 モントレー・ベイ校	○	×	2	免除	要	2025年 8月～
17	アメリカ	サンフランシスコ州立大学	○	×	2	要	免除	2025年 8月～
18	英国	エセックス大学	○	×	7	要	免除	2025年10月～
19	英国	カーディフ大学	○	×	2	免除	要	2025年 9月～
20	英国	ニューカッスル大学	○	×	3	免除	要	2025年 9月～
21	英国	マンチェスター大学	○	×	3	免除	要	2025年 9月～
22	カナダ	フレーザーバレー大学	○	×	—	免除	要	募集予定なし
23	カナダ	ヨーク大学	○	×	1	免除	要	2025年 9月～
24	ジャマイカ	西インド諸島大学モナ校	○	×	2	免除	要	2025年 9月～

2025年度交換留学募集要項

No	国・地域名	大学・機関名	出発		募集 人数	授業料		派遣開始時期
			秋	春		派遣先	本学	
25	オーストラリア	ウーロンゴン大学	×	○	3	要	免除	2025年 2月～
26	オーストラリア	サザンクロス大学	×	○	—	免除	要	募集予定未定
27	オーストラリア	サンシャインコースト大学	×	○	—	免除	要	募集予定なし
28	インドネシア	ビヌス大学	○	○	5	免除	要	2025年 2月～ 2025年 9月～
29	トルコ	ポアジチ大学	○	×	—	免除	要	募集予定未定
30	チェコ	マサリク大学	○	○	2	免除	要	2025年 9月～
31	ウズベキスタン	ウズベキスタン国立世界言語大学	○	×	—	免除	要	募集予定未定
32	フランス	西部カトリック大学	○	○	4 2	要	免除	2025年 2月～ 2025年10月～
33	フランス	パリ第1大学 パンテオン-ソルボンヌ	○	×	2	免除	要	2025年 9月～
34	フランス	フランシュ・コンテ大学	○	×	4	免除*	要	2025年 9月～
35	フランス	リュミエール・リヨン第2大学	○	○	4	要	免除	2025年 2月～ 2025年 9月～
36	スペイン	バルセロナ自治大学	○	×	2	免除	要	2025年 9月～
37	スペイン	マラガ大学	○	×	2	免除	要	2025年 9月～
38	メキシコ	グアダラハラ大学	○	×	3	免除	要	2025年 8月～
39	中国	華東師範大学	○	○	1	免除*	要	2025年 2月～ 2025年 9月～
40	中国	大連理工大学	○	○	5	免除	要	2025年 2月～ 2025年 9月～
41	中国	北京師範大学	○	○	2	免除	要	2025年 2月～ 2025年 9月～
42	台湾	国立台南大学	○	○	3	免除	要	2025年 2月～ 2025年 9月～
43	台湾	国立高雄科技大学	○	○	2	免除	要	2025年 2月～ 2025年 9月～
44	台湾	東呉大学	○	○	2	免除	要	2025年 2月～ 2025年 9月～
45	韓国	仁荷（イナ）大学	○	○	3	免除	要	2025年 2月～ 2025年 8月～
46	韓国	慶熙（キョンヒ）大学	○	○	3	免除	要	2025年 2月～ 2025年 8月～
47	韓国	建国（コングク）大学	○	○	3	免除	要	2025年 2月～ 2025年 8月～
48	韓国	誠信（ソンシン）女子大学	○	○	2	免除	要	2025年 2月～ 2025年 8月～
49	韓国	大邱（テグ）カトリック大学	○	○	3	免除	要	2025年 2月～ 2025年 8月～

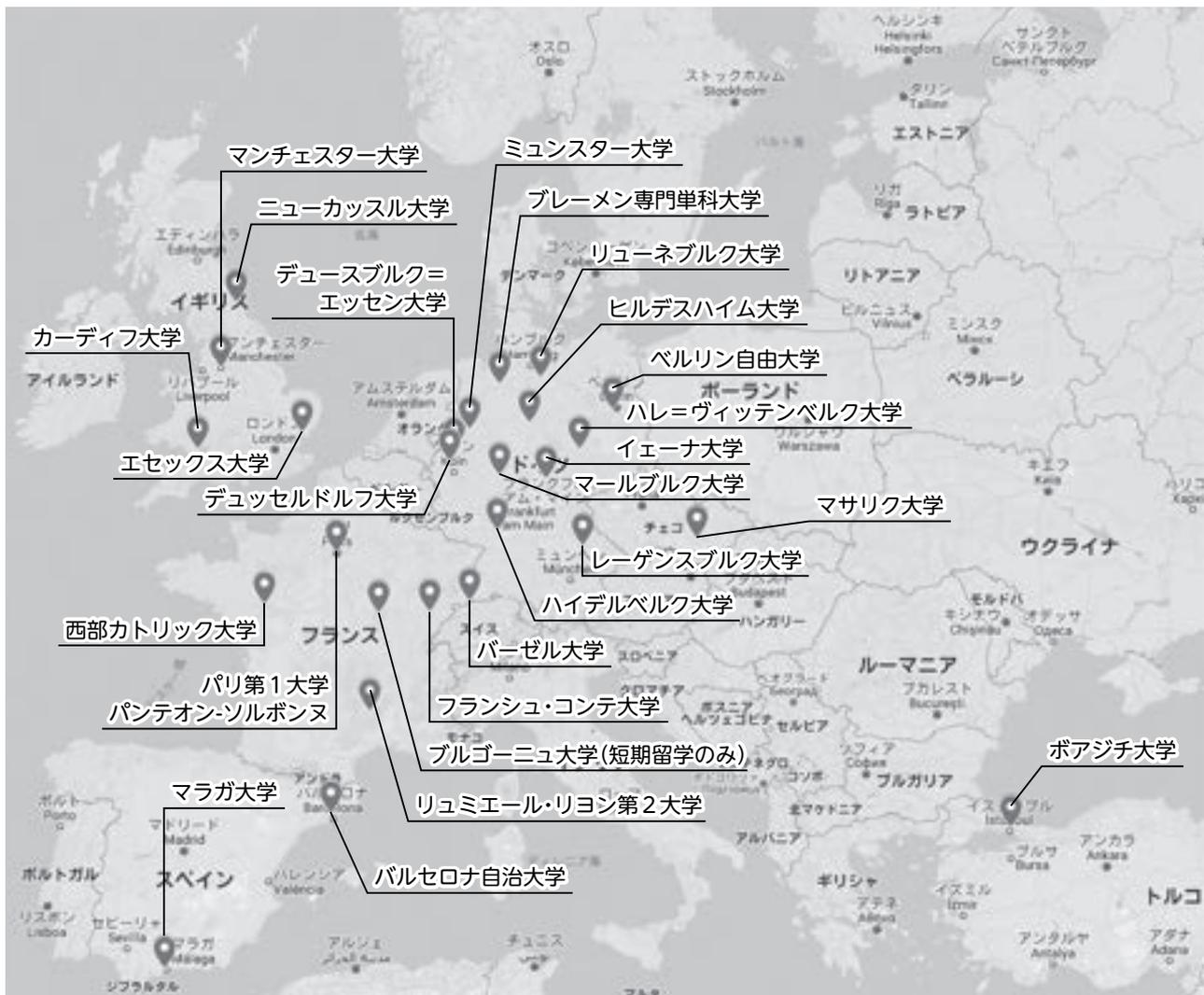
	語学力の条件	成績条件 (GPA)	選考方法		備考
			第一次	第二次	
	IELTS 6.0以上または TOEFL iBT® 79以上	2.70	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.0以上または TOEFL ITP® 550/iBT® 79以上	2.75	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 5.5以上または TOEFL iBT® 70以上	2.75	書類審査	英語と日本語による面接	
	実用フランス語技能検定2級程度	2.30	書類審査 筆記試験	フランス語と日本語による面接	
	DELFまたはTCF B2以上	2.30	書類審査	フランス語と日本語による面接	
	【語学留学】 実用フランス語技能検定2級程度 【学部留学】 DELFまたはTCF B2以上	2.30	書類審査 筆記試験 (注)	フランス語と日本語による面接	※語学留学の場合、語学学校の授業料の納付が必要 (注) 語学留学のみ筆記試験を実施
	実用フランス語技能検定2級程度	2.30	書類審査 筆記試験	フランス語と日本語による面接	
	DELE B1程度	2.30	書類審査	スペイン語と日本語による面接	
	【語学留学】 中国語検定3級以上または HSK 3級以上 【学部留学】 HSK 5級180点以上	【語学留学】 2.30 【学部留学】 3.00	書類審査	中国語と日本語による面接	※語学留学の場合、コースによっては授業料の自己負担あり
	【語学留学】 中国語検定3級以上または HSK 3級以上 【学部留学】 HSK 5級180点以上	3.00	書類審査	中国語と日本語による面接	
	HSK 5級180点以上	3.00	書類審査	中国語と日本語による面接	
	中国語検定3級以上または HSK 3級以上	2.30	書類審査	中国語と日本語による面接	
	中国語検定2級以上、 HSK 5級180点以上、 TOCFL Level 3以上または TECC C以上	3.00	書類審査	中国語と日本語による面接	
	中国語検定3級以上または HSK 3級以上	2.30	書類審査	中国語と日本語による面接	
	「ハングル」能力検定試験3級または 韓国語能力試験 (TOPIK) 3級程度*	2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	※一部学科はTOPIK3級以上
	韓国語能力試験 (TOPIK) 3級以上	2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	
	「ハングル」能力検定試験3級または 韓国語能力試験 (TOPIK) 3級程度	2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	
		2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	
		2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	

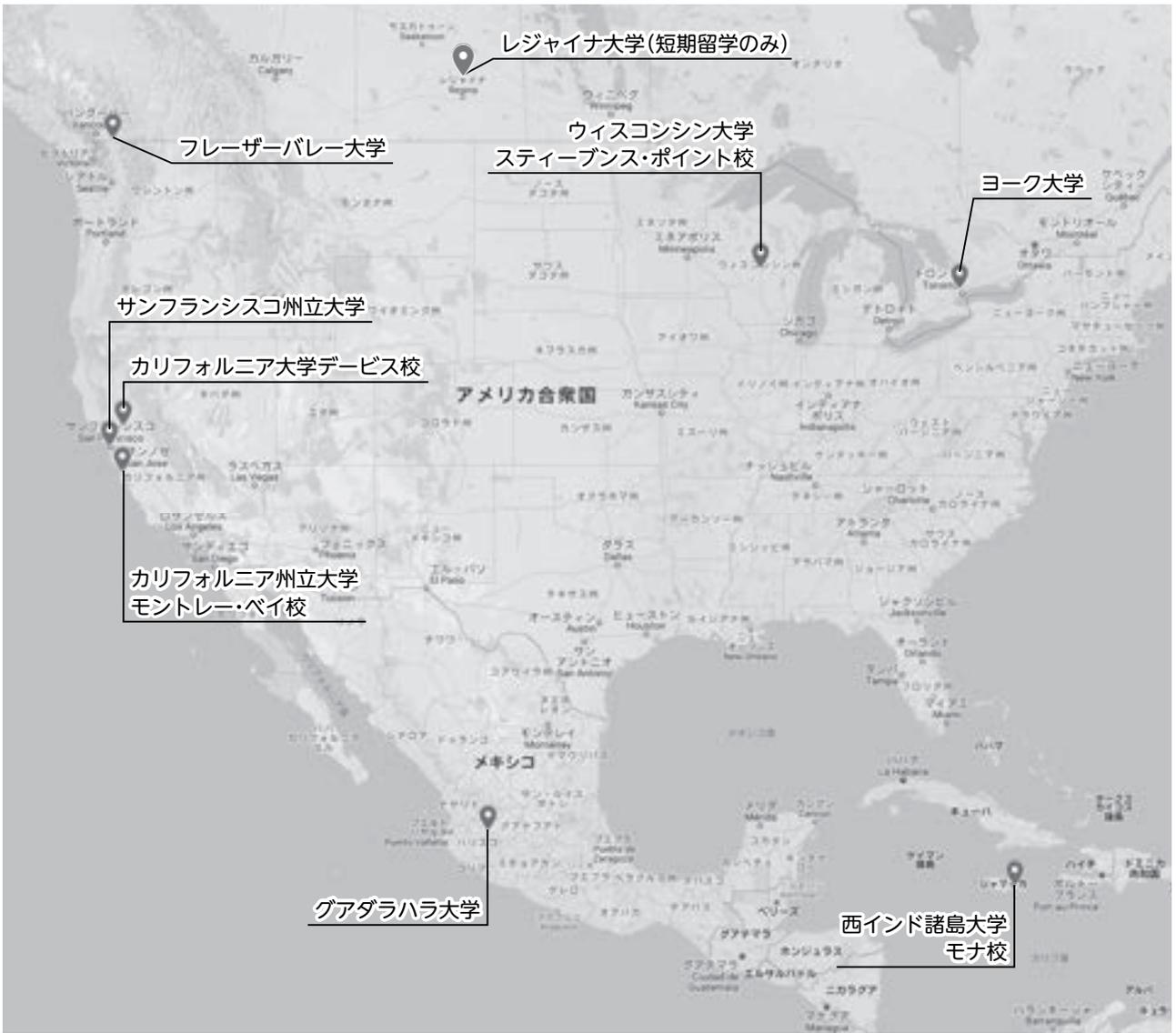
注1) 各語学力の条件は、原則として交換留学内定後の派遣先大学への出願締切日より遡って2年以内を取得したものを有効とします。
 注2) 英語圏は協定校により上記以外にもさまざまな出願要件があるので、各協定校のページを確認した後、最新の要件を応募前に必ず国際交流センターで確認してください(例: IELTSのバンドスコア要件、学部・学科により異なる語学力条件、GPA要件、履修可能なコースなど)。

協定校情報

記載されている情報は2024年3月時点のものです。協定校の方針により応募条件等が変更となる場合があります、詳細かつ最新の情報は各大学のHPまたは国際交流センターで確認してください。

- ①協定校の追加、応募資格の変更、募集開始・停止等の情報は、言語圏別の交換留学説明会でお知らせします。
- ②派遣期間は各大学の学年暦により、多少前後する場合があります。
- ③協定校により、派遣留学生の留学先における所属や履修可能な科目または条件が定められていることがあります。留学先の条件等については、各大学のHPまたは国際交流センターで確認してください。
- ④授業料のほかに留学経費として登録費などの支払いが必要な大学もあります。
- ⑤留学先国・地域の情勢により、募集の中止、または内定後であっても派遣の中止を行う場合があります。





ドイツ	大学名	イエーナ大学			
	URL	Friedrich-Schiller-Universität Jena https://www.uni-jena.de/			
	大学設立年	1558年	協定締結年		2022年
	所在地	Fürstengraben 1, 07743 Jena, Deutschland			
大学紹介	1558年設立のフリードリヒ・シラー大学イエーナ（通称：イエーナ大学）は、ドイツのほぼ中央に位置するテューリンゲン州最大の総合大学である。国内有数の研究所と連携し学際的なプロジェクトに積極的に参加し、50ヶ国以上200を超える大学と協定を結び、共同研究ならびに学生交換を盛んに行っている。哲学部、社会学部など10の学部を有し、学生数は18,000名。そのうち留学生は約2,500名。				
派遣期間	夏学期：2025年4月～2025年9月 冬学期：2025年10月～2026年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上 ※備考を参照のこと				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	520ユーロ (学期納付金)、本学免除 (P.80参照)	約85,000円		
	寮費	3,300～4,600ユーロ	約535,000～746,000円		
	食費	2,400～3,000ユーロ	約389,000～486,000円		
	教材費	600ユーロ	約98,000円		
	その他	3,600ユーロ	約584,000円		
	合計	10,020～12,320ユーロ	約1,624,000～1,996,000円		
備考	「外国語としてのドイツ語学科」に所属。語学力がB2以上であれば、学部科目の履修が可能。B2に満たない場合は交換留学生コース(ドイツ語・ドイツ事情)に参加。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	デュースブルク＝エッセン大学			
	URL	Universität Duisburg-Essen https://www.uni-due.de			
	大学設立年	1972年	協定締結年		1984年
	所在地	Campus Duisburg : Forsthausweg 2, 47057 Duisburg, Deutschland Campus Essen : Universitätsstr. 2, 45141 Essen, Deutschland			
大学紹介	ドイツ中西部のノルトライン＝ヴェストファーレン州の中心部、ライン川沿いのデュースブルク市と隣町エッセン市に2つのキャンパスをもつ総合大学。1991年には東アジア研究科が設立され、日本研究も充実している。2003年にデュースブルク大学とエッセン大学が統合し、デュースブルク＝エッセン大学に改められた。11学部を擁し、総学生数は約40,000名。留学生は130ヶ国から約6,200名におよぶ。隣国オランダ国境にも近く、ケルン、ボンへは鉄道で1時間圏内で交通の便も良い。				
派遣期間	夏学期：2025年4月～2025年9月 冬学期：2025年10月～2026年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	690ユーロ (学期納付金)、本学免除 (P.80参照)	約112,000円		
	寮費	3,600～5,400ユーロ	約584,000～875,000円		
	食費	2,800～3,400ユーロ	約454,000～551,000円		
	教材費	100～500ユーロ	約17,000～81,000円		
	その他	2,400～3,400ユーロ	約389,000～551,000円		
	合計	9,590～13,890ユーロ	約1,554,000～2,251,000円		
備考	東アジア研究所に所属。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	デュッセルドルフ大学			
	URL	Heinrich Heine Universität Düsseldorf https://www.uni-duesseldorf.de/			
	大学設立年	1965年	協定締結年		2019年
	所在地	Universitätsstraße 1, 40225 Düsseldorf, Deutschland			
大学紹介	ドイツ西部に位置するノルトライン・ヴェストファーレン州で2番目に大きい州都デュッセルドルフにある総合大学。1907年に設立された医学校を起源とする大学であり、1965年の大学設立時に医学部、数学・自然科学部、芸術人文科学部の3学部が設置された。1988年に、デュッセルドルフ出身の詩人ハインリヒ・ハイネにちなんで正式名称をハインリヒ・ハイネ大学デュッセルドルフに変更し、新たに2つの学部を増設した。ハイネの理念に基づき、大学は文化的多元主義、人種および宗教の寛容さ、並びに男女同権を強く支持している。現在、5学部に約35,000人の学生が学ぶ。芸術人文科学部の現代日本研究所は、この種の研究所としては、ドイツ最大規模を誇る(学生数：約600名)。				
派遣期間	夏学期：2025年4月～2025年9月 冬学期：2025年10月～2026年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	700ユーロ (学期納付金)、本学免除 (P.80参照)	約114,000円		
	寮費	3,600～4,800ユーロ	約584,000～778,000円		
	食費	2,500～3,000ユーロ	約405,000～486,000円		
	教材費	600ユーロ	約98,000円		
	その他	1,700～2,200ユーロ	約276,000～357,000円		
	合計	9,100～11,300ユーロ	約1,475,000～1,831,000円		
備考	芸術人文科学部内の学科に所属。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	ハイデルベルク大学			
	URL	Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg https://www.uni-heidelberg.de			
	大学設立年	1386年	協定締結年		2011年
	所在地	Grabengasse 1, 69117 Heidelberg, Deutschland			
	大学紹介	バーデン＝ヴュルテンベルク州ハイデルベルクにあるドイツ最古の大学。1386年プファルツ選帝侯ループレヒト1世により設立。宗教改革を支持するオットー・ハインリヒ選帝侯の大学改革により、名声を確立。現在550名の教授陣を含め、学者・教員数は約6,500名にもおよび。歴史上名高い哲学のフリードリッヒ・ヘーゲル、社会学のマックス・ウェーバーなど著名な学者が数多く教鞭をとった。ハイデルベルクはドイツでも屈指の観光地であるため、人口約16万人の小都市でありながら、休日も店がオープンインフラ設備が充実するなど、学生が生活するのに非常に便利な街だといえる。			
派遣期間	夏学期：2025年4月～2025年9月 冬学期：2025年10月～2026年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	165ユーロ(学期納付金)、本学免除(P.80参照)	約27,000円		
	寮費	3,360～6,600ユーロ	約545,000～1,070,000円		
	食費	1,800～2,500ユーロ	約292,000～405,000円		
	教材費	350～500ユーロ	約57,000～81,000円		
	その他	3,720～4,920ユーロ	約603,000～798,000円		
	合計	8,185～13,475ユーロ	約1,326,000～2,183,000円		
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	ハレ＝ヴィッテンベルク大学			
	URL	Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg https://www.uni-halle.de			
	大学設立年	1817年	協定締結年		2011年
	所在地	Universitätsplatz 10, 06108 Halle (Saale), Deutschland			
	大学紹介	ザクセン＝アンハルト州のハレとヴィッテンベルクにある総合大学。16世紀にヴィッテンベルク大学が、17世紀にハレ大学が設立され、19世紀に両大学が統合し、ますますの発展を遂げた。宗教改革の立役者であるマルティン・ルターが神学部で教鞭をとっていたことにちなみ、1933年にはその名をマルティン・ルター大学とした(本学での通称はハレ＝ヴィッテンベルク大学とする)。9学部からなり、学生数は約20,000名にのぼる。ハレは岩塩の採掘地として有名であり、中世にはハンザ同盟の加盟都市として繁栄した。ヴィッテンベルクにあるルター記念建造物群は、ユネスコの世界遺産に登録されている。			
派遣期間	夏学期：2025年4月～2025年9月 冬学期：2025年10月～2026年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	510ユーロ(学期納付金)、本学免除(P.80参照)	約83,000円		
	寮費	3,600ユーロ	約584,000円		
	食費	2,400～3,000ユーロ	約389,000～486,000円		
	教材費	1,000ユーロ	約162,000円		
	その他	3,200ユーロ	約518,400円		
	合計	10,710～11,310ユーロ	約1,736,000～1,833,000円		
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	ヒルデスハイム大学			
	URL	Stiftung Universität Hildesheim https://www.uni-hildesheim.de/			
	大学設立年	1989年	協定締結年		2017年
	所在地	Universitätsplatz 1, 31141 Hildesheim, Deutschland			
	大学紹介	北ドイツのニーダーザクセン州に5つある財団立の大学・専門単科大学の一つ。1855年に設立されたカトリック教会の神学大学を起源とする大学で、1946年に教育専門単科大学となった。その後、1978年には教育学以外の新たな学部が創設され、1989年にヒルデスハイム大学が設立された。ニーダーザクセン州では2001年に財団立の大学を設立する根拠法令が定められたため、2003年に認可され財団立大学に組織変更された。ヒルデスハイム大学は、理論のみにとどまらず、実践も学べることで知られており、文化政策研究所を所有している大学はドイツではヒルデスハイム大学のみである。4学部30以上の学科に約8,400人の学生が学ぶ。			
派遣期間	夏学期：2025年4月～2025年9月 冬学期：2025年10月～2026年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	600ユーロ(学期納付金)、本学免除(P.80参照)	約98,000円		
	寮費	3,600ユーロ	約584,000円		
	食費	3,000～4,200ユーロ	約486,000～681,000円		
	教材費	300～1,800ユーロ	約49,000～292,000円		
	その他	2,520～2,700ユーロ	約409,000～438,000円		
	合計	10,020～12,900ユーロ	約1,624,000～2,090,000円		
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。				

ドイツ	大学名	ブレーメン専門単科大学			
	URL	https://www.hs-bremen.de			
	大学設立年	1982年	協定締結年		2006年
	所在地	Neustadtswall 30, 28199 Bremen, Deutschland			
大学紹介	ドイツ北西部のハンザ都市ブレーメンにあり学生数約8,600名、5学部67以上の学科から成り、専門単科大学ではドイツ最大の規模を誇る。職業経験豊富な教授陣により実践分野に重点がおかれ、職業に直結する授業には定評がある。また、交換留学生は1学期に2つの語学コースを無料で受講できる。EU、経済、ツーリズムなどに興味のある学生に最適。				
派遣期間	夏学期：2025年4月～2025年9月 冬学期：2025年10月～2026年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上 ※備考を参照のこと				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	660ユーロ(学期納付金)、本学免除(P.80参照)	約107,000円		
	寮費	3,600～5,800ユーロ	約584,000～940,000円		
	食費	3,000～3,500ユーロ	約486,000～567,000円		
	教材費	100～500ユーロ	約17,000～81,000円		
	その他	2,700ユーロ	約438,000円		
	合計	10,060～13,160ユーロ	約1,630,000～2,132,000円		
備考	国際経営学科に所属。学部科目の履修にはB2を強く推奨。教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能(語学条件はP.43参照)。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	ベルリン自由大学			
	URL	https://www.fu-berlin.de/			
	大学設立年	1948年	協定締結年		2013年
	所在地	Kaiserswerther Str. 16-18, 14195 Berlin, Deutschland			
大学紹介	ドイツの首都ベルリンにある4つの大学のうち最も規模の大きい総合大学。社会科学、人文科学を中心に自然科学分野の学科も提供し、学際的な研究を特色としている。第二次世界大戦後、分割されたベルリンには東ベルリンのフンボルト大学があるのみであった。ソ連占領当局による統制への反発から、学生および教授陣により西ベルリンにおける大学設立が求められたことを受け、アメリカの支援によって1948年にベルリン自由大学が設立された。「政治的な影響から自由な学問」を目指した背景がベルリン自由大学の名前の由来となっている。12の専門分野に約33,500人の学生が学ぶ。				
派遣期間	夏学期：2025年4月～2025年9月 冬学期：2025年10月～2026年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	540ユーロ(学期納付金)、本学免除(P.80参照)	約88,000円		
	寮費	4,200～10,800ユーロ	約681,000～1,750,000円		
	食費	3,000～4,200ユーロ	約486,000～681,000円		
	教材費	100～1,000ユーロ	約17,000～162,000円		
	その他	2,700ユーロ	約437,400円		
	合計	10,540～19,530ユーロ	約1,708,000～3,164,000円		
備考	歴史・人文科学学部内の学科に所属。ただし、他学部の科目履修も可能。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	マールブルク大学			
	URL	https://www.uni-marburg.de			
	大学設立年	1527年	協定締結年		2005年
	所在地	Biegenstr. 10, 35037 Marburg, Deutschland			
大学紹介	フィリップス大学(通称：マールブルク大学)は、ドイツのほぼ中央に位置するヘッセン州の中世のたたずまいを色濃く残す美しい大学街マールブルクにある。大学の歴史は古く、1527年に世界で初めてのプロテスタント系大学として創設された。経済学者のレプケ、作曲家のシュッツ、文学・言語学の分野ではグリム兄弟やドゥーデンなど、各方面で歴史的な著名人を数多く輩出している。現在は16学部、学生総数約22,000名の総合大学。ドイツで初めての障がい者用の寮など、設備面でも充実している。				
派遣期間	夏学期：2025年4月～2025年9月 冬学期：2025年10月～2026年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	750ユーロ(学期納付金)、本学免除(P.80参照)	約122,000円		
	寮費	3,000～4,200ユーロ	約486,000～681,000円		
	食費	2,100ユーロ	約341,000円		
	教材費	100～500ユーロ	約17,000～81,000円		
	その他	2,700ユーロ	約438,000円		
	合計	8,650～10,250ユーロ	約1,402,000～1,661,000円		
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	ミュンスター大学 Universität Münster			
	URL	https://www.uni-muenster.de			
	大学設立年	1780年	協定締結年		2004年
	所在地	Schloßplatz 2, 48149 Münster, Deutschland			
大学紹介	ミュンスター大学のあるミュンスター市は、ノルトライン=ヴェストファーレン州北部に位置し、デュースブルクとブレメンのほぼ中間にある歴史のある古都。大学は1588年に設立されたイエズス会神学校を起源とし、古い歴史を持つ。1980年には教育大学を、2004年には音楽単科大学を統合し、現在は15学部120以上の学科を持ち、教育・研究界をリードしている。学生総数は約45,000名、留学生は約3,500名。				
派遣期間	夏学期：2025年5月～2025年9月 冬学期：2025年10月～2026年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	700ユーロ (学期納付金)、本学免除 (P.80参照)		約114,000円	
	寮費	4,800～6,000ユーロ		約778,000～972,000円	
	食費	2,500～3,000ユーロ		約405,000～486,000円	
	教材費	500～1,000ユーロ		約81,000～162,000円	
	その他	2,700ユーロ		約438,000円	
	合計	11,200～13,400ユーロ		約1,815,000～2,171,000円	
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能 (語学条件はP.43参照)。				

ドイツ	大学名	リュネブルク大学 Leuphana Universität Lüneburg			
	URL	https://www.leuphana.de/			
	大学設立年	1946年	協定締結年		2019年
	所在地	Universitätsallee 1, 21335 Lüneburg, Deutschland			
大学紹介	北ドイツのニーダーザクセン州の中心都市リュネブルクにある財団立の大学。1946年にニーダーザクセン州に8つある教員養成大学の一つとして設立され、1989年に大学として認定された。ニーダーザクセン州では2001年に財団立の大学を設立する法令が定められ、2003年に認可され財団立大学に組織変更された。2007年に現名称ロイフアナ大学リュネブルク (通称：リュネブルク大学) に変更され、それに伴い新しいカリキュラムが導入された。学士課程 Leuphana College、修士課程・博士課程 Leuphana Graduate School、社会人コース Leuphana Professional School という名称の3つの課程に分かれている。現在、4学部に約10,000人の学生が学ぶ。				
派遣期間	夏学期：2025年3月～2025年8月 冬学期：2025年9月～2026年2月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上 ※備考を参照のこと				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	500ユーロ (学期納付金)、本学免除 (P.80参照)		約81,000円	
	寮費	4,200～5,400ユーロ		約681,000～875,000円	
	食費	3,600～6,000ユーロ		約584,000～972,000円	
	教材費	360～1,000ユーロ		約59,000～162,000円	
	その他	2,700～3,600ユーロ		約438,000～584,000円	
	合計	11,360～16,500ユーロ		約1,841,000～2,673,000円	
備考	人文科学部以外の授業については、履修制限あり。B1に満たない場合は、秋学期開始前に8月の国際夏期講習 (有料) に参加することが条件。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	レーゲンスブルク大学 Universität Regensburg			
	URL	https://www.uni-regensburg.de/			
	大学設立年	1962年	協定締結年		2018年
	所在地	Universitätsstraße 31, 93053 Regensburg, Deutschland			
大学紹介	ドイツ南部バイエルン州でユネスコの世界遺産に登録されているレーゲンスブルクにある、1962年設立の総合大学。12の学部 (言語学・文学・人文科学部、法学部、経済学部など) と40以上の学科を有し、学生数は約20,000名にのぼる。外国人向けのドイツ語コースが充実しており、留学生はそれぞれのレベルに合ったクラスで学部の授業と並行して無料で学ぶことができる。また、学期中に行われる語学コースでは通常の授業に加えて発音、文法、英語の授業も選択できる。				
派遣期間	夏学期：2025年4月～2025年9月 冬学期：2025年10月～2026年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上 ※備考を参照のこと				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	360ユーロ (学期納付金)、本学免除 (P.80参照)		約59,000円	
	寮費	3,400～4,800ユーロ		約551,000～778,000円	
	食費	6,700ユーロ		約1,086,000円	
	教材費	250～400ユーロ		約41,000～65,000円	
	その他	2,700ユーロ		約438,000円	
	合計	12,910～14,460ユーロ		約2,092,000～2,343,000円	
備考	語学力がB2に満たない場合は学期開始前のドイツ語集中コースに参加、それでも達しない場合はDaF科目のみ履修可能。教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能 (語学条件はP.43参照)。 留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ス イ ス	大 学 名	バーゼル大学 Universität Basel			
	U R L	https://www.unibas.ch			
	大学設立年	1460年	協定締結年		2008年
	所 在 地	Petersplatz 1, CH-4001 Basel, Schweiz			
大 学 紹 介	バーゼル大学のあるバーゼル市は、スイス北西部、ドイツ語圏のバーゼル＝シュタット準州の州都。フランスとドイツとスイスの3国の国境が接する地点に位置し、市街地はライン川をまたぐ形で広がっている。7学部、70以上の研究機関を持つ総合大学で、学生数は約13,000名、教員数は約380名。留学生数は約3,000名におよぶ。スイス最古の大学で、哲学者のニーチェやヤスパーズなどが教鞭をとり、心理学者のユングなどが学んだ。560年を超える歴史と伝統に培われた教育・研究分野での業績をベースに、未来志向の取り組みを続け、近年はとりわけ生命科学分野や文化部門に重点が置かれている。				
派 遣 期 間	春学期：2025年2月～2025年8月 秋学期：2025年9月～2026年1月				
成 績 条 件	GPA 2.30以上				
語 学 力 条 件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上				
留 学 費 用 概 算 (約10ヶ月)	授業料	1700スイスフラン (学期納付金)、本学免除 (P.80参照)	約295,000円		
	寮 費	7,200～8,400スイスフラン	約1,246,000～1,454,000円		
	食 費	4,800～6,000スイスフラン	約831,000～1,038,000円		
	教材費	1,000～2,000スイスフラン	約173,000～346,000円		
	その他	8,000スイスフラン	約1,384,000円		
合 計	22,700～26,100スイスフラン	約3,928,000～4,516,000円			
備 考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能 (語学条件はP.43参照)。				

ア メ リ カ	大 学 名	ウィスコンシン大学 スティーブンス・ポイント校 University of Wisconsin-Stevens Point			
	U R L	https://www.uwsp.edu/			
	大学設立年	1894年	協定締結年		2002年
	所 在 地	1108 Fremont Street, 103 SSC, Stevens Point, WI 54481-3109, USA			
大 学 紹 介	アメリカ中西部ウィスコンシン州の自然豊かな地域にある、学生数約8,000名の州立大学。120以上の学士号プログラムを提供している。特に、生物学、コミュニケーション、美術、歴史、教育などの学科の評価が高い。学部のクラスサイズの平均は27名、学生：教師比は19：1で、教師陣と学生との距離が近い。課外活動も充実していて、学生の満足度が高い。科目選択の自由度が高く、留学生でも希望する科目を履修できることが多い。交換留学生はキャンパスにある学生寮に入居する。				
派 遣 期 間	秋学期：2025年8月～2025年12月 春学期：2026年1月～2026年5月				
成 績 条 件	GPA 2.75以上				
語 学 力 条 件	TOEFL iBT® 78以上 (17 in speaking & writing) またはIELTS 6.0以上 (minimum band score of 5.5)				
留 学 費 用 概 算 (約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)	—		
	寮 費	約4,900～6,100米ドル	約730,000～909,000円		
	食 費	約3,650米ドル	約544,000円		
	教材費	約250米ドル	約37,000円		
	その他	約3,550米ドル	約529,000円		
合 計	約12,350～13,550米ドル	約1,840,000～2,019,000円			
備 考	留学費用の「その他」には、登録料、現地健康保険料等を含む				

ア メ リ カ	大 学 名	カリフォルニア大学 デービス校 University of California, Davis			
	U R L	https://globalstudy.ucdavis.edu			
	大学設立年	1905年	協定締結年		2012年
	所 在 地	1333 Research Park Drive, Davis, CA 95616 USA			
大 学 紹 介	カリフォルニア州北部デービス市 (サンフランシスコから車で約1時間半) にある州立大学。文系・理系ともに多彩な専攻科目と研究施設を備える大規模な総合大学で、2022-2023 U.S.News and World Reportの全米総合大学評価では38位にランキングされている。特に、農業、獣医学、生体科学、バイオテクノロジー、環境科学の分野では、全米トップの高い評価を得ている。学生数は約39,000名。留学生比率は約17%。交換留学生は、アジア、ヨーロッパ、アメリカ大陸諸国13ヶ国の45の協定校から派遣される留学生を対象とするGlobal Study Programに入学する。学期はQuarter制で、秋学期、春学期どちらも入学可能だが、1年間の留学の場合は必ず連続する3 quarters以上の留学となる。英語力に応じて履修可能な科目が異なる。				
派 遣 期 間	春学期：2025年4月～2025年6月 夏学期：2025年6月～2025年9月 秋学期：2025年9月～2025年12月 冬学期：2026年1月～2026年3月				
成 績 条 件	GPA 2.30以上				
語 学 力 条 件	1) For full-time (12-13) academic units (履修科目は全て大学学部科目) TOEFL iBT® 80、ITP® 550以上またはIELTS 6.5以上 2) For 12-13 academic units including one fixed communication-related course (指定されたコミュニケーション関連の科目要履修) TOEFL iBT® 71、ITP® 530以上またはIELTS 6.0以上				
留 学 費 用 概 算 (約9ヶ月)	授業料	25,500米ドル (3 quarters)、本学免除 (P.80参照)	約3,800,000円		
	寮 費	9,000～12,600米ドル (留学生用の寮はないためアパートかホームステイ)	約1,341,000～1,877,000円		
	食 費	4,050米ドル	約603,000円		
	教材費	600～1,500米ドル	約89,000～224,000円		
	その他	約2,000米ドル	約298,000円		
合 計	約41,150～45,650米ドル	約6,131,000～6,802,000円			
備 考	語学力条件の1)、2) ともに交換留学として認められる。				

アメリカ	大学名	カリフォルニア州立大学 モントレー・ベイ校			
	U R L	California State University Monterey Bay			
	U R L	https://csumb.edu/			
	大学設立年	1994年	協定締結年		2012年
	所在地	100 Campus Center, Seaside, CA 93955-8001 USA			
	大学紹介	カリフォルニア州立大学機構 (California State University: 1857年にカリフォルニア州立機関として設立) 23校のうちの一つ。サンフランシスコの南、モントレー・ベイを臨むシーサイド市にある。日本語&日本文化専攻を含む24の学士号修得プログラム、7つの修士号修得プログラムを提供している。学生数は約6,700名、ヒスパニック系の学生が多い(約46%)。留学生比率は約2%。			
	派遣期間	秋学期: 2025年8月~2025年12月 春学期: 2026年1月~2026年5月			
	成績条件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	TOEFL iBT® 61、ITP® 500以上またはIELTS 6.0以上			
	留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)		—
寮費		約7,200~14,200米ドル		約1,073,000~2,116,000円	
食費		約3,300~4,600米ドル		約492,000~685,000円	
教材費		約800米ドル		約119,000円	
その他		約3,300米ドル		約492,000円	
合計		約14,600~22,900米ドル		約2,175,000~3,412,000円	
備考	認定留学生での留学を希望する場合は国際交流センターにて確認すること(授業料11,400米ドル(2024年度)を留学先に納入)。				

アメリカ	大学名	サンフランシスコ州立大学			
	U R L	San Francisco State University			
	U R L	https://www.sfsu.edu/			
	大学設立年	1899年	協定締結年		2013年
	所在地	1600 Holloway Ave, San Francisco, CA 94132, USA			
	大学紹介	カリフォルニア州立大学機構 (California State University: 23大学で構成) に属する総合大学 (1899年に教員養成大学として創立)。学生数は約26,000名、アジア系の学生が約26%、ヒスパニック系が約37%を占める。留学生比率は約4%。6つの学部(経営学、人文学、教育学、民族学、健康・社会科学部、理工学部)を擁し、学士号レベルで110以上、修士号レベルでも90の専攻分野を有する。民族学部は全米でもユニークな学部として有名で、アフリカ系、アジア系、メキシコ系のアメリカ文化や人種問題の研究に力を注いでいる。外国語学科には日本語専攻プログラムがある。			
	派遣期間	秋学期: 2025年8月~2025年12月 春学期: 2026年1月~2026年5月			
	成績条件	GPA 2.75以上			
	語学力条件	TOEFL iBT® 61、ITP® 500以上またはIELTS 6.0以上			
	留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	約17,000米ドル、本学免除 (P.80参照)		
寮費・食費		約19,000米ドル		約2,831,000円	
教材費		約1,100米ドル		約164,000円	
その他		約6,100米ドル		約909,000円	
合計		約43,200米ドル		約6,437,000円	
備考	経営学部(観光学を含む)や教育学部の科目履修は不可。				

英国	大学名	エセックス大学			
	U R L	University of Essex			
	U R L	https://www.essex.ac.uk/			
	大学設立年	1962年	協定締結年		1983年
	所在地	Wivenhoe Park, Colchester, CO4 3SQ UK			
	大学紹介	学生数約18,000名の公立大学。そのうち留学生は約140ヶ国から約5,000名。社会科学分野の研究は英国でトップレベルにランク付けされている。加えて、法学、経済・経営学、TESOLを含む言語学等の人文科学も評価が高い。キャンパスはイングランド東部のコルチェスターにあり、ロンドンから電車で約1時間の距離。広いキャンパスには、カフェなどの飲食スペースやスポーツセンター、24時間開館している図書館などの施設が充実している。アカデミックな行事(講演会等)や季節のイベント(クリスマス等)も多く、授業以外で学ぶ機会も多い。			
	派遣期間	秋学期: 2025年10月~2025年12月 春学期: 2026年1月~2026年3月 夏学期: 2026年4月~2026年6月			
	成績条件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	IELTS 6.0以上 各セクション5.5以上(※英国ビザ発給条件)			
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	約15,610ポンド、本学免除 (P.80参照)		
寮費		約4,200~7,930ポンド		約806,000~1,523,000円	
食費		約1,350ポンド		約259,000円	
教材費		約100ポンド		約19,000円	
その他		約2,000ポンド		約384,000円	
合計		約23,260~26,990ポンド		約4,466,000~5,182,000円	
備考	1学期のみの留学は不可。必ず、夏学期を含む3学期間履修すること。				

英 国	大 学 名	カーディフ大学		
	U R L	Cardiff University https://www.cardiff.ac.uk/		
	大学設立年	1883年	協定締結年	1999年
	所 在 地	Colum Road, Cathays, Cardiff, Wales, CF10 3EJ, UK		
	大 学 紹 介	学生数34,000名以上の国立大学。うち留学生は約35ヶ国から約7,500名。近年ではジャーナリズム、カルチャー研究、英語学および経営学などが高く評価されている。優れた研究活動に支えられた教育が、高い学生満足度につながっている。キャンパスはウェールズの首都カーディフにあり、ロンドンから電車で約2時間。		
	派 遣 期 間	秋学期：2025年9月～2026年1月 春学期：2026年1月～2026年6月		
	成 績 条 件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	IELTS 6.0以上 各セクション5.5以上 (英国ビザ発給条件)		
	留 学 費 用 概 算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)	—
		寮 費	約5,500ポンド	約1,056,000円
		食 費	約2,000ポンド	約384,000円
		教材費	約150ポンド	約29,000円
		その他	約2,550ポンド	約490,000円
		合 計	約10,200ポンド	約1,958,000円
	備 考	主に外国語学部 (MLANG) の科目を履修する。 詳細は、国際交流センターにて確認すること。		

英 国	大 学 名	ニューカッスル大学		
	U R L	Newcastle University https://www.ncl.ac.uk/		
	大学設立年	1834年	協定締結年	2009年
	所 在 地	Newcastle upon Tyne, Tyne and Wear, NE1 7RU, UK		
	大 学 紹 介	学生数約29,000名以上の公立大学で、うち留学生は約7,000名。QS World University Ranking (2024) では110位と高い評価を受けている。キャンパスはイングランド北部のニューカッスル・アポン・タインにあり、ロンドンから電車で約3時間の距離。交換留学生の履修はFaculty of Humanities and Social Sciencesの中の科目に限定される。徒歩圏にスーパーマーケット、ショッピングモール、映画館、アジアマーケット等が揃う便利なキャンパスで、図書館は24時間開館。		
	派 遣 期 間	秋学期：2025年9月～2026年1月 春学期：2026年1月～2026年6月		
	成 績 条 件	GPA 3.00以上		
	語学力条件	1) IELTS 6.5以上 各セクション5.5以上 (英国ビザ発給条件) 2) IELTS 6.0以上 各セクション5.5以上 (1学期目は指定された科目リストから選択し、語学指導を受ける必要がある)		
	留 学 費 用 概 算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)	—
		寮 費	約4,150～7,750ポンド	約797,000～1,488,000円
		食 費	約1,100～2,140ポンド	約211,000～411,000円
		教材費	約110～600ポンド	約21,000～115,000円
		その他	約2,310～4,600ポンド	約444,000～883,000円
		合 計	約7,670～15,090ポンド	約1,473,000～2,897,000円
	備 考	語学力による履修制限あり。詳細は、国際交流センターにて確認すること。 1)、2) ともに交換留学として認められる。		

英 国	大 学 名	マンチェスター大学		
	U R L	The University of Manchester https://www.manchester.ac.uk/		
	大学設立年	1824年	協定締結年	2010年
	所 在 地	Oxford Road, Manchester, M13 9PL, UK		
	大 学 紹 介	学生数約38,000名以上の公立大学。そのうち留学生は約15,000名。世界中から学生が集まるため、国際色豊か。25名ものノーベル賞受賞者を輩出し、ビジネスからサイエンスまで幅広い分野で英国の教育をリードしている (開発学、国際関係学などの評価が高い)。日本語学科もあり、交友関係を広げやすい。キャンパスはイングランド北西部の都市マンチェスターに位置し、中心街からバスで5～10分。ロンドンからは電車で約3時間の距離。		
	派 遣 期 間	秋学期：2025年9月～2026年1月 春学期：2026年1月～2026年6月		
	成 績 条 件	GPA 3.00以上		
	語学力条件	IELTS 6.5以上 各セクション5.5以上 (英国ビザ発給条件)		
	留 学 費 用 概 算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)	—
		寮 費	約6,500ポンド	約1,248,000円
		食 費	約2,100ポンド	約403,000円
		教材費	約260ポンド	約50,000円
		その他	約2,600ポンド	約499,000円
		合 計	約11,460ポンド	約2,200,000円
	備 考	<ul style="list-style-type: none"> 履修を希望する分野や科目によって英語力の要件が異なるので、自身の希望する分野の語学要件を確認すること。 正規授業に加えて、英語の補講を受けなければならない場合がある。 認定留学生には、マンチェスター大学の授業料の10%が免除される "Exchange Extra" が適用される場合がある。 →協定校HP参照 		

カナダ	大学名	フレーザーバレー大学 University of the Fraser Valley			
	U R L	https://www.ufv.ca/			
	大学設立年	1974年	協定締結年		2009年
	所在地	33844 King Rd, Abbotsford, BC, Canada V2S 7M8			
	大学紹介	ブリティッシュ・コロンビア州最大の都市バンクーバーから東に1時間ほどの距離にあり、周辺は湖や川など豊かな自然環境に恵まれている。学生数約15,000名の公立大学。留学生は世界60ヶ国から約2,000名が学んでいる。21の学士号課程、35以上の専攻プログラムを提供している。			
	派遣期間	秋学期：2025年9月～2025年12月 春学期：2026年1月～2026年4月			
	成績条件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	TOEFL iBT® 88以上 (no sub-score below 20) またはIELTS 6.5以上 (minimum band score of 6.0)			
	留学費用概算 (約8ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)		—
		寮費	約6,000カナダドル		約672,000円
食費		約4,000カナダドル	約448,000円		
教材費		約1,300カナダドル	約146,000円		
その他		約4,000カナダドル	約448,000円		
合計		約15,300カナダドル	約1,714,000円		
備考	2025年度の募集予定なし。				

カナダ	大学名	ヨーク大学 York University			
	U R L	https://www.yorku.ca/index.html			
	大学設立年	1959年	協定締結年		1998年
	所在地	4700 Keele Street, Toronto, ON, Canada M3J 1P3			
	大学紹介	カナダ東部のオンタリオ州トロント郊外にある、カナダで3番目に大きな州立大学で、学生数は約55,000名。さまざまな人種・民族が共存する多文化都市トロントにふさわしく、約170ヶ国から10,000名以上の留学生在籍する。11の学部と25の研究センターを擁し、時代の求める革新的かつ学際的な研究に取り組んでいる。ヨーク大学のビジネススクールは特に評価が高く、エコノミスト誌によるランキングではトップの評価を得ている。			
	派遣期間	秋学期：2025年9月～2025年12月 春学期：2026年1月～2026年4月			
	成績条件	GPA 2.50以上			
	語学力条件	TOEFL iBT® 88以上またはIELTS 6.5以上			
	留学費用概算 (約8ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)		—
		寮費	約6,000～11,000カナダドル		約672,000～1,232,000円
食費		約4,000～5,000カナダドル	約448,000～560,000円		
教材費		約300カナダドル	約34,000円		
その他		約4,000カナダドル	約448,000円		
合計		約14,300～20,300カナダドル	約1,602,000～2,274,000円		
備考					

ジャマイカ	大学名	西インド諸島大学 モナ校 The University of the West Indies, Mona Campus			
	U R L	https://www.mona.uwi.edu/			
	大学設立年	1948年	協定締結年		2012年
	所在地	Mona, Kingston 7, Jamaica			
	大学紹介	カリブ海に浮かぶ西インド諸島の一つ、ジャマイカの首都キングストンにある。イギリスの旧植民地で、英語を公用語とする。4つのキャンパスを有する西インド諸島大学(学生数45,000名)は、地域のニーズに応えることを大学のミッションとし、西インド諸島の経済的、文化的ポテンシャルを引き出すための研究に注力している。キングストン国際空港から車で約20分の距離にあるモナ校(学生数約20,000名)には、人文・教育、社会科学、科学・技術、工学、スポーツ、法学、医学の7つの学部があり、200以上の専攻プログラムを提供している。			
	派遣期間	秋学期：2025年9月～2025年12月 春学期：2026年1月～2026年5月			
	成績条件	GPA 3.00以上			
	語学力条件	TOEFL iBT® 82、ITP® 500以上またはIELTS 6.5以上			
	留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)		—
		寮費	約1,500～4,400米ドル		約224,000円～656,000円
食費		約7,200米ドル	約1,073,000円		
教材費		約600米ドル	約89,000円		
その他		約370米ドル	約55,000円		
合計		約9,670～12,570米ドル	約1,441,000円～1,873,000円		
備考					

オーストラリア	大学名	ウーロンゴン大学 University of Wollongong			
	U R L	https://www.uow.edu.au/			
	大学設立年	1951年	協定締結年		1996年
	所在地	Wollongong NSW 2522 Australia			
大学紹介	ニューサウスウェールズ州ウーロンゴンにある国立総合大学。学生数は約33,000名、うち留学生は約7,300人。主要な世界大学ランキングでは上位1%にランクインしている。ウーロンゴンは人口約30万人の海辺にある静かな街で、シドニーからは電車で約1時間半。中心部から約5km離れた所にキャンパスがあり、海岸へも2kmほど。				
派遣期間	秋学期：2025年2月～2025年6月 春学期：2025年7月～2025年11月				
成績条件	GPA 2.70以上				
語学力条件	TOEFL iBT® 79以上 (minimum of 20 in writing, 18 in reading, 17 in listening, 16 in speaking) または IELTS 6.0以上 (minimum of 6.0 in reading and writing)				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	19,980豪ドル、本学免除 (P.80参照)	約1,998,000円		
	寮費	約12,100～21,560豪ドル	約1,210,000～2,156,000円		
	食費	約3,200豪ドル	約320,000円		
	教材費	約200豪ドル	約20,000円		
	その他	約3,750豪ドル	約375,000円		
	合計	約39,230～48,690豪ドル	約3,923,000～4,869,000円		
備考	南半球は、学期の呼称(季節)が北半球と反対。				

オーストラリア	大学名	サザンクロス大学 Southern Cross University			
	U R L	https://scu.edu.au/			
	大学設立年	1994年	協定締結年		2014年
	所在地	Military Road, East Lismore NSW 2480			
大学紹介	1994年設立の比較的新しい公立大学。約18,000名が学び、うち留学生は約3,000名。メイン・キャンパスはニューサウスウェールズ州リスモア。最寄の都市ブリスベンまではバスで約3時間の距離。開講科目は、アート、教育学、社会科学、ビジネス、観光学、法学、先住民研究、環境科学など。				
派遣期間	秋学期：2025年2月～2025年6月 春学期：2025年7月～2025年10月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	TOEFL iBT® 61以上 (no less than 17 for writing/speaking, 11 for reading/listening) またはIELTS 6.0以上 (no band less than 5.5)				
留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)	—		
	寮費	約7,200～9,300豪ドル	約720,000～930,000円		
	食費	約5,400～10,800豪ドル	約540,000～1,080,000円		
	教材費	約600豪ドル	約60,000円		
	その他	約2,520豪ドル	約252,000円		
	合計	約15,720～23,220豪ドル	約1,572,000～2,322,000円		
備考	南半球は、学期の呼称(季節)が北半球と反対。 2025年度の募集予定未定。認定留学生での留学を希望する場合は国際交流センターにて確認すること(授業料 約19,280豪ドル)。認定留学生には、400豪ドルの授業料割引あり(1学期につき4科目履修の場合)。				

オーストラリア	大学名	サンシャインコースト大学 University of the Sunshine Coast			
	U R L	https://www.usc.edu.au/			
	大学設立年	1996年	協定締結年		2004年
	所在地	Locked Bag 4, Maroochydore DC QLD 4558 Australia			
大学紹介	クイーンズランド州の比較的新しい公立大学。学生数約17,500名、留学生比率は約10%。Business and LawとScience, Health, Education and Engineeringの2学部で8学科を持つ。キャンパスはサンシャインコースト(ブリスベンから北へ100km)にある。				
派遣期間	秋学期：2025年2月～2025年6月 春学期：2025年7月～2025年11月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	TOEFL iBT® 76以上 (minimum writing score 18) またはIELTS 6.0以上 (minimum band score of 5.5)				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)	—		
	寮費	約3,600～11,600豪ドル	約360,000～1,160,000円		
	食費	約4,300豪ドル	約430,000円		
	教材費	約800豪ドル	約80,000円		
	その他	約5,800豪ドル	約580,000円		
	合計	約14,500～22,500豪ドル	約1,450,000～2,250,000円		
備考	南半球は、学期の呼称(季節)が北半球と反対。 2025年度の募集予定なし。				

インドネシア	大学名	ビヌス大学 Bina Nusantara (BINUS) University				
	U R L	https://binus.ac.id/				
	大学設立年	1974年	協定締結年	2019年		
	所在地	Jl. K. H. Syahdan No. 9, Kemanggisan, Palmerah Jakarta 11480 Indonesia				
	大学紹介	4つのキャンパスを持つインドネシア最大規模の私立大学。学生数は約15,000名、留学生数は35ヶ国から約700人。コンピュータ、ビジネス、コミュニケーション等の授業が充実しており、日本文学の学科もある。自動車業界、情報系の日系企業へ卒業生を輩出しており、日本企業との繋がりも強い大学。「QS University Rankings: Asia 2022」では、包括性、教育、雇用、社会的責任において5つ星評価、総合点においても5つ星を得ており、アジアの大学ランキング内でも250位以内に位置している。				
	派遣期間	秋学期：2025年9月～2026年2月 春学期：2026年2月～2026年7月				
	成績条件	GPA 2.75以上				
	語学力条件	TOEFL iBT® 79、ITP® 550以上またはIELTS 6.0以上				
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)	-		
		寮費	約2,400～2,900米ドル	約358,000～432,000円		
食費		約3,000～5,000米ドル	約447,000～745,000円			
教材費		約150米ドル	約22,000円			
その他		約2,000米ドル	約298,000円			
合計	約7,550～10,050米ドル	約1,125,000～1,497,000円				
備考	教授言語は英語。					

トルコ	大学名	ボアジチ大学 Boğaziçi University				
	U R L	https://www.boun.edu.tr/en-US/				
	大学設立年	1971年	協定締結年	2016年		
	所在地	34342 Bebek, Istanbul, Turkey				
	大学紹介	イスタンブールにある公立大学。学生数は約17,000名(交換留学生数は約350名)。「ボアジチ」とはトルコ語でボスポラス海峡を意味する。1863年にアメリカ人ロバート・クリストファーによりリベラルアーツ教育を目的とし設立された米国高等教育機関であるロバート・カレッジを起源とする。ロバート・カレッジは1971年にトルコ政府に譲渡され、公立のボアジチ大学として創設された。8つの学群Faculty/School(人文、経済・経営学、法学、教育、コミュニケーション、工学、応用科学、外国語)を擁し、30を超えるプログラムがそれぞれ学士、修士、博士号を提供している。日本語学習者は常時150名程度在籍している。大学ランキングは国内第2位で、入学最難関の大学としてトルコ国内から最も優秀な学生を集めている。				
	派遣期間	秋学期：2025年9月～2026年1月 春学期：2026年2月～2026年6月				
	成績条件	GPA 2.50以上				
	語学力条件	TOEFL iBT® 79以上 (minimum of 22 in writing) またはIELTS 6.5以上 (minimum of 6.0 in writing)				
	留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)	-		
		寮費	約1,800～2,250ユーロ	約292,000～365,000円		
食費		約2,250ユーロ	約365,000円			
教材費		約150～200ユーロ	約24,000～32,000円			
その他		約900ユーロ	約146,000円			
合計	約5,100～5,600ユーロ	約826,000～907,000円				
備考	教授言語は英語。 2025年度の募集予定未定。					

チェコ	大学名	マサリク大学 Masaryk University				
	U R L	https://www.uma.es				
	大学設立年	1919年	協定締結年	2017年		
	所在地	Komenskeho nam. 2, 602 00 Brno, Czech Republic				
	大学紹介	チェコ共和国第2の都市ブルノに位置する国立総合大学。教養、教育学、経済・経営学、社会科学、法学、理学、医学、薬学、情報科学、スポーツ科学の10学部を擁する。学生数は約33,000名(このうち留学生数は約5,500名)。チェコ国内の総合大学では、プラハのカレル大学に次いで高い評価を得ている。チェコの公用語はチェコ語であるが、英語を教授言語とする科目が多数あり、英語圏の交換協定校として協定を締結した。				
	派遣期間	秋学期：2025年9月～2026年2月 春学期：2026年2月～2026年6月				
	成績条件	GPA 2.75以上				
	語学力条件	TOEFL iBT® 70以上またはIELTS 5.5以上				
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)	-		
		寮費	約1,900米ドル	約283,000円		
食費		約2,300～2,800米ドル	約343,000～417,000円			
教材費		約110米ドル	約16,000円			
その他		約3,000米ドル	約447,000円			
合計	約7,310～7,810米ドル	約1,089,000～1,164,000円				
備考	教授言語は英語。 秋学期、春学期どちらからでも留学可能だが、秋学期募集を行い定員枠に空きがある場合のみ春学期募集を行う。					

ウズベキスタン	大学名	ウズベキスタン国立世界言語大学			
	U R L	https://uzswlu.uz/en			
	大学設立年	1949年	協定締結年		2024年(予定)
	所在地	21a, block G-9a, S.Yusupov Street., Tashkent, Uzbekistan			
大学紹介	1949年に設立されたタシケント外国語教育大学を起源とし、1992年に国立ロシア語ロシア文学大学と統合して誕生。ウズベキスタン国内トップレベルの外国語大学で、言語学、外国語教育、通訳・翻訳学の分野における重要な教育研究機関の一つ。約23,000名以上の学生が英語、ロマンス・ゲルマン諸語、ロシア語、オリエンタル言語など、20を超える言語を学んでいる。また通訳学部には日本語を主専攻とするコースがあり、「第二外国語としての日本語教育プログラム」も提供されている。日本文化を紹介する交流イベント・協定校との学生交流も活発に行っている。本学からの交換留学生は教授言語が英語の科目を履修する。				
派遣期間	秋学期：2025年9月～2025年12月 春学期：2026年1月～2026年6月				
成績条件	GPA 2.90以上				
語学力条件	TOEFL iBT® 61、ITP® 543以上またはIELTS 5.5以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)		—	
	寮費	約100米ドル		約15,000円	
	食費	約1,500米ドル～3,000米ドル		約224,000～447,000円	
	教材費	—		—	
	その他	—		—	
合計	約1,600米ドル～3,000米ドル		約239,000～462,000円		
備考	教授言語は英語。 2025年度の募集予定未定。				

フランス	大学名	西部カトリック大学			
	U R L	https://www.cidef.uco.fr			
	大学設立年	1875年	協定締結年		1997年
	所在地	3 Place André-Leroy, BP 10808 49008 Angers, cedex 01 FRANCE			
大学紹介	フランス中西部、ロワールの城が点在し、物産も豊かで美しいペイ・ド・ラ・ロワール地方の中心アンジェ市にある。1373年に創られた学校を前身とし、1875年に改めて創立された名門私立大学。学生数は約12000名、世界中に170余りある協定校から約1,700名の交換留学生を受け入れている。本学学生が学ぶ西部カトリック大学附属国際フランス語教育センター(CIDEF)は、2学期制の通年コースと夏季コース(7月～9月)を開講。通年コースの中級以上になると選択科目として商業フランス語、歴史や文学、哲学、翻訳、観光業、ホテル業などを選択できる。DELTA・DALF・TCF・パリ商工会議所認定フランス語試験受験可能。				
派遣期間	春学期：2025年2月～2025年5月 秋学期：2025年10月～2026年1月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	証明の必要はないが、フランス語の学内選考試験(一次筆記・二次面接)があり、仏検2級程度の語学力が求められる。				
留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	6,300ユーロ 春学期開始は7,200ユーロ、本学免除(P.80参照)		約1,020,000～1,166,000円	
	寮費	4,000～7,000ユーロ(寮により異なる) ※ホームステイの場合：3,300～5,200ユーロ(食事の有無により異なる)		約534,000～1,134,000円	
	食費	2,000～3,000ユーロ		約328,000～486,000円	
	教材費	—		—	
	その他	3,000～4,500ユーロ		約486,000～729,000円	
合計	約14,600～21,700ユーロ		約2,365,000～3,515,000円		
備考	フランス語のレベルがB2以上の場合、学部の講義に出席できる。				

フランス	大学名	パリ第1大学 パンテオン-ソルボンヌ			
	U R L	https://www.pantheonsorbonne.fr/			
	大学設立年	1971年	協定締結年		2013年
	所在地	12, place du Panthéon 75005 Paris, FRANCE			
大学紹介	パリ大学としての起源は12世紀に遡り、ヨーロッパで最も古い国立大学の一つである。1968年に7つの大学に分かれた後、1971年、新たに第1から第13大学までの独立大学として編成された。その1番目に名を連ねるパリ第1大学(「パンテオン-ソルボンヌ」)を冠する別称を持つが、日本における通称は「パリ1」)は、現在、経済・経営学、人文科学・技術、法学・政治学の3つの専門分野の傘下に10の学科および4つの研究科を有する。学生数は約45,000名。本部は学生街カルチエ・ラタン地区の中心に位置する。交換派遣は法律・政治・経営・地理・歴史分野に限定される。				
派遣期間	秋学期：2025年9月～2025年12月 春学期：2026年1月～2026年5月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	B2以上(要証明書)				
留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入(P.80参照)		—	
	寮費	5,500～7,500ユーロ		約891,000～1,215,000円	
	食費	2,700～4,200ユーロ		約437,000～680,000円	
	教材費	—		—	
	その他	3,500～5,000ユーロ		約567,000～810,000円	
合計	約11,700～16,700ユーロ		約1,895,000～2,705,000円		
備考	専攻分野は応募前に相談のこと。				

フ ラ ン ス	大 学 名	フランシュ・コンテ大学			
	U R L	https://www.univ-fcomte.fr/			
	大学設立年	1423年	協定締結年		2018年
	所 在 地	1 Rue Claude Goudimel, 25030 Besançon, FRANCE			
	大 学 紹 介	フランス東部に位置するフランシュ・コンテ地方の中心ブサンソン市にあり、中世からの伝統を誇る国立総合大学。医学、薬学、科学技術、教育、言語学など41分野の教育・研究を行っており、学生数は約27,000名である。外国人に対するフランス語教育において、フランス屈指の質の高いプログラムを提供し、毎年世界各国から3,000名以上の学生を受け入れている。			
派遣期間	秋学期：2025年9月～2025年12月 春学期：2026年1月～2026年5月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	学部留学の場合B2以上(要証明書)。語学留学の場合、証明の必要はないが、フランス語の学内選考試験(一次筆記・二次面接)があり、仏検2級程度の語学力が求められる(証明書提出推奨)。				
留 学 費 用 概 算 (約9ヶ月)	授業料	学部留学の場合は留学先免除(※語学留学の場合は2,560ユーロ)、本学へ納入(P.80参照)	約414,000円(語学学校のみ)		
	寮 費	約2,400ユーロ。ホームステイの場合は7,500ユーロ程度	約388,000～1,215,000円		
	食 費	2,000～3,000ユーロ	約324,000～約486,000円		
	教材費	—	—		
	その他	3,000～4,500ユーロ	約486,000～729,000円		
	合 計	約7,400～17,560ユーロ	約1,198,000～2,844,000円		
備 考	※語学留学の場合は、本学および語学学校両方に授業料を納付する必要がある。1学期目に語学留学をし、要件を満たせば、2学期目は学部留学できる。				

フ ラ ン ス	大 学 名	リュミエール・リヨン第2大学			
	U R L	https://cief.univ-lyon2.fr			
	大学設立年	1973年	協定締結年		2022年
	所 在 地	18 quai Claude Bernard, F69365 Lyon Cedex 7, FRANCE			
	大 学 紹 介	フランス第2の都市リヨンにある国立大学。1809年創立のリヨン大学が1973年に3つの大学に分割。学問分野は人文科学、社会科学等。交換派遣は付属語学学校のみ。			
派遣期間	秋学期：2025年9月～2025年12月 春学期：2026年2月～2026年5月				
成績条件	GPA 2.30				
語学力条件	DU FOUコース B1以上(要証明書)、DUEFコースは証明の必要はないが、フランス語の学内選考試験(一次筆記・二次面接)があり、仏検2級程度の語学力が求められる。				
留 学 費 用 概 算 (約9ヶ月)	授業料	DUEFコース：3,200ユーロ、DU FOUコース：3,750ユーロ、本学免除(P.80参照)	約518,000～607,000円		
	寮 費	約2,500ユーロ、ホームステイの場合は5,200～7,200ユーロ	約355,000～1,022,000円		
	食 費	2,000～3,000ユーロ	約324,000～約486,000円		
	教材費	—	—		
	その他	3,000～4,500ユーロ	約486,000～729,000円		
	合 計	10,700～18,450ユーロ	約1,733,000～2,989,000円		
備 考	DU FOUは専門フランス語コースで「メディア・コミュニケーション」「経営・経済」「芸術・言語」3分野あり。それぞれの分野の基礎知識があることが望ましい。				

ス ペ イ ン	大 学 名	バルセロナ自治大学			
	U R L	https://www.uab.cat/			
	大学設立年	1968年	協定締結年		2010年
	所 在 地	Campus de la UAB Bellaterra, 08193 Cerdanyola del Vallès, Barcelona, SPAIN			
	大 学 紹 介	スペイン第2の都市バルセロナ郊外に3つのキャンパスを持つバルセロナ自治大学は、比較的新しい公立大学。学生数は約35,000名で、交換留学生は約1,700名。バルセロナ市街地より約20km北に位置し、人文学、コミュニケーション学、経済経営学、教育学、法学、医学、心理学、翻訳通訳学などの学部がある。交換留学生は、翻訳通訳学部所属し、履修科目の50%以上を翻訳通訳学部の科目から登録しなければならない。カタルーニャ語のみで開講される授業もある。			
派遣期間	1学期：2025年9月～2026年2月 2学期：2026年2月～2026年7月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	DELE B1程度				
留 学 費 用 概 算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入(P.80参照)	—		
	寮 費	3,000～7,800ユーロ	約486,000～1,263,000円		
	食 費	2,500～3,500ユーロ	約405,000～567,000円		
	教材費	25～100ユーロ	約4,000～16,000円		
	その他	2,500～3,800ユーロ	約405,000～615,000円		
	合 計	8,025～15,200ユーロ	約1,300,000～2,462,000円		
備 考					

スペイン	大学名	マラガ大学			
	U R L	Universidad de Málaga https://www.uma.es			
	大学設立年	1972年	協定締結年		2017年
	所在地	Avda. Cervantes, 2 29071 Málaga, SPAIN			
大学紹介	マラガ大学は、スペイン南部のアンダルシア州に2つのキャンパスを持つ、比較的新しい公立大学。学生数は約34,000名で、観光学、芸術、哲学・文学、コミュニケーション学、経済経営学、教育学、法学、医学、健康科学、心理学などの学部がある。交換留学生はどの学部の科目も履修することができるが、メインの学部を決めそこから50%以上を履修しなければならない。英語で開講される授業もある。				
派遣期間	1学期：2025年9月～2026年2月 2学期：2026年2月～2026年7月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	DELE B1程度				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)		—	
	寮費	4,000～9,600ユーロ		約648,000～1,555,000円	
	食費	2,000～3,500ユーロ		約324,000～567,000円	
	教材費	50～200ユーロ		約8,000～32,000円	
	その他	2,200～3,800ユーロ		約356,000～615,000円	
	合計	8,250～17,100ユーロ		約1,336,000～2,770,000円	
備考					

メキシコ	大学名	グアダハラ大学			
	U R L	Universidad de Guadalajara https://www.udg.mx/			
	大学設立年	1792年	協定締結年		2012年
	所在地	Av. Juárez No.976, Colonia Centro, C.P. 44100, Guadalajara, Jalisco, México			
大学紹介	メキシコ中西部に位置するハリスコ州の州都グアダハラに本部を置く、国内有数の高等教育機関として知られる州立総合大学。都市部に学科別に分かれた6つのキャンパス (Centro Universitario)、郊外に地域別に分かれた9つのキャンパスを有する。総学生数は約120,000名。芸術・建築・デザイン、生物・農業、経済・経営、精密科学・工学、健康科学、社会人文学などの学部がある。				
派遣期間	1学期：2025年8月～2025年12月 2学期：2026年1月～2026年6月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	DELE B1程度				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)		—	
	寮費	38,000～45,000メキシコペソ ※留学生用の寮はないためアパート		約380,000～450,000円	
	食費	20,000～50,000メキシコペソ		約200,000～500,000円	
	教材費	500～3,000メキシコペソ		約5,000～30,000円	
	その他	25,000～60,000メキシコペソ		約250,000～600,000円	
	合計	83,500～158,000メキシコペソ		約835,000～1,580,000円	
備考					

中国	大学名	華東師範大学			
	U R L	East China Normal University https://www.ecnu.edu.cn/			
	大学設立年	1951年	協定締結年		2013年
	所在地	中山北路キャンパス：上海市普陀区中山北路3663号 閔行キャンパス：上海市閔行区東川路500号			
大学紹介	1951年に設立された国家教育部直属の全国重点大学の一つ。世界都市上海にありながら、緑豊かで広大なキャンパスを有し、中心部へのアクセスもよい。学生数は約38,000名、そのうちおよそ1,500名の留学生が学部所属の正規生として学んでいる。国際交流を重視しており、交流協定を結ぶ教育機関は300にも上る。				
派遣期間	春学期：2025年2月～2025年7月 秋学期：2025年9月～2026年1月				
成績条件	<語学留学>GPA 2.30以上 <学部留学>3.00以上				
語学力条件	<語学留学> 中国語検定3級以上またはHSK3級以上 (コースによりHSK4級以上) <学部留学> HSK5級180点以上				
留学費用概算 (約11ヶ月)	授業料	留学先免除※、本学へ納入 (P.80参照)		—	
	寮費	11,550～47,300元		約243,000～993,000円	
	食費	11,000～22,000元		約231,000～462,000円	
	教材費	400～1,000元		約8,000～21,000円	
	その他	11,000～22,000元		約231,000～462,000円	
	合計	33,950～92,300元		約713,000～1,938,000円	
備考	本学交換留学生は、語言生として語学留学する方法と、普通進修生として学部留学する方法の2種類がある。 ※語学留学の場合、コースにより自己負担あり				

中国	大学名	大連理工大学			
	U R L	Dalian University of Technology			
	U R L	https://www.dlut.edu.cn/			
	大学設立年	1949年	協定締結年		2018年
	所在地	大連凌水キャンパス：大連市甘井子区凌工路2号			
	大学紹介	大連理工大学は全国重点大学の一つで、遼寧省大連市にメインキャンパスがあり、理系学部のほか、人文社会、経済管理、外国語学部などの文系学部も擁している。中でも国際教育学部は主に留学生を受け入れ、中国語コースや漢語言本科（経済・貿易）コースが開講されている。交流協定を結ぶ教育機関は43ヶ国313校に上る。			
	派遣期間	春学期：2025年2月～2025年7月 秋学期：2025年9月～2026年1月			
成績条件	GPA 3.00以上				
語学力条件	<語学留学> 中国語検定3級以上またはHSK3級以上 <学部留学> HSK5級180点以上				
留学費用概算 (約11ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)		—	
	寮費	6,600～9,900元		約139,000～208,000円	
	食費	11,000～22,000元		約231,000～462,000円	
	教材費	400～1,000元		約8,000～21,000円	
	その他	11,000～22,000元		約231,000～462,000円	
	合計	29,000～54,900元		約609,000～1,153,000円	
備考	本学交換留学生は、語言生として語学留学する方法と、普通進修生として学部留学する方法の2種類がある。				

中国	大学名	北京師範大学			
	U R L	Beijing Normal University			
	U R L	https://www.bnu.edu.cn/			
	大学設立年	1902年	協定締結年		2010年
	所在地	海淀キャンパス：北京市海淀区新街口外大街19号			
	大学紹介	北京師範大学は国家教育部直属の重点大学の一つであり、教師教育、教育科学、文理基礎学を主な特色とする著名な総合・研究型の大学である。40以上の国・地域の約250の大学や研究所と交流協定を結んでいる。			
	派遣期間	春学期：2025年2月～2025年7月 秋学期：2025年9月～2026年1月			
成績条件	GPA 3.00以上				
語学力条件	<学部留学> HSK5級180点以上				
留学費用概算 (約11ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)		—	
	寮費	19,800～26,400元		約416,000～554,000円	
	食費	11,000～22,000元		約231,000～462,000円	
	教材費	400～1,000元		約8,000～21,000円	
	その他	11,000～22,000元		約231,000～462,000円	
	合計	42,200～71,400元		約886,000～1,499,000円	
備考	本学交換留学生は、「経済と工商管理学院」「法学院」のいずれかの学院を選択し、その学院が開設する科目を履修する。				

台湾	大学名	国立台南大学			
	U R L	National University of Tainan			
	U R L	https://www.nutn.edu.tw			
	大学設立年	2004年	協定締結年		2022年
	所在地	府城キャンパス：台南市中西区樹林街二段33号 栄誉キャンパス：台南市東区栄誉街67号 他			
	大学紹介	台湾西南部に位置する台南市に設置された国立大学。前身は1899年に創立された台南師範学校であり、2004年に国立台南大学に改組された。師範学校からの流れをくむ教育学部のほか、人文学部、理工学部、環境生態学部、芸術学部、管理学部の計6学部を有する総合大学である。			
	派遣期間	春学期：2025年2月～2025年6月 秋学期：2025年9月～2026年1月			
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	中国語検定3級以上またはHSK3級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)		—	
	寮費	17,000～78,000ニュー台湾ドル		約85,000～390,000円	
	食費	75,000～100,000ニュー台湾ドル		約375,000～500,000円	
	教材費	2,000～10,000ニュー台湾ドル		約10,000～50,000円	
	その他	27,000～50,000ニュー台湾ドル		約135,000～250,000円	
	合計	121,000～238,000ニュー台湾ドル		約605,000～1,190,000円	
備考	学部留学。一つの学部にも所属するが、学部横断的に履修が可能。留学生向けの中国語の授業も開講されている。				

台湾	大学名	国立高雄科技大学			
	U R L	National Kaohsiung University of Science and Technology https://www.nkust.edu.tw/			
	大学設立年	2018年	協定締結年		2023年
	所在地	第一キャンパス：高雄市燕巢区大学路1号/高雄市楠梓区卓越路2号 建工キャンパス：高雄氏三民区建工路415号 燕巢キャンパス：高雄市燕巢区深中路58号 他			
大学紹介	国立高雄科技大学 (NKUST) は、2018年2月1日に国立高雄応用科技大学、国立高雄第一科技大学、国立高雄海洋科技大学が合併して設立された台湾最大の科学技術大学で、外国語学部や管理学院などの文系学部も有する。				
派遣期間	春学期：2025年2月～2025年6月 秋学期：2025年9月～2026年1月				
成績条件	GPA 3.00以上				
語学力条件	中国語検定2級以上、HSK 5級180点以上、TOCFL Level 3以上またはTECC C以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)		—	
	寮費	18,210～32,600ニュー台湾ドル		約91,000～163,000円	
	食費	75,000～100,000ニュー台湾ドル		約375,000～500,000円	
	教材費	2,000～10,000ニュー台湾ドル		約10,000～50,000円	
	その他	27,000～50,000ニュー台湾ドル		約135,000～250,000円	
	合計	122,210～192,600ニュー台湾ドル		約611,000～963,000円	
備考	学部留学。獨協大学での専門と関連のある学部にも所属するが、学部横断的に履修が可能。留学生向けの中国語の授業も開講されている。				

台湾	大学名	東呉大学			
	U R L	Soochow University https://www.ch.scu.edu.tw/			
	大学設立年	1951年	協定締結年		2013年
	所在地	外雙溪キャンパス：台北市士林區臨溪路70號 城中キャンパス：台北市中正区貴陽街一段56號			
大学紹介	台湾台北市にある私立の総合大学。もともとは1900年に中国蘇州に建学された、中国初の西洋式教育の大学で、1951年に台湾で再興された。人文社会学部、外国語文学部、理学部、法学部、商学部、ビッグデータ・マネジメント学部の6学部、計26学科を擁し、約180校の海外教育機関と交流協定を結んでいる。				
派遣期間	春学期：2025年2月～2025年6月 秋学期：2025年9月～2026年1月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	中国語検定3級以上またはHSK 3級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)		—	
	寮費	24,000～79,800ニュー台湾ドル		約120,000～399,000円	
	食費	75,000～100,000ニュー台湾ドル		約375,000～500,000円	
	教材費	2,000～10,000ニュー台湾ドル		約10,000～50,000円	
	その他	27,000～50,000ニュー台湾ドル		約135,000～250,000円	
	合計	128,000～239,800ニュー台湾ドル		約640,000～1,199,000円	
備考	学部留学。特定学部にも所属せず、学部横断的に履修が可能。留学生向けの授業（中国語の授業含む）も複数開講されている。				

韓国	大学名	仁荷 (イナ) 大学			
	U R L	Inha University https://www.inha.ac.kr			
	大学設立年	1954年	協定締結年		2006年
	所在地	100 Inha-ro, Michuhol-gu, Incheon 22212, Korea			
大学紹介	仁川 (インチョン) 国際空港や7,000社を超える工業団地を擁する仁川市にある私立総合大学。ソウル中心地からは、電車やバスで1時間～1時間半の距離にある。約18,000名の学部生が学び、世界各国からの留学生も多い。文化体験プログラムなどの国際交流にも力を入れている。				
派遣期間	春学期：2025年2月～2025年6月 秋学期：2025年8月～2025年12月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	「ハングル」能力検定試験3級程度または韓国語能力試験 (TOPIK) 3級程度 (韓国語文学科、国際韓国言語文化学科に所属する場合はTOPIK 3級以上)				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.80参照)		—	
	寮費	約2,000,000ウォン		約240,000円	
	食費	約3,000,000～4,000,000ウォン		約360,000～480,000円	
	教材費	約200,000ウォン		約24,000円	
	その他	約3,000,000ウォン		約360,000円	
	合計	約8,200,000～9,200,000ウォン		約984,000～1,104,000円	
備考					

韓国	大学名	慶熙(キョンヒ)大学 Kyung Hee University			
	URL	https://www.khu.ac.kr/			
	大学設立年	1949年	協定締結年		2008年
	所在地	ソウルキャンパス: 26, Kyungheedaero, Dongdaemun-gu, Seoul 02447, Korea 国際キャンパス: 1732, Deogyong-daero, Giheung-gu, Yongin-si, Gyeonggi-do 17104, Korea			
	大学紹介	幼稚園から大学院まで一貫教育を行っている名門私立総合大学で、学部の学生数は約26,000名。ソウル市北東部と京畿道龍仁市にキャンパスを置く。在学生による留学生へのトウミ(チューター)制度をいち早く取り入れた大学として有名。			
	派遣期間	春学期: 2025年2月~2025年6月 秋学期: 2025年8月~2025年12月			
	成績条件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	韓国語能力試験(TOPIK) 3級以上			
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入(P.80参照)		—
		寮費	約3,200,000~3,300,000ウォン		約384,000~396,000円
食費		約4,000,000~4,500,000ウォン	約480,000~540,000円		
教材費		約200,000ウォン	約24,000円		
その他		約3,000,000ウォン	約360,000円		
合計		約10,400,000~11,000,000ウォン	約1,248,000~1,320,000円		
備考					

韓国	大学名	建国(コングク)大学 Konkuk University			
	URL	https://www.konkuk.ac.kr/			
	大学設立年	1959年	協定締結年		2008年
	所在地	ソウルキャンパス: 120 Neungdong-ro, Gwangjin-gu, Seoul 05029, Korea			
	大学紹介	ソウル市東部にメインキャンパス、忠清北道忠州市に理系中心のキャンパスを置く名門私立総合大学。ソウルキャンパスは、緑に囲まれた自然豊かな環境で、ソウル中心地へのアクセスも良い。学部には約22,000名の学生が在籍する。毎夏、本学の韓国語研修を付属機関の言語教育院で実施している。			
	派遣期間	春学期: 2025年2月~2025年6月 秋学期: 2025年8月~2025年12月			
	成績条件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	「ハングル」能力検定試験3級程度または韓国語能力試験(TOPIK) 3級程度			
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入(P.80参照)		—
		寮費	約4,500,000~5,000,000ウォン(寮の利用は1学期目のみ可。2学期目は外部住居。)		約540,000~600,000円
食費		約4,000,000~4,500,000ウォン	約480,000~540,000円		
教材費		約200,000ウォン	約24,000円		
その他		約3,000,000ウォン	約360,000円		
合計		約11,700,000~12,700,000ウォン	約1,404,000~1,524,000円		
備考					

韓国	大学名	誠信(ソンシン)女子大学 Sungshin University			
	URL	https://www.sungshin.ac.kr/			
	大学設立年	1963年	協定締結年		2017年
	所在地	スジョンキャンパス: 2, Bomun-ro 34 da-gil, Seongbuk-gu, Seoul 02844, Korea ウンジョンキャンパス: 55, Dobong-ro 76 ga-gil, Gangbuk-gu, Seoul 01133, Korea			
	大学紹介	「誠信(誠実さと信頼)」「知新(新しい知識を広く深く)」「自動(自ら動き、自らの力で)」を教育理念に、社会をリードする女性人材の育成を目指す私立総合女子大学。ソウル市北東部に位置するスジョンキャンパスとウンジョンキャンパスに合わせて約9,900名の学生が在籍する。「女性」をキーワードにした授業やメイクやファッション等に関する授業を開設しているのも特徴の一つ。			
	派遣期間	春学期: 2025年2月~2025年6月 秋学期: 2025年8月~2025年12月			
	成績条件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	「ハングル」能力検定試験3級程度または韓国語能力試験(TOPIK) 3級程度			
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除※、本学へ納入(P.80参照)		—
		寮費	約3,500,000~4,000,000ウォン		約420,000~480,000円
食費		約4,000,000~4,500,000ウォン	約480,000~540,000円		
教材費		約200,000ウォン	約24,000円		
その他		約3,000,000ウォン	約360,000円		
合計		約10,700,000~11,700,000ウォン	約1,284,000~1,404,000円		
備考	※学部授業に加え大学付属の語学学校の授業を受ける場合も自己負担なし。				

韓国	大学名	大邱(テグ)カトリック大学			
	URL	https://www.cu.ac.kr/			
	大学設立年	1914年	協定締結年		2003年
	所在地	ヒョンソンキャンパス: Hayang-ro 13-13, Hayang-eup, Gyeongsan-si, Gyeongbuk 38430, Korea			
大学紹介	韓国のカトリック系大学の中で最大の規模を誇る私立総合大学。学部在籍者数は約15,000名。理系の3学部は大邱市内のキャンパスに、その他11学部は慶尚北道慶山市にあるヒョンソンキャンパスに属している。大邱市内から電車やバスで1時間ほどの距離にあるヒョンソンキャンパスには日語日文(日本語・日本文学)科もあり、日本語を学ぶ韓国人学生も多い。				
派遣期間	春学期: 2025年2月~2025年6月 秋学期: 2025年8月~2025年12月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	「ハングル」能力検定試験3級程度または韓国語能力試験(TOPIK)3級程度				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入(P.80参照)		—	
	寮費	約2,000,000ウォン		約240,000円	
	食費	約3,600,000ウォン		約432,000円	
	教材費	約200,000ウォン		約24,000円	
	その他	約3,000,000ウォン		約360,000円	
	合計	約8,800,000ウォン		約1,056,000円	
備考					

》 認定留学の資格・条件

認定留学については申請時に、次の1. から5. の条件を満たしている必要があります。

また、認定留学は留学開始時に本学に2学期以上在学（編入学生は1学期以上在学）している必要があります（ドイツ語、英語、フランス語学科は3学期以上）。

※大学院生の場合は資格・条件が異なるため、大学院事務室にお問い合わせください。

1. 修得単位数

申請時に次に掲げる各学科所定の単位を修得している必要があります。

2023年度以前入学者

学部	外国語				国際教養	経済			法		
	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
1学期	(単位取得要件なし)										
2学期	(単位取得要件なし)										
3学期	32単位以上	32単位以上	32単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」12単位を含む）	32単位以上	32単位以上（外国語科目12単位を含む）	32単位以上（英語科目6単位を含む）			32単位以上		
4学期	48単位以上	48単位以上	48単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」18単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国語科目18単位を含む）	48単位以上（英語科目8単位を含む）			48単位以上		
5学期	64単位以上	64単位以上	64単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国語科目24単位、演習2単位を含む）	64単位以上（英語科目10単位を含む）			64単位以上		
6学期	80単位以上	80単位以上	80単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」2単位、「演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	80単位以上（英語科目10単位を含む）			80単位以上		
7学期	96単位以上	96単位以上	96単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	96単位以上（必修科目を全て修得していること）			96単位以上		
8学期	112単位以上	112単位以上	112単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上（必修科目を全て修得していること）			112単位以上		

学部	外国語				国際教養	経済			法		
学科	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
1学期											
2学期											
3学期	32単位以上	32単位以上	32単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」10単位、基礎演習部門より4単位を含む）	32単位以上	16単位以上（外国語科目6単位を含む）	32単位以上（外国語科目12単位を含む）	16単位以上（英語科目3単位を含む）	32単位以上（英語科目6単位を含む）	16単位以上		
4学期	48単位以上	48単位以上	48単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」15単位、基礎演習部門より6単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国語科目18単位を含む）	48単位以上（外国語科目18単位を含む）	48単位以上（英語科目8単位を含む）	48単位以上			
5学期	64単位以上	64単位以上	64単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、基礎演習部門より8単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国語科目24単位、演習2単位を含む）	64単位以上（外国語科目24単位、演習2単位を含む）	64単位以上（英語科目10単位を含む）	64単位以上			
6学期	80単位以上	80単位以上	80単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ」2単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	80単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	80単位以上（英語科目10単位を含む）	80単位以上			
7学期	96単位以上	96単位以上	96単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ・Ⅱ」4単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	96単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	96単位以上（必修科目を全て修得していること）	96単位以上			
8学期	112単位以上	112単位以上	112単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ・Ⅱ」4単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上（必修科目を全て修得していること）	112単位以上			

留学制度
長期留学(認定留学)

2. 評定平均値 (GPA)

申請までの獨協大学における修得科目の評定平均値 (GPA) が**2.30以上**であること (小数点以下第3位を四捨五入*)。

GPAの計算は次の方法で行います。自分の正確なGPAを把握するため、学期末に通知される成績通知表は必ず全部保管しておきましょう (成績証明書にはFと×の科目は記載されないの、注意してください。×は2023年度まで使用されていたものです)。

教職・司書・司書教諭課程科目ならびに各学科の学則別表のうち、卒業に必要な単位に算入できないと定められている科目は計算から除きます。

※2018年度以前入学者は小数点以下第2位を四捨五入。

$$GPA = \frac{(AAの単位数 \times 4 + Aの単位数 \times 3 + Bの単位数 \times 2 + Cの単位数 \times 1)}{\text{総登録単位数 (累計)}}$$

…「総登録単位数」は、Fと×の科目を含むが、Pの科目は除く。

※留学を希望する大学への出願に必要なGPA要件は、各留学先HP等で確認してください。

3. 語学力

下表は、認定留学の申請時に必要な語学力の条件です。申請日より遡って2年以内に取得した語学力の証明書コピー*を提出してください。

下表の学内条件を満たしていても、留学先が個々に定める条件を満たしていないと入学許可が下りないので、詳細は各大学（機関）にお問い合わせください。

※留学先での教授言語が認定留学申請者の母語である場合は、語学力の証明書提出の代わりに、その母語を主な教授言語とした中等教育機関（高等学校等）の卒業証明書（または卒業証書の写し）等を提出することで、下表の学内語学力条件を充足しているとみなすことができます。該当する方は事前に国際交流センターまでお問合せください。

教授言語	語 学 力 の 条 件
ドイツ語	留学先が指定する語学力を有していること（Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上）
英語	TOEFL iBT® 61以上、TOEFL ITP® 500以上（本学実施の団体受験のみ）、IELTS 5.5以上または実用英語技能検定準1級以上 注：国際教養学部生が申請時にIELTSスコアを提出する際は、5.0以上を目安とする。
フランス語	実用フランス語技能検定準2級以上、DELF A2以上またはTCF（TCF SOを含む）300点以上
スペイン語	DELE A2以上またはスペイン語技能検定4級以上
中国語	中国語検定3級以上またはHSK 3級以上
韓国語	「ハングル」能力検定4級以上または韓国語能力試験（TOPIK）2級以上

4. 留学先の条件

①言語圏および教授言語

所属する学部学科の授業科目と関連のあるコース、学科への留学であり、所属学部学科が定める以下の条件を満たしていることが必要となります。

学部	外 国 語				国際教養	経 済			法		
	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化		言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法
言語圏	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし			制限なし		
教授言語	ドイツ語または英語 ※上記3の表を参照	英語	フランス語 または英語 ※上記3の表を参照	制限なし	英語 スペイン語 中国語 韓国語 等	制限なし			制限なし		
留学期間	1学期間または2学期間										

②認定留学における教育機関

学位（学士、修士、博士号等）の授与権を有する大学か、それと同等の高等教育機関であること。大学の場合は、原則として専門課程への入学許可を得ていること。また、教授言語をドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語とする場合のみ、下表の条件を満たしている機関でも認められます。

なお、P.70の「これまでの認定留学先大学一覧」に記載のない大学（機関）への認定留学を希望する場合は、留学先大学（機関）への**出願手続き開始前**に同大学（機関）の資料（パンフレット、コースカタログ、大学や開設科目、自身の履修計画に関する詳しい資料等）を国際交流センターに提出し、認定留学先として認められるかを必ず相談しましょう（認定留学が認められない場合もあります）。

教授言語	大学（またはそれと同等の高等教育機関）以外の場合の条件
ドイツ語	大学の留学生用語学コースまたは大学付属の語学学校
フランス語	大学付属の語学学校（単に大学と提携しているだけの場合は不可）
スペイン語	大学付属の外国人コース（この場合認定できる単位は、原則としてスペイン語およびコースの中に含まれている文化論、歴史などに限られる）。ただし、事前にコースの内容を検討した上で、判断する。 〈例〉スペインの場合：サラマンカ大学付属語学学校および国立大学の付属語学学校 メキシコの場合：メキシコ国立自治大学外国人コース（UNAM CEPE）
中国語	外国人向け高等教育施設（機関）
韓国語	大学付属の語学学校（単に大学と提携しているだけの場合は不可）

5. 認定留学の期間

認定留学は原則として1学期間または2学期間です。留学期間は本学の学期に合わせて取り扱われます。したがって、留学開始日と留学終了日を以下の要領で設定し、この期間を目安に留学を完結させてください。

- 1学期間の留学：春学期または秋学期の1学期間（留学先での学修期間は3ヶ月以上）
 - 2学期間の留学：春学期～秋学期、または秋学期～翌年春学期の2学期間（留学先での学修期間は6ヶ月以上）
- ※留学先大学・機関の学事日程と本学の学事日程にずれがある場合、希望する学期からの認定留学の申請ができない場合もあるので注意してください。（例：留学先の学期開始が1月あるいは6・7月などの場合は、本学の秋あるいは春学期日程と重なるため、認定留学の申請はできません。）
- ※所定の手続きを経て、最長4学期間まで延長することができます（詳細はP.72参照）。
- ※留学先大学の学期終了後（期末試験終了後）は速やかに（遅くとも1ヶ月以内に）帰国してください。



認定留学申請までの流れ

■ 資料請求

留学先大学を決めるには、自分の留学目的に合う大学をHP等で調べ、候補を絞りましょう。また、HPで資料や願書請求用のフォームがあれば、これを利用しましょう。近年は、HP上のオンライン申請が一般的です。

■ 志望大学への出願

出願の際は、HPや送られてきた資料などをよく読んで、書類の不備や不足がないようにしましょう。出願資格、出願締切日もよく確かめてください。オンライン出願が一般的ですが、出願書類の原本提出が必要な場合は、提出物のコピーを取っておくほか、郵便局のEMS（国際スピード郵便）などの配達記録が残るものを利用しましょう。

留学先大学から受入れ許可の通知が届いたら、その大学の指示に従い入学手続きをします。

留学ビザが必要な場合は、該当国の大使館のHPで申請方法を確認し、余裕をもって手続きを行いましょ。特に留学生の出発が多い時期は込み合いますので、注意が必要です。

なお、複数の大学から許可が届いた場合は、留学しない大学には必ずその旨を連絡して下さい。今後留学する獨協生や他の日本からの留学生のためにもマナーを守りましょう。

■ 認定留学の申請

留学先から入学許可がもらえたら、獨協大学に認定留学の申請をします。申請期限までに申請をしないと、留学期間は在学期間と認められません。



認定留学の申請

認定留学生の身分で留学するには、国際交流センターに申請する時点で、本学が定めた要件をクリアしていなければなりません（要件を満たしていない場合は休学扱いとなります）。「認定留学の資格・条件」を熟読し、自分が要件を満たしているかを確認した上で、以下に記載の提出書類①～⑤を揃えて国際交流センターに提出してください。

なお留学先で健康保険加入が義務づけられている場合は、その保険の詳細（補償内容、保険料等）がわかる資料を提出してください。

提出書類

所定様式はPorTaⅡダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 認定留学申請書類からダウンロードしてください。

- ①長期留学志願書（所定様式）
- ②誓約書（所定様式。本人および保証人の署名・捺印が必要）
- ③成績通知表（最新のもの、コピー可、A4サイズにコピーすること。PorTaⅡからダウンロード可）
- ④必要とされる語学力証明書コピー（有効期限内のものに限る）
- ⑤留学先大学等（P.67「4. 留学先の条件」の②参照）が発行した入学許可証明書コピー

■ 認定留学の申請期限

秋学期から留学する場合…… 6月末日

春学期から留学する場合…… 1月末日

※上記の申請期限は、あくまでも認定留学生としての身分を得るための学内申請期限であり、それ以外の留学手続きにかかる期間は考慮していません。渡航のためのビザ取得等には時間を要することから、早めに国際交流センターに相談し、時間に余裕をもって希望する留学先に出願してください（特にスペインの場合は学生ビザの取得に2ヶ月ほどかかるため、留学開始5ヶ月前の出願が目安）。

※やむを得ず期限までに申請できない可能性がある場合は、必ず事前に国際交流センターまでご相談ください。

※本学「海外危機対応マニュアル」に基づき、派遣が認められない場合があります（P.12およびP.114参照）。

■ 休学から認定留学への切り替え申請

認定留学については出発前の申請が原則ですが、例えば休学して海外で語学研修中の方が、認定留学申請に必要な要件を満たせば、学期単位で認定留学に切り替えることができます場合があります。ただし、出発前に国際交流センターおよび教務課でその旨を相談し、指導を受けていること、「危機管理セミナー」に出席していることが条件となります。

認定留学への切り替えには、前述の認定留学申請手続きが必要なほか、国際交流委員会による承認後、速やかに復学手続きを行う必要があります。復学手続きについては、大学HPまたは教務課学事係で確認してください。また、「危機管理セミナー」で案内している本学指定の海外旅行保険への加入も必須となります。

認定留学先の選び方

1. 認定留学は、自分で留学先となる高等教育機関等を選択するので、対象となる機関は世界中にたくさん存在します。その中から自身に最適の留学先を見つけるためには、まず留学の目的や勉強したい分野をはっきりさせましょう。
2. 次に、留学したい国・地域を定め、どのような機関で、どんな授業が開講されているかを調べましょう。機関選択の際には、条件（立地、治安、出願条件、学費、奨学金、留学生サポート等）を書き出した一覧表を作り、比較検討してみてください。また、留学に関する情報収集には、日本にある各国大使館のHPや、日本学生支援機構の海外留学支援サイト等を活用するとよいでしょう。
3. 留学先がある程度絞れたら、出願方法を確認し、出願書類を準備します。機関により出願締切が異なるので、注意してください。また、学内の認定留学申請期限（秋学期：6月末日、春学期：1月末日）に間に合うよう、余裕を持って出願手続きを進めてください。
4. 無事に入学許可を取得したら、国際交流センターで認定留学申請手続きをしてください。

なお、留学エージェントを通して出願することも可能です。獨協大学では、学部留学をサポートする日本スタディ・アブロード・ファンデーション（JSAF）および海外留学推進協会（SAA）とパートナーシップを結んでいます。JSAFおよびSAAは学内で定期的に留学説明会を実施していますので、関心のある方は参加してみてください。日程はPorTa II 掲示板 [留学支援・国際交流] でお知らせします。

ただし、JSAFやSAAの留学プログラムは、本学の認定留学とは直接的な関係はありません。留学エージェントを利用した留学プログラムが必ずしも本学の認定留学として認められるとは限りませんので、注意してください。

英国	48	オーストラリア	22	メキシコ	5
イーストアングリア大学	1	ウーロンゴン大学	6	グアダラハラ大学	2
ウェールズ大学	1	オーストラリア国立大学	1	メキシコ国立自治大学	3
エクセター大学	1	オーストラリアカトリック大学	1		
エセックス大学	9	グリフィス大学	6	ブラジル	1
エセックス大学大学院	1	サザンクロス大学	5	ミナスジェライス・カトリック大学	1
エディンバラ大学	2	スウィンバーン工科大学	1		
オックスフォード・ブルックス大学	2	ディーキン大学	1	チリ	1
キール大学	1	ラ・トローブ大学	1	チリ大学	1
グラスゴー大学	1				
グラスゴー・カレドニアン大学	1	ニュージーランド	2		
サリーローハンプトン大学	1	オークランド大学	1		
サンダーランド大学	1	カンタベリー大学	1		
シェフィールド大学	2			中国	59
テムズバレー大学	1	マレーシア	1	廈門大学	1
ノッティンガム大学	1	リンカーン・		華東師範大学	5
バーススパ大学	2	ユニバーシティ・カレッジ*1	1	山西大学	1
バースユニバーシティカレッジ	1			四川大学	1
マンチェスター大学	2	フランス	202	西安交通大学	3
ランカスター大学	1	アヴィニオン大学	2	清華大学	1
リーズ大学	6	エクス・マルセイユ大学	10	浙江大學	3
レスター大学	1	オルレアン大学	1	對外經濟貿易大學	3
レスター大学大学院	1	カン大学	5	中央民族大学	3
レディング大学大学院	2	グルノーブル第3大学	4	天津理工大学	1
ローハンプトン大学	1	サヴォワ大学	14	東華大学	1
ロンドン大学	1	ストラスブルグ大学	12	復旦大学	7
ロンドン大学クイーンメアリー校	2	ソルボンヌ大学	11	北京大學	10
ロンドン・メトロポリタン大学	2	トゥール大学	2	北京外国語大学	4
		ナント大学	3	北京語言大学	3
		ニース大学	3	北京師範大学	7
アイルランド	1	パリ・カトリック学院	6	香港中文大學*1	2
メイヌース大学	1	パリ-デカルト大学	1	遼寧師範大学	3
		フランシュ・コンテ大学	11		
チェコ	1	ブルゴーニュ大学	20	台湾	8
マサリック大学*1	1	プロヴァンス大学	3	国立中山大學*1	1
		ペルピニャン大学	3	国立台湾大學*1	1
エストニア	3	ボルドー第3大学	1	東吳大学	6
タリン工科大学*1	3	モンペリエ第3大学	10		
		ラ・ロシェル大学	1	韓国	12
リトアニア	3	ランス大学	2	慶熙(キョンヒ)大学	1
ヴィリニウス大学*1	1	リュミエール・リヨン第2大学	5	高麗(コリョ)大学	1
ミコラス・ロメリス大学*1	2	リヨンカトリック大学	35	建国(コングク)大学	1
		リール第3大学	4	淑明(スンミョン)女子大学	1
フィンランド	2	レンヌ第2大学	3	西江(ソガン)大学	2
ヘルシンキ大学*1	2	西部カトリック大学	30	延世(ヨンセ)大学	6
		スペイン	11		
イタリア	2	アリカンテ大学	3		
ミラノカトリック・		アルカラ大学	3		
サクロクオーレ大学*1	2	バルセロナ大学	5		

*1 教授言語：英語

*2 教授言語：フランス語



留学期間の延長

長期留学生（交換・認定）は、獨協大学が許可した留学期間を含め最長4学期間まで延長することが可能です。留学の延長を希望する場合は、以下に示すとおり所定の手続きが必要です。なお、編入学生の留学期間は最長2学期間であるため、1学期間の認定留学生がさらに1学期間の留学を希望する場合に限り延長申請ができます。

留学期間を延長した場合でも、本学の単位として認定できる単位数の上限（32単位）は変わりません。

【交換留学生】

交換留学の期間を問わず、留学延長後の身分は認定留学生となります。身分が変更となるため、改めて長期留学志願書を提出してください。

【認定留学生】

留学中の大学等を変更せずに留学期間の延長を希望する場合は、長期留学延長願を提出してください。なお、留学先を変えて留学期間の延長を希望する場合は、改めて長期留学志願書を提出してください。

提出書類

- ①長期留学延長願または長期留学志願書・誓約書（いずれも所定様式）
- ②留学先大学等が発行した延長（入学）許可証明書
- ③成績通知表（最新のもの、コピー可、A4サイズにコピーすること。PorTaⅡからダウンロード可）
- ④留学延長を希望する大学等の資料（新たに留学を希望する大学が「これまでの認定留学先大学一覧」（P.70）に記載されていない場合のみ。本学における当初の留学期間終了予定日の4ヶ月前までに資料を国際交流センターに提出すること）

長期留学延長願および長期留学志望書には演習指導教員（またはクラス担任）の署名と所見、誓約書には保証人の署名・捺印が必要です。海外からの書類の準備・提出には時間がかかるので、余裕を持って申請手続きを進めてください。

■留学期間延長の申請期限

当初の留学期間が春学期に終了予定（～9月23日）の場合…… **6月23日**

当初の留学期間が秋学期に終了予定（～3月31日）の場合… **12月20日**



奨学金

■留学生対象奨学金（国際交流センター）

1. 「獨協大学国際奨学金」（給付奨学金）

- 交換留学する学部生には、留学期間に応じて「獨協大学国際奨学金（交換留学生）」として月額2万円×6ヶ月×1回（半年）または2回（1年間）（6月・11月に支給）が獨協大学より支給されます。なお、大学院生の場合は、2.2万円×6ヶ月×2回（1年間）が支給されます。
- 認定留学生は、一定の条件を満たしている場合、「獨協大学国際奨学金（認定留学生）」に応募することができます。選考を経て採用された場合は、留学期間に応じて月額2万円×6ヶ月×1回（半年）または2回（1年間）（6月・11月に支給）が獨協大学より支給されます。
- 「獨協大学国際奨学金」と文部科学省による修学支援新制度（給付奨学金）の併給は可能です。
- 「獨協大学国際奨学金」は、交換留学生・認定留学生ともに特に考慮すべき点がある場合に限り、月額4万円を給付する場合があります。

2. 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）

「海外留学支援制度（協定派遣）奨学金」（給付奨学金）

【対象：交換留学生】

JASSOによる海外留学支援制度（協定派遣）は、協定大学等に派遣される学生に対して、留学に係る費用の一部を奨学金として支援することにより、グローバル社会において活躍できる人材を育成するとともに、我が国の高等教育機関の国際化・国際競争力強化に資することを目的として支給される奨学金制度です。採用者は、派遣先大学において一定の単位の修得（一部の国では修了証）が求められます。JASSOから本学に対して支給枠の割当があった場合、国際交流センターから対象者に通知します。対象者のうち、定められた期日までに必要書類を提出した者の中から、学内選考およびJASSOによる最終承認を経て、支給の採用者が決定します。採用者には派遣留学期間中、本学を通じて月額6～10万円（派遣先の地域によって支給額が異なる）が支給されるほか、「渡航支援金」として、JASSOが定める家計基準を満たす者へは16万円、一定の派遣期間を満たす者へは13万円が支給されます。

主な申請要件は次の通りです。

●成績評価係数

成績評価係数（GPA）2.30以上（3点満点。奨学金採用者選考時の前年度の成績）。本学の成績通知表に記載のGPAとは計算式が異なります。

$$\text{成績評価係数} = \frac{(\text{AA} \cdot \text{Aの単位数} \times 3) + (\text{Bの単位数} \times 2) + (\text{Cの単位数} \times 1) + (\text{F} \cdot \times \text{の単位数} \times 0)}{\text{総登録単位数}^*}$$

※総登録単位で算出するため、F・×が多いと成績評価係数は低くなります。十分に注意してください。

●家計基準

JASSOの定める基準（JASSOが実施する第二種奨学金在学採用の家計基準参照）を満たしていること。

※海外留学支援制度（協定派遣）奨学金は、本学に対して毎年支給枠の割当があるとは限らないため、募集がない場合もあります。なお、「獨協大学国際奨学金（交換留学生）」との併給はできません。

●修学支援新制度を利用している方へ

海外留学支援制度(協定派遣)奨学金と修学支援新制度(給付奨学金)は同時に受給できません。詳細は「**■現在奨学金を利用中の方への注意（学生課）**」（P.75）をご確認のうえ、学生課に相談してください。

3. 「トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム」奨学金（給付奨学金）

文部科学省と支援企業による官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム」は、大学からの派遣留学生だけでなく、休学して海外で学修する学生も応募可能です。採用された場合、月額奨学金（JASSO第二種奨学金の家計基準を超える場合は基準金額が異なる）のほか、留学準備金、授業料（学位を取得可能な大学・大学院等で専門分野を学ぶ場合のみ）が支給される予定です。なお、この奨学金とJASSOの「海外留学支援制度（協定派遣、学部学位取得型、大学院学位取得型）」奨学金または獨協大学国際奨学金との併給はできません。詳細は、募集要項公開時にPorTaⅡ掲示板「留学支援・国際交流」でお知らせします。

4. 海外留学奨学金（大学推薦）

大学推薦を必要とする海外留学向けの各奨学金財団による奨学金募集は、随時PorTaⅡ 掲示板〔留学支援・国際交流〕または出願要件を満たす対象者に個別に案内します。なお、大学推薦による奨学金に合格した場合、JASSO海外留学支援制度（協定派遣）および獨協大学国際奨学金との併給はできません。

過去出願実績（参考）

奨学金名	支給内容	学内募集時期
（公財）飯塚教育英会 海外留学奨学生	学部生 年額60万円	6月頃
（公財）イノアック国際教育振興財団奨学金タイプB	月額 10万円	10月頃
（公財）業務スーパージャパンドリーム財団奨学生	月額 15万円または20万円 留学一時金 15万円または20万円	12月頃・6月頃（年2回）

5. 海外留学奨学金（個人応募）

各奨学金団体が募集している奨学金の一部を紹介します（日本学生支援機構（JASSO）が発行している「海外留学奨学金パンフレット2023-2024」等より、大学在籍者に給付する奨学金を抜粋）。このほかにも外国政府、自治体、民間団体等が募集する奨学金も多数あります。応募を希望する場合は必ず各団体に直接問い合わせ、最新の募集要項等を入手してください。留学開始時期の1年以上前に応募を締め切るものが多いので、早いうちから情報の収集に努めましょう。



海外留学情報サイト <https://ryugaku.jasso.go.jp/>

実施機関	奨学金名	支給内容
外国政府等	ドイツ学術交流会（DAAD） 夏期ドイツ語講座参加奨学金（HSK）	奨学金1,134ユーロ、旅費補助、健康・傷害・個人賠償責任保険料
	オーストリア政府給費留学生	月額1,150ユーロ、旅費1,500ユーロを上限に実費支給、授業料免除
	フランス政府奨学金留学生（文系）	滞在費月額860ユーロ、往復航空券支給、社会保険料等
	メキシコ政府奨学金アカデミックプログラム留学生 https://www.gob.mx/amexcid/acciones-y-programas/becas-para-extranjeros-29785	入学金・授業料、生活費月額10,274.00ペソ相当、往復航空券支給等
	日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画 埼玉県日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画	滞在費月額14,191.65ペソ、医療保険、往復航空券、入学金・授業料免除
	中国政府奨学金（普通進修生、高級進修生）	学費免除、寮費免除、生活費月額（普通進修生：月額3,000元、高級進修生：月額3,500元）、総合医療保険料免除
	教育省華語文奨学金（台湾への語学留学）	月額25,000元
地方自治体	埼玉県・オハイオ州スカラシップ（集中英語・学部・大学院留学コース）	派遣期間中の授業料免除
	埼玉県・クィーンズランド州スカラシップ（大学付属英語学校派遣）	授業料免除
	埼玉県・山西大学への奨学生派遣事業〔中国〕（1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月・1年コース）	派遣期間中の授業料と寮費の免除
	「埼玉発世界行き」奨学金 一般奨学金地域活躍コース・冠奨学金	地域活躍コース20万円 ※冠奨学金は種類ごとに異なる（50万～120万円）
	戸田市海外留学奨学制度	授業料、生活費、渡航費用 最大150万円
民間団体	（一財）霞山会 留学奨学金（中国・台湾）	月額13万円
	（一財）BCJ国際奨学財団 BCJ奨学金	月額10万円程度以上
	（公財）松下幸之助記念志財団 松下幸之助国際スカラシップ	月額20万円、往復渡航費補助
	（公財）村田海外留学奨学会 海外留学奨学金	学費、生活費、往復旅費
	（公財）ロータリー財団 ロータリー財団奨学生 第2770地区（他地区でも募集あり）	上限40,000米ドル相当

※獨協大学PorTaⅡ 掲示板〔留学支援・国際交流〕にも随時奨学金情報を掲載しています。
※新型コロナウイルス感染症の影響等により、募集を中断、中止している場合があります。

■ 現在奨学金を利用中の方への注意（学生課）

1. 修学支援新制度の扱い

海外留学支援制度(協定派遣)奨学金と修学支援新制度（給付奨学金）とは併給できません。両方の支給金額を確認のうえ、どちらを受給するかを選択してください。修学支援新制度を停止するためには書類提出が必要なため、協定派遣奨学金受給開始月の1ヶ月以上前に、学生課に相談してください。

また、修学支援新制度（授業料減免）は本学に授業料を納める場合しか適用されません。

2. JASSO奨学金（修学支援新制度、貸与第一種、貸与第二種）

JASSO奨学金は、交換留学・認定留学を含む在籍期間が4年間で支援終了となります。4年生で留学を開始する場合は、留学終了後の学納金や履修計画にもご注意ください。

なお、貸与奨学金利用中の方は2024年度から「留学時特別増額貸与奨学金」が申請可能になる予定です。

3. 獨協大学学部奨学金の扱い

獨協大学学部奨学金は、留学・休学の方は受給できません。春学期に学部奨学金に採用された方が秋学期から留学する場合、秋学期分の奨学金は受け取れません。

春学期に留学していた方が秋学期から在学する（本学で講義を受ける）場合、秋学期半年分の学部奨学金を申請できます。詳細は9月に案内します。

4. 民間・自治体等奨学金の扱い

本学から推薦する民間・自治体等の奨学金を受けている場合は、事前に学生課奨学係へご相談ください。個人で直接応募した奨学金を受けている場合は、自分で支給団体に相談してください。



留学前に行うこと

長期留学生は、「留学は学生本人の自発的選択と責任において行われるべきものである」ということをしっかり理解してください。主体的に自己管理を行うとともに、渡航準備から帰国までを含む留学中の一切の行動を、学生自身の責任において進めることが求められます。本留学ガイドを熟読し、事前に十分に理解した上で、必要な手続きや行動を進めてください。

留学に関する情報は、何もせずに待っていて得られるものではありません。受身の態度からは何も始まりません。自ら留学先大学（機関）のHPや国際交流センター窓口で情報収集を図るとともに、不明点は留学先の担当者に直接確認するよう心掛けてください。

1. 留学前ガイダンス

教務課で、留学内定者を対象に留学後の単位認定手続き等に関するガイダンスを行います。対象者は教務課各学部係と日程調整の上、必ずガイダンスを受けてください。

また、教職課程や司書課程履修者は、上記のガイダンスに加え、各課程の科目履修方法や実習等の手続きについて説明を受けてください。

2. 語学力の向上

留学先の語学条件を満たすことがゴールではありません。留学決定後も語学力の向上に努めましょう。特に学部留学では、「外国語を学ぶ」ことではなく、「自身の専門を学ぶ」ことが求められます。現地の学生とともに講義を受け、ディスカッションやグループワークに参加することに加え、予復習や宿題として日々大量の教科書や資料を読みこなし、課題のレポートも作成しなければなりません。そのため、日常会話能力に加え、自分の学問分野に関する専門的な語学力が要求されます。留学先大学によっては、入学条件の語学要件のほかに、分野や科目ごとに必要な語学要件を定めている場合も少なくありません。

多くの学生は、留学先大学が求める所定の語学検定試験を受験し、その試験結果（スコアレポート）を確認していることと思います。自身の足りないスキルを留学までに確実に伸ばすことが、留学先でのさらなる成長につながります。本学では、留学前の語学力向上をサポートするための「研修費補助制度」（交換留学生のみ）や、授業以外に「毎日レッスン！実践英会話」（有料）を開講するなど、学ぶ意欲のある学生を支援する仕組みを提供しているので、積極的に活用しましょう。

【研修費補助（交換留学生のみ）】

交換留学生を対象に、留学準備のための研修費用を補助します。この「研修費補助」は、外国語教育団体や語学学校の授業料、テキスト代を、申請者から提出された領収書に基づき、支払った実費について10万円を上限として支給します。

研修費補助は、留学を自己都合により取り止めた場合、または学習態度および行動が交換留学生として相応しくないと判断された場合、その状況に応じて全額または一部を返還していただきます。

【「毎日レッスン！実践英会話」について（エクステンションセンター）】

授業の合間に毎日40分英会話が学べる「毎日レッスン！実践英会話」を開講しています。この講座では、英語指導法の資格を持ち、教授経験豊富なネイティブ講師が、少人数（最大12名）のレベル別クラスでレッスンを行います。受講は月曜から金曜の毎日、年間100回。さらに希望者には追加料金なしで参加できるフリートークタイムを用意しています。海外のことやレッスンで分からなかったことなど何でも気軽に話をすることができます。

なお、英語圏への交換留学生は、上記の研修費補助制度を利用して受講することもできます。

開講時期：春期 5月上旬～7月中旬 秋期 9月下旬～12月中旬

受講料：125,000円（1回40分、計100回。テキスト代込）

初めてオープンカレッジ講座を申し込む方は別途登録料2,000円が必要です。

問い合わせ先：エクステンションセンター

詳しくは、PorTaⅡ掲示板 [図書館・学修支援・語学学習] にてご確認ください。

3. 留学中の学習計画立案

留学開始前に、留学先大学で具体的にどのような分野（科目）を履修するか決める必要があります。留学先大学では、本学が提供している分野のみならず、その大学ならではの科目や分野も多く提供されています。自分の専門分野や興味ある分野を軸にしつつ、新たな知見を獲得するため、さまざまなことに積極的に挑戦してください。ただし、科目や分野によっては単位認定の対象とならないものもあるので、事前に教務課や指導教員との確認が必要です。

留学先大学では、十分な予備知識を持って授業に臨むことが求められます。また、出願時に提出する成績証明書（Academic Transcriptなど）に記載されている過去の学修履歴を判断し、履修の可否が決められる場合もあります。自身の学びたい分野をより深く探求するために、留学前に関連する分野や科目について自己学習を進めておきましょう。

4. 事前研修（交換留学生は参加必須）

学術交流協定を結んでいる大学へ本学学生を派遣する交換留学は「しなやかに逞しく世界と交流できる教養人」を育成することを目的としています。原則として全ての交換留学生は、派遣前に行われる事前研修と留学終了後の事後研修の参加を必須とします。認定留学生の参加も推奨します。

事前研修内容等（予定）

※各回の対象者には事前に案内します。

日時・内容・対象		秋学期留学開始者 (出発時期 8月～10月)	春学期留学開始者 (出発時期 2月～4月)
第1回	プログラム目的の共有、 留学研究課題の明確化	2024年5月25日（土） 13:35～16:35	2024年10月26日（土） 13:35～16:35
第2回	留学計画のブラッシュアップ	2024年6月29日（土） 13:35～16:05	2024年12月7日（土） 13:35～16:05

〔参考 事後研修内容等（予定）〕

日時・内容・対象		春学期留学終了者 (帰国時期 5月～7月)	秋学期留学終了者 (帰国時期 11月～3月)
第1回	留学の振り返り	2024年7月27日（土） 13:35～16:35	2025年2月22日（土） 13:35～16:35
第2回	留学後の学修計画のブラッシュアップ	2024年8月3日（土） 13:35～15:35	2025年3月1日（土） 13:35～15:35

5. 危機管理セミナー（短期・長期留学生は参加必須）

本学の留学制度を利用して短期・長期留学する学生は、「危機管理セミナー」への参加を義務づけています。このセミナーでは留学前の情報収集や海外で注意すべき点、トラブル発生時の対処方法等について説明し、留学生自身の危機管理意識を高めることを目的としています。また、本学指定の海外旅行保険についても案内します。日程等の詳細はPorTaⅡ掲示板 [留学支援・国際交流]、[あなたへのお知らせ] にてお知らせします。授業時間と重なるため、以下の日程に参加できない場合は、事前に国際交流センターに申し出てください。

実施予定

夏季： 2024年 7月3日（水）または 7月5日（金）

春季： 2025年 1月8日（水）または 1月10日（金）



渡航手続き

1. パスポート（旅券）の取得

下表の書類を用意し、都道府県のパスポート申請窓口申請してください。旅券には10年有効と5年有効の2種類があります。民法および旅券法の改正により、2022年4月1日より18歳以上の方は、有効期間が10年のパスポートを申請することが可能になりました。申請から受領までに通常1週間程度（土・日・祝日・振替休日・年末年始を除く）かかります。手数料11,000円（5年間有効）／16,000円（10年間有効）はパスポート受取時に納めます。代理人申請や現住所と住民登録の住所が異なる場合は、各都道府県のパスポート申請窓口にお問い合わせください。申請種類によってはオンライン申請も可能ですが、代理人が申請した場合も含め、パスポートは本人でなければ受け取ることができません。

【必要書類】

一般旅券発給申請書	外務省ホームページからダウンロード、または都道府県のパスポート申請窓口のほか市区町村役所で配布。全国共通書式。2023年3月改正のもの。（古い様式のもの不可）
戸籍謄本	<ul style="list-style-type: none"> 6ヶ月以内に発行されたもの 有効なパスポートを所有し、氏名・本籍（都道府県名）に変更がない場合は省略可 戸籍事務がコンピューター化された市区町村では戸籍謄本に代わって「戸籍の個人事項証明書」や「戸籍の全部事項証明書」が発行される。
住民票の写し	<ul style="list-style-type: none"> 6ヶ月以内に発行されたもの 必要となるのは次の場合 （ア）住民基本台帳ネットワークシステムの利用を希望しない （イ）住民登録をしていない都道府県で申請する（詳細はパスポート申請窓口で確認）
写真	4.5cm×3.5cm正面無帽・無背景。6ヶ月以内に撮影されたもの
本人確認の書類	マイナンバーカード（個人番号カード）、運転免許証、または健康保険証と学生証。コピー不可
発給済みの旅券（該当者のみ）	有効なパスポートまたは期限切れのパスポート

2. 学生ビザ（査証）の取得

ビザ取得の要件・手続きは国・地域によって異なります。また変更となることも多いので、各自で最新情報を大使館等に確認してください。

【主な必要書類】

パスポート（旅券）	残存有効期間に注意
写真	サイズ・必要枚数については大使館等に確認
入学許可書	留学先大学等が発行したもの
財政証明書	金融機関による証明（ただし、国・地域により免除される場合がある）
学生査証申請書（所定用紙）	大使館または大使館HPで入手可能
その他	国・地域により必要な書類が異なるので、大使館または大使館HPで確認

3. 渡航先の入国・行動制限措置等の確認と準備

コロナ下においては、国・地域や時期により入国（入境）者に対し、新型コロナウイルス陰性証明やワクチン接種証明の提示、到着後検査や一定期間の隔離等を求めるといった状況が発生しました。渡航先の入国等に必要な書類、手続きについては事前によく調べ、準備を行いましょ。各種措置はさまざまな状況に応じて流動的に変更される可能性がありますので、現地の日本国大使館・領事館や各国当局のホームページ等で最新情報を入手することが大切です。

4. 航空券の購入

多くの国は片道チケットで支障なく入国できますが、国によっては、入国の際に帰国用の航空券の提示を求められることもあります。留学期間が1年以内であれば、帰国日を後で設定できるオープンチケット（帰国日は出発日から最長1年間）を使うのもよいでしょう。格安航空券でも問題ありませんが、出発が旅行のハイシーズンと重なる人は早めに予約しましょう。

5. 海外旅行保険の加入

海外で病気にかかったりケガをしたりした場合、治療費は非常に高額となり、かつ、皆さんの安否について大学が正確な情報を収集するのは極めて難しくなります。

そこで本学では、留学生全員（休学して留学する者、個人での語学留学等は除く）に大学指定の海外旅行保険とトータルサポートサービスへの加入を義務づけています。留学先で健康保険加入が義務づけられている場合は、その保険の詳細（補償内容、保険料等）がわかる資料を提出してください。詳細はP.104（「危機管理・安全対策」のページ）をご覧ください。

6. 在留届の提出

外国での在留期間が3ヶ月以上にわたる日本人は、旅券法および同法施行規則により在留届を提出する必要があるため、外務省「在留届電子届出システム（ORRnet）」サイトから提出してください。また、留学先での引越や帰国など記載事項に変更が生じた場合は、必ず変更届・帰国届を提出してください。

※日本国籍以外の方は、各自、留学先最寄りの自国の大使館または領事館で必要手続きを確認してください。

出典：外務省ホームページ > 海外渡航・滞在 > 届出・所在調査

7. 外貨購入・送金手続

留学中の費用の持参・調達の的方法としては、現金持参、クレジットカード、トラベルマネーカード、キャッシュパスポート、現地銀行口座を開設して日本から送金（銀行振込や小切手の送付）等が考えられます。ただ海外に多額の現金を持っていくことは大変危険です。また、外資系の銀行で現地に支店がある場合は渡航前に口座開設ができるため便利ですが、銀行口座開設には時間を要する場合があります。現地到着後、口座開設まで使える現金、クレジットカード、デビットカード、トラベルマネーカード、キャッシュパスポート等を持参することをおすすめします。

外貨現金	外国為替取扱銀行で購入できます。現金を持参する場合は、多額になりすぎないように気をつけるとともに、人目にふれる場所に置かず、スリ等の危険にも注意しましょう。
クレジットカード	身分証明にもなり便利です。ただし、紛失や使い過ぎ、カード犯罪等に十分に注意する必要があります。また、万一紛失した際に即時に利用停止手続きができるよう、カード番号やカード会社の緊急連絡先を別に控え保管しておきましょう。地域によっては利用できないカードもあるため、事前に留学先国において利用可能か調べるのが重要です。
デビットカード	利用代金は銀行口座から即座に全額引き落としになります。カードに紐づいた銀行口座の預金残高を超える利用はできません。VISAやMastercardなど国際ブランドが付いているものが留学には便利です。
トラベルマネーカード キャッシュパスポート	事前に入金して利用するプリペイドタイプのカードで、留学先のATMで現地通貨を引き出すことができ、デビットカードとしても利用できます。入金した額だけ利用できるため、使い過ぎや紛失の際にも安心です。また、残額が少なくなったら、日本の家族等に追加で入金してもらうこともできます。
現地で口座開設 (海外送金)	留学先において口座を開設し、日本の口座から海外送金することができます。送金するルートは次のような方法があります。受取銀行への仲介手数料や口座登記料が別途かかる場合があります。 【銀行からの外国向け送金方法】 電信送金（Telegraphic Transfer） 銀行窓口での手続きのほかインターネットバンキングにより送金できる場合もあります。手数料は割高です。基本的には銀行手数料は送金人負担となります。 【ゆうちょ銀行および国際送金取扱郵便局からの外国向け送金方法】 口座あて送金／口座間送金があります。 詳細は、ゆうちょ銀行HPで確認しましょう。 ※個人番号（マイナンバー）の届出等が必要です。事前に必要書類を確認し、余裕をもって手続きを行いましょう。
海外送金サービス	Wise、PayPal、Western Unionなどのサービスを利用した海外送金も可能です。手数料、為替レート、必要な書類（マイナンバーカード等）が異なりますので、ご自身で比較検討してから決めてください。

8. 渡航日程の届け出

留学先に渡航する日程や利用する航空会社が決まり次第、PorTaⅡ（留学支援 > 海外渡航情報入力）で入力してください。



留学時の学納金の取り扱い

1. 長期留学中の本学への学納金（参考）

①入学年度2016～2023年度

交換留学（協定校の授業料が免除の場合）

内訳	春学期	秋学期	年額	
授業料	380,000円	380,000円	760,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
施設設備費	140,000円	140,000円	280,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究 災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の会年会費	6,000円	6,000円	12,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
合計	526,800円	526,000円	1,052,800円	

交換留学（協定校に授業料を納付する場合）、または認定留学の場合

内訳	春学期	秋学期	年額	
授業料	0円	0円	0円	
施設設備費	140,000円	140,000円	280,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究 災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の会年会費	6,000円	6,000円	12,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
合計	146,800円	146,000円	292,800円	

②入学年度2024年度以降

交換留学（協定校の授業料が免除の場合）

内訳	春学期	秋学期	年額	
授業料	420,000円	420,000円	840,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
教育充実費 （在籍基本料分）	80,000円	80,000円	160,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究 災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の会年会費	6,000円	6,000円	12,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
合計	506,800円	506,000円	1,012,800円	

交換留学（協定校に授業料を納付する場合）、または認定留学の場合

内訳	春学期	秋学期	年額	
授業料	0円	0円	0円	
教育充実費 （在籍基本料分）	80,000円	80,000円	160,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究 災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の会年会費	6,000円	6,000円	12,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
合計	86,800円	86,000円	172,800円	

上記以外に、獨協大学が指定する海外旅行保険に加入する必要があります。また、留学先でも別途保険加入を義務づけている場合があります。留学先大学が現地の保険加入を義務づけている場合、本学が指定する海外旅行保険の低補償プランを利用できることもありますが、補償内容が異なりますので、詳細は35周年記念館1階にある同窓会事務室（保険手続き窓口）で十分に確認してください。

2. 本学からの学納金納付案内のスケジュールについて

留学期間中の学納金の納付は以下の通りです。不明な点は、会計課までお問い合わせください。

Web口座振替（金融機関・ゆうちょ銀行）制度による納入 （※振替日前の個別案内なし）	学期	Web画面によるオンライン手続き締切日	口座振替日
	春学期	3月20日	4月12日
秋学期	8月20日	9月12日	
銀行振込による納入	学期	振込用紙の発送予定日	納入期限
	春学期	4月1日	4月末日
	秋学期	9月1日	9月末日

※高等教育の修学支援新制度に申込をされている方は、Web口座振替をご利用いただけません。

学納金に関する詳細は、以下のHPで確認することができます。

<https://www.dokkyo.ac.jp/about/openinfo/activity2/payment.html>



留学中に行うこと

留学先に到着したら、以下の手続きを順に行ってください。

1. 在留届の提出

入国後、現地大使館または総領事館に在留届を提出してください (P.79参照)。

2. 連絡先等の届け出 (住所連絡・変更届)

留学先の住所、電話番号、携帯電話、Eメールアドレス、在留届登録日等を、到着後1週間以内にPorTaⅡ (留学支援 > 海外渡航情報入力) で入力してください。

3. 履修報告の届け出 (履修報告届)

各学期の履修登録期間終了日から1週間以内にPorTaⅡ (留学支援 > 海外渡航情報入力) で入力してください。

4. 中間報告書を提出する (所定様式)

最初の学期終了後1ヶ月以内に、学修・生活状況について、中間報告書 (所定様式) を以下の学部・学科別メーリングリスト宛にメール送信してください。中間報告書は長期留学中の学生の学修・生活状況を大学側で把握するために利用するとともに、次期留学予定の学生に公開することがあります。

【学部・学科別メーリングリスト】

(国際交流センタースタッフに加え、関連教員、教務課スタッフが情報共有できるようになっています)

ドイツ語学科学生	ryugaku1@ml.dokkyo.ac.jp
英語学科学生	ryugaku2@ml.dokkyo.ac.jp
フランス語学科学生	ryugaku3@ml.dokkyo.ac.jp
交流文化学科学生	ryugaku7@ml.dokkyo.ac.jp
言語文化学科学生	ryugaku4@ml.dokkyo.ac.jp
経済学部学生	ryugaku5@ml.dokkyo.ac.jp
法学部学生	ryugaku6@ml.dokkyo.ac.jp
大学院生	a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp

※「中間報告書」とは別に、留学中に相談事や問題がある場合は、国際交流センターにメールしてください (a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp)。個人的な相談は、直接担当者に連絡してもかまいません。

また、Zoomによる面談も実施可能です。

5. 帰国連絡の届け出 (帰国日程届)

留学先大学の学期終了後 (期末試験終了後) は速やかに (遅くとも1ヶ月以内に) 帰国するスケジュールを組み、帰国予定日1ヶ月前を目途に、PorTaⅡ (留学支援 > 海外渡航情報入力) に入力してください。

万が一、帰国日が出発前に加入した大学指定の海外旅行保険の期間を過ぎてしまう場合は、保険期間終了前に保険の延長手続きが必要となります。

詳細は大学HPに掲載していますので、以下の順にアクセスし手続きを進めてください。

国際交流 > 留学制度 > 留学予定・留学中・帰国学生へ > 留学期間の延長 > 海外旅行保険の延長手続き



留学後に行うこと

留学を終了して帰国したら、以下の順に帰国後の手続きを行ってください。

1. 各種書類の提出（国際交流センター）

国際交流センターHP（留学制度>留学予定・留学中・帰国学生へ>帰国後の手続き）にアクセスし、帰国後1ヶ月以内*に次の書類を提出してください。以下4点の書類提出をもって留学が終了したとみなされますので、交換・認定留学生とも、必ず提出してください。*留学成果報告書を除く。なお国内での留学の場合はコース、課程、その他の留学プログラム終了日から1ヶ月以内に提出してください。

留学終了届	保健センターで健康診断（復学者健診）を受け、所定の欄に確認印をもらってください。この健康診断受診は、原則として学校医（内科）の来校日となりますので、詳細や日程は保健センターに確認してください。 教務課に帰国の報告を行い、所定の欄に確認印をもらってください。 保健センター、教務課の確認印を得た上で、国際交流センターに提出してください。
留学アンケート	国際交流センター内の閲覧資料として活用します。留学を希望する学生にとって貴重な情報源となりますので、できるだけ詳しく記入してください（原則、氏名を伏せて公表）。 所定様式への入力後、メールによる提出可。
留学体験記と写真	国際交流センター内の閲覧資料および次年度発行の「獨協大学留学ガイド」に体験記を掲載します。体験記（ワード文書にて1,500文字程度）を作成し、写真数枚とともに国際交流センターにデータ送信してください（a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp）。 また、体験記の掲載にあたっては、紙面の都合により編集する場合があります。あらかじめご了解ください。 *提出原稿は、「留学ガイド」以外の獨協大学の刊行物に掲載する場合があります。
留学成果報告書	留学統計資料の一つとして大学HP等で公表します（原則、氏名は伏せて公表）。 事後研修参加後、1週間以内にP.81に記載の【学部・学科別メーリングリスト】宛に提出してください。*事後研修に参加していない認定留学生も提出は必須。

「留学終了届」「留学アンケート」はPorTaⅡダウンロードセンターよりダウンロード（留学支援 > 留学関連提出書類 > 留学終了時提出書類）、「留学成果報告書」は所定様式をメール添付にて配布

2. 単位認定に関する書類、資料の提出（教務課）

出発前の個人面談での指示のもと、単位の認定に関する諸手続きを確実に行ってください。

3. その他手続き（就職・奨学金・資格課程等）

就職指導、奨学金受給再開（留学による中断がある場合）、資格課程等については、関連する窓口に行き、速やかに必要な手続きを済ませてください。特に帰国後すぐに就職活動を予定している場合は、留学前・帰国後ともに、キャリアセンターでガイダンスを受けてください。

4. 事後研修（交換留学生は参加必須）

交換留学生は以下の日程で行われる事後研修に参加することが必要です。国際交流センターからの案内に従い、必ず参加してください。認定留学生も参加を強く推奨します。

事後研修内容等（予定）

日時・内容・対象		春学期留学終了者 (帰国時期 5月～7月)	秋学期留学終了者 (帰国時期 11月～3月)
第1回	留学の振り返り	2024年7月27日(土) 13:35～16:35	2025年2月22日(土) 13:35～16:35
第2回	留学後の学修計画のブラッシュアップ	2024年8月3日(土) 13:35～15:35	2025年3月1日(土) 13:35～15:35

5. 語学検定試験の受験（交換留学生は受験必須※）

留学の成果を測定するため、交換留学生には、原則として留学終了後に語学検定試験を受験することが義務づけられています。これは、言語運用能力の向上を客観的に評価し、留学を考えている学生に対してモデルケースとして示すことを目的としています。またその結果は自身の留学後の就職活動や進学準備等にも役立てることができますので、交換留学終了後、速やかに受験申込をし、受験後はスコアレポートを提出してください。

※留学終了時に卒業を予定している場合は、卒業までに受験および受験料補助申請を完了させてください。

※交換留学生については下記の語学検定試験の受験料に関し、1人につき1回分の受験料を全額補助します（受験料の支払いにかかる振込手数料、交通費等は自己負担）。

【補助の対象および範囲】

- 留学前に受験したものと同一の試験を受験してください（英語については原則としてTOEIC受験とするが、海外への進学希望者に限りIELTS™、TOEFL iBT® の受験も可とする）。
 - 試験がレベル別の場合、留学出願時より1ランク以上上のレベルを申し込んでください。
 - 留学先の留学期間終了日から起算し、6ヶ月以内*に受験した語学検定試験を原則として対象とします。ただし、6ヶ月以内に受験を希望する試験が実施されない場合、または、留学期間中に1ランク以上上の語学検定試験を受験するに足る能力を有していると自己判断し、かつ留学先での受験を希望する場合は、事前に国際交流センターに相談してください。国際交流センターが補助対象として適切と判断した場合は、受験料補助の対象とします。
- ※留学終了学期に卒業を予定している場合は、卒業までに受験し、補助申請手続きを完了させてください。

対象試験

言語	試験名称	受験費用（参考）
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	19,500円～34,500円
英語	TOEIC® *	7,810円
	IELTS™	25,380円
	TOEFL®	iBT 245 USD ITP 4,000円
フランス語	TCF	15,000円
	DELF/DALF	19,000円～30,000円
	実用フランス語技能検定試験	10,000円～14,500円
スペイン語	DELE	15,000円～21,000円
	スペイン語技能検定	8,000円～12,000円
中国語	HSK	7,920円～11,550円
	中国語検定	7,800円～11,800円
	TOCFL	7,500円
	TECC	7,590円
韓国語	韓国語能力試験（TOPIK II）	7,000円
	「ハンゲル」能力検定	6,300円～10,000円

※留学前に受験したTOEFL® またはIELTS™の結果とCEFRで比較
注：上記の受験費用は、実施団体により改訂される場合があります。

【補助申請手続】

	手続内容
受験前	各自、該当試験の受験申込を行う。以下の場合は、申込前に国際交流センターに相談してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 留学終了後6ヶ月以内に受験を希望する試験が実施されない場合 • 帰国前に留学先での受験を希望する場合
受験後	スコアレポート到着後、1ヶ月以内に以下3点を国際交流センターに提出してください。 ①「留学後の語学検定試験受験料補助申請書」 ②語学検定試験受験料の領収書（電子も可） ③試験結果のスコアコピー ※1 WEB申込等でクレジットカード払いのため領収書が発行されない場合、カード会社発行の利用明細書（電子も可）および受験者氏名、試験名、受験日、受験費用が分かる書類を提出してください。 返却不可につき、必ず控えをとってください。 ※2 外貨で現金払いの場合、換算レート基準日は、領収書の発行日にかかわらず「留学後の語学検定試験受験料補助申請書」を国際交流センターが受領した日とします。 ※3 レベル別の試験の場合、万一不合格となった場合でも申請可とします。
受験料支給	原則として書類提出の翌月末までに、奨学金振込口座として指定した口座に獨協大学が振り込みます。

長期留学により修得した単位の認定について

概要	<p>「学生の留学により修得した単位の認定に関する細則」の第6条により、交換または認定留学期間中に留学先大学等で修得した単位については、学部教授会の承認を得て、在学期間を通じて合計32単位を限度として、大学院にあっては大学院研究科委員会の承認を得て、10単位を限度として認定することができます。</p>
認定の流れ	<p>(1) 帰国後、速やかに必要書類（各学科のページ参照）を教務課各学部係へ提出します（郵送は不可）。 (2) 提出された書類を教務課でチェックします。 (3) 各学部・学科で審査します。 (4) 教務委員会および各学部教授会で承認されれば単位が認定されます。</p>
認定の種類 (振替と換算)	<p>「振替」 留学先大学で修得した科目の学修時間数と学修内容を検討し、本学の開設科目の中に類似した科目がある場合は、本学の科目を修得したものと見なします。</p> <p>「換算」 留学先大学で修得した科目の内容が学修効果の上で本学の卒業に必要な単位として含めることができるが、それに類似した科目が本学に開設されていないか、あるいは類似した科目をすでに修得している場合に、その単位を選択科目の分野を修得したものと見なし認定します。</p> <p>振替と換算については、単に学生が留学先大学で修得した科目の内容ばかりでなく、既修科目や現在履修中の科目の状況等を考慮して、教務委員あるいは、演習担当教員およびクラスアドバイザーが協議のうえ、個々に判断されます。詳細は教務課各学部係窓口（大学院生は大学院事務室）で相談してください。</p>
算定基準	<p>本学学則第22条を原則とし、留学先で修得した科目の授業時間数に基づいて、本学で単位として認定します。</p> <p>なお、授業時間数については、各大学の制度とともに留学先で修得した科目の「科目内容、授業形態、難易度、成績、修得単位数等」を考慮して審査します。</p> <p>また留学中に修得した科目を本学の科目として認定できるのは、本学が留学生として認定した期間に修得した科目に限られます。</p> <p>成績証明書・通知表には留学の記録（留学年度、長期留学〔交換・認定〕、留学先大学名）と認定された科目名および評価「P」（認定）が表示されます。</p>
認定日	<p>所定の手続き・審査を経て、各学部教授会で承認された日が認定日となります。</p>
4年生への注意	<p>留学終了と同時に卒業を希望する場合、出発前の教務課ガイダンスで「希望」を伝えるとともに必要な手続きとスケジュールをよく確認してください。</p> <p>3月卒業→2月20日までに単位認定の手続きを完了させること 9月卒業→8月20日までに単位認定の手続きを完了させること</p> <p>※教職課程および日本語教員養成プログラム履修者は、出発前に担当係で指導を受けてください。</p>
問い合わせ先	<p>単位の認定に関する問い合わせ先は、教務課各学部係です。</p> <p>外国語学部係 a-kyoumu2@stf.dokkyo.ac.jp 国際教養学部係 inquiry_gengo@ml.dokkyo.ac.jp 経済学部係 keizai_mail@stf.dokkyo.ac.jp 法学部係 inquiry_hou@^{エムエル}ml.dokkyo.ac.jp</p>



<p>ドイツ語学科で認定される科目</p>	<p>【2023年度以前入学生】 (1) 外国語科目群 (2) 演習科目群 (3) 概論・専門講義・テキスト研究科目群 * 専門演習は、留学期間に応じて最大4単位まで認定できます。 * 英語による授業（講義・演習）は最大10単位まで認定できます。 * ドイツ語圏の大学で行われる外国人留学生向けの語学コースや、大学付属の語学学校における授業で、国際交流センターに長期留学の出願・申請時に提出した語学資格のレベルより上のものを受講し、成績証明書または修了書を修得した場合、外国語科目群のうち「初級・中級ドイツ語」および「上級ドイツ語」部門の科目として認定できます。 * 科目特性表に準じますので、熟読してください。 詳細については、ガイダンスで説明します。</p> <p>【2024年度以降入学生】 (1) 外国語科目群 (2) リベラルアーツ科目群 (3) 演習科目群 * リベラルアーツコースの学生は、「卒業論文演習」を2単位まで、「専門演習」を留学期間・時期に応じて最大4単位まで認定できます。ただし、「Seminar I」「Seminar II」「Seminar III」の単位認定はできません。 * プロジェクトコースの学生は、留学期間・時期に応じて「Seminar I」「Seminar II」の単位を合計最大4単位まで、「Seminar III」の単位を最大4単位まで認定できます。ただし、「専門演習」「卒業論文演習」の単位認定はできません。 * 英語による授業（講義・演習）は最大10単位まで認定できます。 * ドイツ語圏の大学で行われる外国人留学生向けの語学コースや、大学付属の語学学校における授業で、国際交流センターに長期留学の出願・申請時に提出した語学資格のレベルより上のものを受講し、成績証明書または修了書を修得した場合、外国語科目群のうち「初級ドイツ語」「中級ドイツ語」および「選択ドイツ語」部門の科目として認定できます。 * 科目特性表に準じますので、熟読してください。 詳細については、ガイダンスで説明します。</p>
<p>ドイツ語学科で認定されない科目</p>	<p>語学としての英語の授業は、認定の対象としません。 また、以下の科目の単位としては認定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「ドイツ語卒業研究」(2024年度以降入学生) • 「卒業論文」 • 他学部の科目 • 他学科の科目 • 外国語学部共通科目 • 「交流文化論」 • 免許課程科目 • 全学共通授業科目
<p>必要書類</p>	<p>(1) 「単位の認定・換算願」(教務課で配布) (2) 成績証明書(修得単位の記載されたもの) (3) 審査資料</p> <ul style="list-style-type: none"> • 認定を希望される科目の講義概要(シラバスなど) • 授業のノート(ノートを清書した場合はオリジナルも提出) • 提出したレポート(口頭発表などの場合は、その原稿を提出) • 授業時に配布された資料 • 講義の時間数が確認できる資料(Vorlesungsverzeichnisあるいはそれに該当する資料)
<p>単位認定のプロセス</p>	<p>教務課で提出書類のチェック→教務委員による審査(必要に応じて面談)→ドイツ語学科教授会→教務委員会→外国語学部教授会</p>



外国語学部 英語学科生

留学制度
長期留学

英語学科で認定される科目	<p>英語を教授言語とする学部教育課程で修得した単位が認定の対象になります。 通常、英語を教授言語とする学部教育課程で履修する科目には、内容によって以下の表のような番号が振られています。その番号により本学のどの範囲の科目に認定できるかが決定します。留学先の国や大学により番号が異なりますので、留学をする前に必ず演習担当教員（またはクラスアドバイザー）と教務委員に単位認定の可能性について確認してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 35%;">認定可能な科目</th> <th style="width: 30%;">4年制の学士課程 〈例〉アメリカ合衆国、カナダ</th> <th style="width: 35%;">3年制の学士課程 〈例〉英国、オーストラリア、カナダ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(2023年度以前入学者) 学科基礎科目、学科共通科目、 第二外国語</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">100番台相当以上</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">100／1000番台相当以上</td> </tr> <tr> <td>(2024年度以降入学者) 専門基礎科目、英語基礎科目、 英語応用科目、第二外国語</td> </tr> <tr> <td>学科専門科目 (特殊講義、文献セミナーを除く)</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">200番台相当以上</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">200／2000番台相当以上</td> </tr> <tr> <td>特殊講義、文献セミナー、 演習</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">300番台相当以上</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">200／2000番台相当以上</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">ただし、第二外国語、演習については次のとおりです。 ●第二外国語…本学で第二外国語科目が未修得の場合のみ認定できます。 ●演習…申請時において3年生以上を認定対象とします。留学期間が半年で最大2単位、1年以上で最大4単位までを認定します。</p>			認定可能な科目	4年制の学士課程 〈例〉アメリカ合衆国、カナダ	3年制の学士課程 〈例〉英国、オーストラリア、カナダ	(2023年度以前入学者) 学科基礎科目、学科共通科目、 第二外国語	100番台相当以上	100／1000番台相当以上	(2024年度以降入学者) 専門基礎科目、英語基礎科目、 英語応用科目、第二外国語	学科専門科目 (特殊講義、文献セミナーを除く)	200番台相当以上	200／2000番台相当以上	特殊講義、文献セミナー、 演習	300番台相当以上	200／2000番台相当以上
認定可能な科目	4年制の学士課程 〈例〉アメリカ合衆国、カナダ	3年制の学士課程 〈例〉英国、オーストラリア、カナダ														
(2023年度以前入学者) 学科基礎科目、学科共通科目、 第二外国語	100番台相当以上	100／1000番台相当以上														
(2024年度以降入学者) 専門基礎科目、英語基礎科目、 英語応用科目、第二外国語																
学科専門科目 (特殊講義、文献セミナーを除く)	200番台相当以上	200／2000番台相当以上														
特殊講義、文献セミナー、 演習	300番台相当以上	200／2000番台相当以上														
英語学科で認定されない科目	<p>以下の科目の単位としては認定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学部の科目 ・他学科の科目 ・外国語学部共通科目 ・「交流文化論」 ・免許課程科目 ・全学共通授業科目（第二外国語を除く） 															
必要書類	<p>(1) 「単位振替・換算願」(教務課で配付) (2) 成績証明書(評価基準が記載されたものを含む) 原則として原本とするが、原本を提出することができない場合は教務課へ相談。 (3) 審査資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス、講義概要 ・授業時間数が明記された文書 ・教科書、ノート、レポート等授業内容が確認できるもの 															
単位認定のプロセス	<p>教務課によるチェック→演習担当教員による審査*→教務委員による審査→英語学科教授会→教務委員会→外国語学部教授会 *演習が決定していない場合は、原則として教務委員による審査となります。</p>															



フランス語圏への留学

フランス語学科で認定される科目	<p>(1) 単位認定対象となる留学先は、大学または大学付属の語学学校に限られます。 (2) フランスの大学も通常、1年を2学期に分けて授業を行っています（一般的には、10月～1月、2月～5月・6月）。大学の学部へ留学する場合、1学期16単位まで単位認定することができます。大学付属の語学学校の場合、各学期の初めにクラス分けのためのテストが実施され、その結果で授業を受けるクラスが決まります。単位認定を受けるためには中級以上に入らなければなりません（初級クラスの場合は、認定対象となりません）。どのレベルのクラスで授業を受けるかによって、帰国後に本学で「単位認定」を受ける際に、申請できる単位の上限も違ってきます。下記の表を参考にしてください。</p>																		
	<p>留学中の獨協大学の1学期あたりに認定できる単位数の上限</p> <table border="1"> <tr> <td>初級 (A1/A2)</td> <td>認定できません</td> </tr> <tr> <td>中級 (B1/B2)</td> <td>10単位まで</td> </tr> <tr> <td>上級 (C1/C2)</td> <td>16単位まで</td> </tr> </table>		初級 (A1/A2)	認定できません	中級 (B1/B2)	10単位まで	上級 (C1/C2)	16単位まで											
	初級 (A1/A2)	認定できません																	
	中級 (B1/B2)	10単位まで																	
上級 (C1/C2)	16単位まで																		
<p>〈例〉1学期目中級→2学期目上級：10+16=26単位まで 1学期目初級→2学期目中級：0+10=10単位まで</p>																			
<p>単位認定の一例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>留学先大学の授業科目</th> <th>獨協大学の授業科目 (2023年度以前入学者)</th> <th>獨協大学の授業科目 (2024年度以降入学者)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Compréhension et expression orales</td> <td>「総合フランス語」や「フランス語会話」</td> <td>「総合フランス語」や「フランス語会話」</td> </tr> <tr> <td>Expression écrite</td> <td>「フランス語文章表現法」など</td> <td>「フランス語文章表現法」など</td> </tr> <tr> <td>Compréhension écrite</td> <td>「フランス語コミュニケーション講読」、「フランス芸術文化講読」、「フランス現代社会講読」など</td> <td>「フランス語圏国際発信講読」、「フランス語圏文化構想講読」、「フランス語圏社会共創講読」など</td> </tr> <tr> <td>Littérature</td> <td>「フランス芸術文化各論」や「フランス芸術文化講読」</td> <td>「フランス語圏文化構想各論」や「フランス語圏文化構想講読」</td> </tr> <tr> <td>Economie</td> <td>「フランスの経済」や「フランス現代社会講読」</td> <td>「フランス語圏の経済」や「フランス語圏社会共創講読」</td> </tr> </tbody> </table>		留学先大学の授業科目	獨協大学の授業科目 (2023年度以前入学者)	獨協大学の授業科目 (2024年度以降入学者)	Compréhension et expression orales	「総合フランス語」や「フランス語会話」	「総合フランス語」や「フランス語会話」	Expression écrite	「フランス語文章表現法」など	「フランス語文章表現法」など	Compréhension écrite	「フランス語コミュニケーション講読」、「フランス芸術文化講読」、「フランス現代社会講読」など	「フランス語圏国際発信講読」、「フランス語圏文化構想講読」、「フランス語圏社会共創講読」など	Littérature	「フランス芸術文化各論」や「フランス芸術文化講読」	「フランス語圏文化構想各論」や「フランス語圏文化構想講読」	Economie	「フランスの経済」や「フランス現代社会講読」	「フランス語圏の経済」や「フランス語圏社会共創講読」
留学先大学の授業科目	獨協大学の授業科目 (2023年度以前入学者)	獨協大学の授業科目 (2024年度以降入学者)																	
Compréhension et expression orales	「総合フランス語」や「フランス語会話」	「総合フランス語」や「フランス語会話」																	
Expression écrite	「フランス語文章表現法」など	「フランス語文章表現法」など																	
Compréhension écrite	「フランス語コミュニケーション講読」、「フランス芸術文化講読」、「フランス現代社会講読」など	「フランス語圏国際発信講読」、「フランス語圏文化構想講読」、「フランス語圏社会共創講読」など																	
Littérature	「フランス芸術文化各論」や「フランス芸術文化講読」	「フランス語圏文化構想各論」や「フランス語圏文化構想講読」																	
Economie	「フランスの経済」や「フランス現代社会講読」	「フランス語圏の経済」や「フランス語圏社会共創講読」																	
フランス語学科で認定される科目	<ul style="list-style-type: none"> • 学科基礎科目 • 学科共通科目 • 学科専門科目 • 演習（専門演習*） • 全学共通授業科目の英語 ※2024年度入学者より「専門演習」となる 																		
フランス語学科で認定されない科目	<p>以下の科目の単位としては認定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 他学部の科目 • 他学科の科目 • 外国語学部共通科目 • 「交流文化論」 • 免許課程科目 • 全学共通授業科目（英語は認定可能） 																		
必要書類	<p>(1) 「単位振替・換算願」（教務課で配付） (2) 「成績証明書」、「ディプローム (diplôme)」の原本 (3) 審査資料</p> <ul style="list-style-type: none"> • 留学先のパンフレット、シラバス、講義概要 • 時間割表（授業時間数が明記されたもの） • 教科書、ノート、プリント等授業内容が確認できるもの 																		
単位認定のプロセス	<p>教務課によるチェック→演習のみ演習担当教員による審査→教務委員による審査→フランス語学科教授会→教務委員会→外国語学部教授会</p>																		

フランス語圏以外への留学（認定留学のみ）

- ・ 交換留学の場合は、フランス語圏以外への留学は認められません。
- ・ 単位の認定は、教授言語が「英語」で、留学先が大学である場合に限られます。大学付属の語学学校は単位認定対象ではありません。
- ・ 留学先で修得した単位については、上記「フランス語学科で認定される科目」に相当するもののみ認定されます。単位を修得した授業の内容によっては認定単位数が非常に少なくなる場合もあります。事前に教員と相談するなど、慎重に履修計画を立てるようにしてください。
- ・ 単位認定申請時に、ディプロームを提出する必要はありません。



外国語学部 交流文化学科生

留学先で修得した単位が、全て認定の対象になるわけではないので、留学の準備段階、また現地での履修登録の段階で、本学の指導教員と十分に相談をしてください。

英語圏への留学

大学で専門教育を受けることを目的とします。語学学校や大学附属の英語学校で留学生用に開設されている英語科目の単位は認定されません。

- (1) 学科基礎科目
- (2) 学科共通科目 (2023年度以前入学者のみ)
- (3) 学科専門科目
- (4) 全学共通授業科目 外国語科目群外国語部門 (英語以外)
(第二外国語 (英語プラス1言語) として履修している言語で、単位が未修得の科目のみ)
- (5) 演習 (3年生以上のみ、留学期間が半年で最大2単位、1年以上で最大4単位までを認定します)

なお、英語圏の大学では、履修する科目に、内容によって以下の表のような番号が振られることが一般的です。その番号により、本学ではどの範囲の科目に単位認定できるかが決まります。留学先の国や大学により科目番号の振り方が異なる場合もありますので、履修にあたっては、科目の内容を指導教員とよく相談してください。

交流文化学科で認定される科目とその範囲

認定可能な科目	4年制の学士課程 〈例〉アメリカ合衆国など	3年制の学士課程 〈例〉英国、オーストラリアなど
学科基礎科目、学科共通科目、 学科専門科目 (英語部門)、 第二外国語 (英語プラス1言語) *	100番台相当以上	100/1000番台相当以上
学科専門科目 (ツーリズム/ トランスナショナル文化/ グローバル社会部門)	200番台相当以上	200/2000番台相当以上
演習	300番台相当以上	200/2000番台相当以上

* 認定を希望する科目のレベルにより、内容から判断します。

交流文化学科で認定されない科目

- 以下の科目の単位としては認定できません。
- 他学部の科目
 - 他学科の科目
 - 外国語学部共通科目
 - 免許課程科目
 - 全学共通授業科目 (第二外国語 (英語プラス1言語) は除く)

必要書類

- (1) 「単位振替・換算願」(教務課で配付)
- (2) 成績証明書 (評価基準が記載されたものを含む)
原則として原本とするが、原本を提出することができない場合は教務課へ相談。
- (3) 履修科目の時間数および単位数を証明する文書またはそれにかわるもの
- (4) その他 (授業内容が確認できる資料)
 - シラバス、講義概要等
 - 教科書、ノート、レポート、授業での発表原稿、ポートフォリオ等
 履修と学習の状況をあわせて確認するため、直筆ノートやPCによるメモ、配布資料への書き込みなどがわかる資料を留学中にしっかり保存し、できるだけ提出してください。

単位認定のプロセス

教務課によるチェック→指導教員による審査→教務委員による審査→交流文化学科教授会→教務委員会→外国語学部教授会

留学制度
長期留学

英語圏以外への留学	
大学で専門教育を受けること、また、大学および大学と同等の単位認定資格を持つ高等教育機関で語学教育を受けることを目的とします。	
交流文化学科で認定される科目とその範囲	(1) 学科基礎科目 (2) 学科共通科目 (2023年度以前入学者のみ) (3) 学科専門科目 (4) 全学共通授業科目 外国語科目群外国語部門 (英語以外) (第二外国語 (英語プラス1言語) として履修している言語で、単位が未修得の科目のみ) (5) 演習 (3年生以上のみ、留学期間が半年で最大2単位、1年以上で最大4単位までを認定します)
交流文化学科で認定されない科目	以下の科目の単位としては認定できません。 <ul style="list-style-type: none"> ・他学部の科目 ・他学科の科目 ・外国語学部共通科目 ・免許課程科目 ・全学共通授業科目 (外国語科目群外国語部門 (英語以外) は除く)
必要書類	(1) 「単位振替・換算願」(教務課で配付) (2) 成績証明書 (評価基準が記載されたものを含む) 原則として原本とするが、原本を提出することができない場合は教務課に相談。 (3) 履修科目の時間数および単位数を証明する文書またはそれにかわるもの (4) その他 (授業内容が確認できる資料) <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス、講義概要等 ・教科書、ノート、レポート、授業での発表原稿、ポートフォリオ等 履修と学習の状況をあわせて確認するため、直筆ノートやPCによるメモ、配布資料への書き込みなどがわかる資料を留学中にしっかり保存し、できるだけ提出してください。
単位認定のプロセス	教務課によるチェック→指導教員による審査→教務委員による審査→交流文化学科教授会→教務委員会→外国語学部教授会



英語・スペイン語・中国語・韓国語圏への留学	
概要	<ul style="list-style-type: none"> □ 長期留学の単位認定は、所定の手続に従って標記言語圏にある大学および英語圏を除く大学附属の語学学校に留学し、単位を修得した場合に限り取り扱います。 □ 単位認定を希望する学生は帰国後、所定の手続に従い教務課に申請してください。 □ 単位認定の種類は「振替」または「換算」のいずれかです。所定の手続きを経て、適当と認められた場合に認定を行います。 □ 認定できる単位の数には上限があります。
振替	<ul style="list-style-type: none"> □ 国際教養学部では、留学先大学等で修得した単位について、その科目が「学科基盤科目」、「外国語科目」、「各研究科目」のいずれかの部門に属する科目、または「演習」に類似し、かつ本学で単位未修得の場合、これらの科目への振替を受け付けます。 □ 他方、「卒業研究」、「卒業論文」、「全学共通授業科目」、「他学部開設科目」、「海外実践プログラム」（2024年度以降入学対象）、および「免許課程科目（教科法を含む）」への振替は受け付けません。これらの科目は本学で履修のうえ、単位を修得してください。 □ 国際教養学部教授会が単位の振替を認定したときは、本学の成績証明書の科目欄に「振替科目名」と「P」が記載されます。
換算	<ul style="list-style-type: none"> □ 国際教養学部では、振替の対象とならない単位について換算を受け付けます。 □ ただし、外国語科目（英語およびスペイン語・中国語・韓国語）で必修科目または選択必修科目に相当する単位の換算は受け付けません。 □ 国際教養学部教授会が単位の換算を認定したときは、本学の成績証明書の科目欄に「換算科目」と「P」が記載されます。
必要書類	<ul style="list-style-type: none"> □ (1) 「単位振替・換算願」（教務課で配付） □ (2) 「成績証明書」の原本 □ (3) 審査資料 <ul style="list-style-type: none"> • 留学先のパンフレット、シラバス・講義概要（授業内容のわかるもの） • 時間割表（授業時間数が明記されたもの）、学事日程表 • 教科書、ノート、プリント、レポート等授業内容が確認できるもの
単位認定のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> □ 教務課によるチェック→教務委員および関係する科目担当の教員による審査→教務委員会→学部教授会

英語・スペイン語・中国語・韓国語圏以外への留学
<p>留学を希望する場合は、あらかじめ演習指導教員および教務課に相談してください。</p>



経済学部生

経済学部の学生は、留学先の言語圏にかかわらず、次の通り認定されます。

認定される科目	学部基礎科目（2018年度以前に入学した者は「学部共通科目」） 学科基礎科目 学科専門科目 全学共通授業科目 演習										
認定されない科目	以下の科目の単位としては認定できません。 ・教職関連科目（2018年度以前に入学した者は「関連専門科目」）部門にある科目 ・他学部の科目 ・免許課程科目										
出発前	<p>留学が決定した場合、単位認定希望の有無にかかわらず、必ず事前に教務課経済学部係窓口へ来課し、次の事項を書面で報告してください（A4用紙1枚、様式自由）。</p> <p>(1) 学部学科、学年、学籍番号、氏名 (2) 留学先大学、留学期間、留学の種類（交換・認定の別） (3) 単位認定希望の有無 (4) 留学出発予定日、獨協大学で履修を再開する年月日 (5) 単位認定を希望する場合、以下の事項（単位認定しない場合は不要）</p> <p>①留学先での専攻・コース名等 ②留学中の連絡先（確実に連絡の取れるメールアドレスおよび日本の連絡先） ③留学先での履修予定科目、単位数、総授業時間数と獨協大学で振替を希望する科目名と単位数（表形式、下記例参照）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>外国での履修予定科目 (原文のまま)</th> <th>単 位</th> <th>総授業時間数 分×回=分</th> <th>獨協大学での 振替希望科目</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>212 International Economics</td> <td>8</td> <td>60分×48回=2880分</td> <td>国際経済学 a 国際経済学 b</td> <td>2 2</td> </tr> </tbody> </table>	外国での履修予定科目 (原文のまま)	単 位	総授業時間数 分×回=分	獨協大学での 振替希望科目	単 位	212 International Economics	8	60分×48回=2880分	国際経済学 a 国際経済学 b	2 2
外国での履修予定科目 (原文のまま)	単 位	総授業時間数 分×回=分	獨協大学での 振替希望科目	単 位							
212 International Economics	8	60分×48回=2880分	国際経済学 a 国際経済学 b	2 2							
留学中	<p>単位認定を希望する場合、留学先大学の履修登録が決定した後に、あらためて上記(5)①②③等を教務課経済学部係へ速やかにメール報告してください。 教務課経済学部係：keizai_mail@stf.dokkyo.ac.jp</p> <p>出発前の提出内容と変更がない場合も報告してください。なお、帰国後の単位認定審査（面接・書類審査）に備えて、必要書類の収集・保管を心がけてください。 なお、単位認定を希望しない場合、留学中の報告は不要です。</p>										
帰国後	<p>単位認定を希望する場合、帰国後速やかに以下の必要書類を揃えて教務課経済学部係に提出し、単位認定申請手続きを行ってください（単位認定を希望しない場合は不要）。</p> <p>(1) 「留学により修得した単位の認定・振替願」（教務課経済学部係で配付） (2) 「成績証明書」（原本） ※評価基準が記載されたもの (3) 審査資料 ①シラバス、講義概要、授業時間割表、授業時間数が明記された資料 ②教科書、ノート、レポートほか、授業内容が確認できるもの (審査時に追加資料の提出を求める場合があります)</p>										
単位認定のプロセス	<p>(1) 教務課で提出書類のチェック→教務主任、学科長、学部長による審査（必要に応じて面接） ※審査により、単位認定・振替を希望する各科目の認定・振替可否を決定します（授業内容・時間数により認められない場合があります）。</p> <p>(2) 審査の結果、教務主任により単位認定申請が認められた場合、教務委員会→経済学部教授会の順で承認</p>										



法学部生

法学部の学生は、留学先の言語圏にかかわらず、次の通り認定されます。

留
学
制
度

長
期
留
学

法学部で認定される科目	法学部専門科目に振り替えられる科目				
法学部で認定されない科目	以下の科目の単位としては認定できません。 ・学則別表の「関連」部門にある科目（2018年度以前入学者） ・学則別表の「免許」部門にある科目（2019年度以降法律学科入学者） ・全学共通授業科目 ・他学部の科目 ・免許課程科目				
出発前	留学が決定した場合、単位認定希望の有無にかかわらず、必ず事前に教務課法学部係窓口へ来課し、次の事項を書面で報告してください（A4用紙1枚、様式自由）。 (1) 学部学科、学年、学籍番号、氏名 (2) 留学先大学、留学期間、留学の種類（交換・認定の別） (3) 単位認定希望の有無 (4) 留学出発予定日、獨協大学で履修を再開する年月日 (5) 単位認定を希望する場合、以下事項の予定（単位認定しない場合は不要） ①留学先での専攻・コース名等 ②留学時の連絡先（確実に連絡の取れるメールアドレス、日本の連絡先） ③留学先での履修予定科目、単位数、総授業時間数と獨協大学で振替を希望する科目名と単位数（表形式、下記例参照）				
	外国での履修予定科目 (原文のまま)	単 位	総授業時間数 分×回=分	獨協大学での 振替希望科目	単 位
	GV214 International Relations	8	60分×48回=2880分	国際関係史 a 国際関係史 b	2 2
留学中	単位認定を希望する場合、留学先大学の履修登録が決定した後に、あらためて上記(5)①②③等を教務課法学部係へ速やかにメール報告してください。 教務課法学部係：inquiry_hou ^{エムエル} @ml.dokkyo.ac.jp 出発前の提出内容と変更がない場合も報告してください。また、帰国後の単位認定審査（書類審査、必要に応じて面接も実施）に備えて、必要書類の収集・保管を心がけてください。 なお、単位認定を希望しない場合、留学中の報告は不要です。				
帰国後	単位認定を希望する場合、帰国後速やかに以下の必要書類を揃えて教務課法学部係に提出し、単位認定申請手続きを行ってください（単位認定を希望しない場合は不要）。 (1) 「留学により修得した単位の認定・振替願」（教務課で配付） (2) 「成績証明書」（原本）※評価基準が記載されたもの (3) 審査資料 ①シラバス、講義概要、授業時間割表、授業時間数が明記された資料 ②教科書、ノート、レポートほか、授業内容が確認できるもの （審査時に追加資料の提出を求める場合があります）				
単位認定のプロセス	(1) 帰国後、教務課で提出書類のチェック→教務主任・学科長・学部長による審査（書類審査、必要に応じて面接も実施） ※審査により、単位認定・振替を希望する各科目の認定・振替可否を決定します（授業内容・時間数等により認められない場合があります）。 (2) 審査により単位認定申請が認められた場合、教務委員会→法学部教授会の順で承認				

これまで受けた問合せの中で特に多いものを、Q & Aの形でまとめました。



単位の認定

- Q 1. 留学中に修得した単位は32単位までしか獨協大学での単位として認められないそうですが、それは留学中にそれ以上の単位を履修することができないということですか？**
- A 1. 学部生については32単位まで、大学院生については10単位まで、本学の単位として認定することができます。留学先の許可があれば、何科目（単位）でも履修できますが、本学では上限を超える単位の認定はできません。なお、在留資格の関係上、学期ごとに最低履修科目（単位）数が定められている場合があるので注意してください。
- Q 2. 昨年度、休学して外国の大学で勉強し、単位を修得することができました。今からでもこれを獨協大学の単位として認めてもらえますか？**
- A 2. 休学して留学した場合は認められません。単位の認定は交換・認定留学生として認められた場合に限られます。本学を休学して渡航した後、大学への入学資格を得ることができた場合は、身分の変更（休学から認定留学）を申請することができます。しかし、この場合でも、遡っての身分変更はできません。休学から認定留学への変更を申請する場合は、申請期限に間に合わせるために早急に国際交流センターと連絡をとり、その指示に従ってください。（出発前に国際交流センターおよび教務課で相談をし指導を受けていること、「危機管理セミナー」に出席していることが申請の条件となります。）
- ※休学から認定留学への切り替え申請については、P.69を参照。
- Q 3. 1年間留学して、4年間で卒業できますか？**
- A 3. 出発時期、振替・換算される単位数や卒業要件にもよるため、教務課各学部係にご相談ください。



履修と卒業

- Q 1. 教職課程を履修していますが、教育実習はどのように行えばよいですか？**
- A 1. 教育実習を行うには、実施前年度に教育実習校の開拓が必要です。また教育実習実施までに実習要件科目等^{*}の要件を満たさなければなりません。
- ※英語学科、交流文化学科、言語文化学科（実習教科：英語）の学生は教育実習前年度末までに英語資格要件の証明書の提出が求められます。
- 中学校の教育職員免許状取得には、教育実習のほかに介護等体験が義務づけられています。実施前年度の秋学期に申し込み、特別支援学校および社会福祉施設で指定の日（合計7日間）に体験します。
- 上記のとおり、留学時期によって、各種手続きに支障がないよう計画する必要があります。
- 留学を検討する段階から必ず教務課免許課程係に相談してください。
- Q 2. 3学年の秋学期から留学して4学年の春学期終了後に帰国する場合、卒業見込証明書は発行してもらえるのでしょうか？**
- A 2. 「卒業見込証明書」は、留学終了届を国際交流センターに提出し、所定の要件を満たせば発行できます。詳細については、教務課各学部係にお問い合わせください。



留学中の学生生活

Q1. 留学継続が困難になり帰国しなければならない場合、どのような扱いになりますか？

- A1. 留学期間の途中で留学を中止して帰国する場合、留学を中止した理由や帰国の時期によって扱いが異なりますので、帰国しなければならない場合は速やかに国際交流センターに連絡し、指示を受けてください。学業不振やカルチャーショック等は改善される可能性もあります。どうしても帰国しなければならない状況に陥る前に、困ったことがある場合はできるだけ早く国際交流センターに相談してください。
- なお、交換留学生や認定留学生対象の奨学金、研修費補助の給付を受けていた場合、中止した理由によっては全額返還していただくことがあります。

Q2. 外国の大学の学期制について教えてください。

- A2. 以下に主要国の一般的な学期制度について簡単に説明します。詳細は留学を希望する大学のパンフレット等で確認してください。

ドイツ オーストリア スイス	2学期制です。ドイツの場合、冬学期は10月～3月、夏学期は4月～9月、オーストリアの場合、冬学期は10月～1月、夏学期は3月～6月となります。ドイツの専門大学やスイスの場合、各学期は1、2ヶ月早く始まり、1、2ヶ月早く終わります。多くの科目が学期ごとに開設されていることから、冬学期または夏学期から1年間という単位で留学することができます。
英国	2学期制は、9月～12月、1月～6月、3学期制は9月～12月、1月～3月、4月～6月に分かれます。
アメリカ	一般に9月から翌年5月までの9ヶ月間が1学年（academic year）となります。6月～8月は夏休みまたは夏学期（summer session / school）です。その1学年（9ヶ月間）を2期に分けるのがセメスター（semester）制で、1年間（12ヶ月間）を夏学期を含む4期に分けるのがクォーター（quarter）制です。1セメスターは17～18週間（秋：8月下旬～12月中旬、春：1月中旬～5月中旬）、1クォーターは10～12週間（秋：9月下旬～12月中旬、冬：1月上旬～3月中旬、春：3月下旬・4月上旬～6月中旬）です。他にも大学独自の学期制度を設けている場合があります。
オーストラリア ニュージーランド	多くは2学期制。第1学期は2月下旬～6月末、第2学期は7月末～11月末です。 ※北半球と季節が逆
カナダ	2学期制を採用している大学が多いです。9月初旬から翌年4月までが1学年となっています。
フランス	一般に約4ヶ月からなる2学期で1学年度が構成されています。第1学期は9月・10月初旬から12月下旬・翌年1月下旬まで、第2学期は1月中旬・2月初旬から5月下旬・6月中旬まで。3学期制の場合は、学校によって異なります。
スペイン	2学期制が多く、第1学期は9月～2月、第2学期は2月～7月です。
メキシコ	2学期制が多く、第1学期は8月～12月、第2学期は1月～6月です。
中国、台湾	2学期制です。第1学期は9月～1月、第2学期は2月～6月・7月です。台湾の語学コースでは、4学期制を採用している大学もあります。
韓国	2学期制です。第1学期は3月～6月、第2学期は8月～12月です。
インドネシア	2学期制が多く、第1学期は9月～12月・1月、第2学期は2月～6月・7月です。
チェコ	2学期制です。第1学期は9月～1月、第2学期は2月～6月です。

Q3. 私はこれまで海外経験が一度もありません。海外のトラブルにはどんなことに気をつければよいですか？

A3. よくあるトラブルとしては、次のようなものがあります。

【パスポートの紛失】

海外では命の次に大切なものはパスポートだと言われています。旅券番号と発行年月日のページのコピーを必ず持参しましょう。特に短期留学の場合は、紛失すると翌日から団体行動が取れなくなりますので、十分注意してください。紛失に気づいたら、直ちに最寄りの在外公館で再発給の手続きを取ってください。

パスポートは即時発給ができません。発給までに2週間程度を要します。なお、帰国のための渡航書を受給するには、一般旅券発給申請書の代わりに渡航書発給申請書および日程等が確認できる書類等の提出が必要です。パスポート再発行の手続き方法については、外務省HPで確認してください。

【クレジットカードの紛失】

あらかじめクレジットカード会社の連絡先、カード番号等を控えておきましょう。紛失の際は不正利用を防止するために、一刻も早く連絡してください。

【スマートフォンの紛失・盗難】

特に電子決済機能を利用している場合は、二次被害のリスクが高くなります。決済機能の利用を停止するための連絡先やクレジットカード会社の連絡先などは、スマートフォン内に保存するのではなく、別の場所に控えておくことが大切です。またスマートフォンのメモ機能にIDやパスワードなどの情報を保存していると不正利用される可能性が高くなるので、注意が必要です。

【現金の紛失】

まず戻ってくることはないと思われませんが、最寄りの警察に届けてください。

※その他の注意点については、P.109の「渡航先での注意事項」を必ず参照すること。

Q4. 長期留学中に休暇を利用して留学先国以外に旅行したいと考えています。手続きや注意すべきことを教えてください。

A4. まず、再入国に必要な手続きを、留学先大学の担当者に必ず確認してください。例えばアメリカの場合、滞在許可の有効期限内であっても、再入国の際に留学先大学が発行した書類の提示が必要となります。

また、日本人が短期の観光を目的とした入国をするのに、査証（ビザ）を必要とする国としない国があります。必要とする場合は、査証取得のための申請をしなければなりません。出発前にインターネットなどで情報を集めましょう。

地域によっては単独旅行を控えたほうがよい場合もあります。最近のテロ等の治安情勢を踏まえ、常に最新の「海外安全情報」を入手し、たびレジに登録するとともに身の安全に注意した行動をとるようにしましょう。

なお、留学前・留学中・帰国途中に第三国に渡航する場合や長期間滞在先を変更する場合は、必ず事前にPorTaⅡ（留学支援 > 海外渡航情報入力）に入力して、報告してください。保険加入の際は、帰国途中の旅行期間もカバーするよう、加入期間を設定してください。

※詳しくは、P.106の「海外旅行保険の加入（必須）」を参照してください。

【街と大学の様子】

私が留学していたベルリンは国際色豊かな都市でした。街中ではほとんど英語が通じ、外国人である私は英語で話しかけられることが多かったです。しかし、外国人として生活している人が多くいる街だったため、自分だけが目立つこともなく、過ごしやすい街でした。

大学は西ベルリンの端にあり、都心から離れた自然豊かな場所にありました。学部ごとに建物が別々の場所にあり、街の中にキャンパスが溶け込んでいるようでした。学食も規模はそれぞれ異なりますが、学部の建物ごとにあります。

ベルリン自由大学にはたくさんの留学生がいます。異国の地で頑張っている仲間がたくさんいたので、私も慣れない生活の中で頑張ることができました。



【授業】

私は政治学科に所属し、冬学期は学部の正規生向けの授業中心に受講しました。環境政策に興味があったため、気候政策を策定する上でどのようなことに気を付けて政策を打ち出すのかというテーマのゼミを取りました。日本語で開講されても理解が怪しい専門的なトピックが扱われていてとても難しいと感じました。

夏学期は冬学期の反省を踏まえ、基礎知識のある日本に関する授業を取りました。講義では日本の歴史や政治など高校までの歴史の授業で学習した内容をドイツ語で学び直しました。ある程度は知っている内容だったため、ドイツ語のリスニング練習になりました。

また、留学生用としてドイツ語と英語で開講されている授業にも参加しました。私の参加した授業はドイツにおいて環境に対する意識がどのように人々の間に根付いたのかを学ぶ授業で、英語で開講されました。

ほとんどの授業はゼミとして開講されていました。講義を除いて、多くは事前にテキストを読んでおき、担当者がテキストをもとに30分ほどプレゼンテーションをした後、議論しながらどんどん内容を発展させていくというのが基本的な授業スタイルでした。

外国人のためのドイツ語コースも開講されていました。レベルが細かく分けられていて、私にとっては唯一半分以上内容が分かる授業だったため、癒しの授業でした。授業内で会話をする機会も多くあり、レベルによっては週2回授業があるので、語学コースで仲良くなった友人たちが多かったです。

【生活】

キッチン、バス・トイレ6人共用の学生寮の個室で生活していました。学生寮は大学の近くにありましたが、バスを2本乗り継ぐ必要があったのが少し不便でした。また、都心までは離れていたため、遊びに行くときは大体1時間ほど移動時間がかかりました。

加えて、文化や生活習慣、衛生観念が異なる人たちと生活することは私にとっては大変でした。夜中の3時頃までパーティーをしている人もいて、騒音や共有部の汚さについて何度か話し合いをしました。しかし本人たちは何も問題を感じていないため、改善につながることはなく、他人と暮らすことの大変さを学びました。

【留学を終えて】

留学に行くにあたりさまざまな手続きから始まり、多くのことがスムーズには進みませんでした。他の大学に留学に行く友人が手厚いサポートを受け、既に手続きが終わっている一方で、私は四苦八苦しながらまだ手続き初期の処理をしているなどということもありました。

留学を通し、苦勞することはたくさんありましたが、助けてくれる友人を見つけ、なんとか自分の生活基盤を整え、快適なベルリン生活を送ることができました。

卒業を目前に控えてはいましたが、社会人になってからでは叶えるのが難しいであろう外国の大学に留学し、知り合いも全くいない状態から始めて、だんだん頼れる友人が増えていき、できることを少しずつ増やしながら生活することができて、私にとってはとても楽しく、価値のある経験となりました。

英国

ニューカッスル大学

言語文化学科 S. R.

留学期間：2022年9月～2023年6月

私は約10ヶ月間、ニューカッスル大学で交換留学生として過ごしました。決して楽しいだけの留学生活ではありませんでしたが、それでも帰国して振り返ってみると、チャレンジして良かったと思えるほど充実した留学でした。

私が滞在していたニューカッスルは、イギリスの中でも住みやすく、パブやクラブなどのナイトライフが盛んな街として有名です。お酒をよく飲む年配の方と、国内・国外からの学生で賑わっています。イギリスといえばロンドンを思い浮かべる人が大半だと思いますが、ロンドン以外の地域にもそれぞれ魅力があり、また移民も多いため、一つの国で多様な文化を味わうことができます。



はじめに留学で苦労したことを挙げるとすると、それは間違いなく大学の勉強だと思います。授業は教授の話がメインになるレクチャーと、ディスカッションをするセミナーとに分かれて構成されているのですが、特にこのセミナーが大変でした。授業内容について意見を交換し合うという、日本語でも難しいと感じていたことを英語で、そして現地の学生と行うことに緊張し、毎日の授業が憂鬱でした。実際全くディスカッションについていけず、一日に一言も話さないということもありました。中間・期末試験の時期も、複数のエッセイを同時にこなす必要があったので、毎日図書館にこもりパソコンに向き合う日々が続いていました。そんな大学の勉強にも次第に慣れていき、最終的には単位も落とすことなくやり切ったと感じていますが、現地の学生以上に予習に長く時間をかけたり、資料を読んだり、ということが必要不可欠でした。イギリスの大学は想像以上にハードなものでしたが、普段の生活はとても充実していました。

留学を始めるにあたり、私はたくさん友人を作ることを目標にしていました。普段から人と過ごすことでエネルギーが生まれると感じていたので、留学先でも同じように友だちを作りたいと思っていました。初めの頃は話しかけることにも緊張していましたが、一度勇気を出してやってみると、案外簡単に打ち解けることができます。その結果、イギリス人、留学生を問わずさまざまな学生と交流することができました。試験に向けて一緒に勉強したり、友だちの家に遊びに行ったり、ヨーロッパ旅行をしたりなど、留学生活の思い出は友だちなしではできなかったでしょう。

特に、日本に興味がある学生に日本語を教えたり、反対に英語やイギリスの文化を教えてもらえたりしたことは、留学生活の中でも良い経験でした。また日本人とのかかわりも、留学生活にとってはとても有意義なものでした。ネットには、留学先では英語力向上のために、日本人を避けて過ごすべきだという意見も載っています。しかし個人的には、学部留学している日本人や同じ交換留学生と会うことによって、初めての環境で感じる不安が解消され、現地での生活のコツを教えてもらったりするため、日本人、外国人問わずさまざまな人と仲良くなるのが大事だと思います。ニューカッスルでこの先も仲良くしたいと思える友だちができたことは、自分の留学のなかで一つの大きな成功だと思います。

留学生活では不安や悩みにぶつかり、それを一つひとつ乗り越えるということの連続でした。一人で初めて海外で生活することに加え、授業や自分の英語力、文化の違いで思い悩むこともたくさんありました。しかしそんな状況を変えるために自分から行動することが、成長のチャンスを作り、留学を有意義にする秘訣だと思います。もし今留学に行くか悩んでいる人がいれば、ぜひ行ってほしいです。いつ行ったとしても、どのぐらいの期間滞在したとしても、海外での生活はその後の大きな自信になります。私の体験記が、皆さんの留学を後押しできるものになることを願っています。

長期留学体験記【交換留学】フランス語圏

フランス

フランシュ・コンテ大学

フランス語学科 U. J.
留学期間：2022年9月～2023年5月

【街の様子と日常生活】

ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ地方第二の都市ブザンソンは、蛇行した川と山に囲まれた歴史的な街並みと、その周りに近代的な住居と商業施設が広がっています。大学が多く留学生を受け入れているため、街や寮ではさまざまな国籍の人と話すことができ、多文化交流をすることができます。街の規模は大きくありませんが、バスやトラムの公共交通が発達しており、利便性の高い環境です。

留学中は学生寮に滞在し、食事は自炊がメインでしたが、平日は友だちと夕食を取りました。また、週末には街中の公園を散歩やサイクリングをして過ごしました。バカンスはスイスやイタリアなどに旅行をしました。

一年を通して天気が不安定で、突然の雨や雹が多く、夏は30℃前後まで気温が上がり、冬は時々雪が降るなど変化に富んだ気候でした。



【大学と学生生活】

私が所属していた地理学部は中心街の歴史地区の中の石造りのキャンパスにありました。各授業は講義と演習がセットになっており、日本ではあまり馴染みのないカリキュラムであったため、時間割のシステムを理解するのに時間がかかりました。1クラスは40人ほどで、1コマは2時間です。授業は現地のフランス人学生に合わせたペースで進むため、問題を解いたり、ノートを取ったりするのに必死でしたが、徐々に慣れました。演習ではレポートやグループワークがメインになるため、フランス語で自分の意見を発信することが求められます。

試験は中間と期末の2回で、どちらも記述式でした。問題や資料を理解するのに時間がかかり、授業によっては小論文も書くので、ある程度のフランス語力も求められます。また、フランス式の記述フォーマットで書くことが必須のため、クラスメイトに添削やプレゼンテーションの練習を頼んで、少しずつ修得しました。

【留学を終えて】

今までは漠然とフランス語を勉強していましたが、この留学生活を終えて、よりフランスが好きになりました。言語だけでなく、現地の風習や生活リズム、食文化など多くのことに魅力を感じました。行政手続きなどスムーズに進まない場面もありましたが、交渉練習のための絶好の機会だと思い積極的に質問をして、自力での問題解決力を養うことができました。学習面では、日本の大学と比べるとより実践的なカリキュラムが組まれていて、確実に自分の知識量や応用力を高めることができました。それに伴って、フランス語力も自然にレベルアップしていきました。「フランス語を勉強する」から「フランス語で勉強する」という大きな変化を遂げた留学生活でした。

【アドバイス】

勉強だけに熱心に取り組もうとしても長続きしないのが現実です。普段の生活に趣味の時間（服、料理、ワインなど）を作ることをおすすめします。日々の生活が彩られ、厳しい生活の中にリラックスできる時間が生まれます。一番大切なのは良いメンタルヘルスをキープすることです。

自分の語学力に自信がなくても、現地の人と出かけたり、難しい授業を履修したり、一つレベルの高い挑戦を行うのが留学生活の中で一番の刺激となり、成長の可能性を高めてくれます。チャレンジして失敗したことを教訓にするか、チャレンジせずに諦めるかで、自分の将来は大きく変わります。日本では体験することのない環境が目の前にあります。時間と出費を惜しまず、積極的に新たな世界に足を踏み入れる勇気が大切です。

長期留学体験記【交換留学】スペイン語圏

スペイン

マラガ大学

言語文化学科 I. N.

留学期間：2022年9月～2023年7月

私はスペイン南部に位置するマラガという、気候も人々（malagueños）も穏やかで活気あふれる街に約1年間留学しました。



マラガ大学では主にスペイン語の言語学について学びました。初めのうちは誰も知っている人がいない教室で、スペイン語で授業を受けることにとても緊張し、アンダルシアの方言と話すスピードの速さにもついていけず心が折れかけました。しかし、現地学生や同じ留学生に声をかけて分からないところを聞き、ともに授業を受け、復習を繰り返すうちに少しずつ慣れていくことができました。留学前に日本語の言語学を少し学んでいたため、日本語とスペイン語で共通する部分は理解するのに時間をあまり要しませんでした。興味にまかせてとったイスラムの歴史や中世キリスト教美術などの授業に関しては、事前知識があまりない状況で受講したため流れを掴むのが難しく、専門用語の意味を理解するのに苦労しました。

授業以外の時間では、ルームメイトとおしゃべりしたり、カフェへ行ったり、旅行へ行きました。私は4人の留学生とシェアハウスタイプのアパートに住んでいたため、互いの文化を教え合ったり、授業が大変だ、今日は何をしたといった世間話をしたり、一緒にご飯を食べたりしました。彼女たちのおかげもあって心細い思いをすることもなく、日々明るく過ごすことができました。週末は、1学期目は主にアンダルシア州内の有名な観光スポットに足を運び、2学期目は暖かければ海へ行きました。マドリードやバルセロナといった都会のように数多くの商業施設があるわけではありませんが、山と海に囲まれたマラガではのんびりとした時間を過ごすことができました。

この約1年間の留学期間中は、とにかくたくさんの人と話すよう努めました。ネイティブに囲まれて、スペイン語を上達させるには好都合な環境にいるのだから、とりあえずやってみようとは思ったものの、初めは自分のスペイン語力に自信がなく、初歩的な会話しかできませんでしたが、それでも日々の小さな会話から徐々に慣れていくことができました。特にマドリードのレストランで偶然出会ったご夫婦と一緒に中心地を回りながら、スペインの文化やご夫婦の地元について教えてもらったことがとても良い思い出として記憶に残っています。

多くの人と会話を続けたことでスペイン語やスペインの文化を学べただけでなく、自分自身についてもより深く知ることができました。話し相手に趣味や好きな物事、バックグラウンドや将来について尋ねると、彼らも同様に同じことを聞いてくれるため、自然と自分の今までのことやこれからのことを考えることになり、内省する機会が増えました。いろいろな人の価値観に触れ、自分の根本となる考え方にも気づくことができたので、それを踏まえ、まずは今後の進路についてももう少し明確にしたいと思います。

留学中は良くも悪くも自由な時間が多いので、自分の好きなように時間を何にでも充てることができます。せっかく留学に行ったのなら、自分の興味関心のあるものにとことん目を向けるのも良いですが、少しでも気になったものには何でも足を突っ込んでみてください。初めのうちは一人暮らしや寮生活、学校、バスに乗ることさえも初めてで、新しく挑戦することがたくさんあるでしょう。しかし、それらは日々を過ごしていくうちに当たり前のことになっていきます。新しく何かを始めたり、わからないことばかりの状況に囲まれると不安でいっぱいになるでしょうが、やらなければいけないことだけでなく、さまざまなものに関心を寄せて、大なり小なりたくさんのチャレンジをしてみてください。その過程で新たな発見や出会いがあり、それらを経験したことで、新しい考えに導かれていくと思います。

長期留学体験記【交換留学】中国語圏

台湾

東呉大学

言語文化学科 H.N.

留学期間：2022年9月～2023年6月

私は2022年9月から2023年6月まで、台湾の東呉大学に通いました。もともとは3年次に渡航する予定でしたが、コロナ禍で中止になり、4年次の秋学期からの留学となりました。渡航する前は、台湾で使われる繁体字や単語を重点的に学びました。実際に大陸の中国語とは異なる部分があるので、事前に勉強して損はありませんでした。

東呉大学は、最寄り駅からはバスに乗らなければならないので少し不便です。バスの時間が合わない時は、YouBikeというレンタサイクルを利用しました。大学までの距離なら無料で乗ることができます。校内にはセブンイレブンやマクドナルド、カフェ、食堂などがあり、比較的安く食べられます。キャンパスは山の麓にあるので、移動の際は階段が多く、その点は大変でした。

渡航直後は新型コロナウイルスの入境政策によって隔離ホテルにいたので、1学期の初めの授業はオンラインで受けていました。私は外国人向けの中国語の授業の他、現地学生と一緒に授業を受ける、日中翻訳、日本文化、文学、韓国語、美術史などを履修しました。中国語の授業はレベル別に分かれています。ほとんどの交換留学生が履修するため、早めに登録することをおすすめします。日本語学科の授業では、日本に興味のある学生が多いのでたくさん友だちができます。学部の授業は基本的に中国語で行われます。留学生は私1人という環境で受講しましたが、先生や周りの学生が気にかけてくれ、疎外感はありませんでした。テストはグループ発表が多いので、むしろ友人を作る最強の環境です。2学期目は、日本での就職活動が本格化する時期と被っており、オンラインで説明会や面接に参加するため、1学期と比べ授業は少なく履修しました。

私は大学内にある寮に住んでいました。8人部屋で、台湾人6人と香港人1人がルームメイトでした。大人数なので生活習慣の違いからストレスがたまることが多かったです。しかし、その都度話し合いをしたので、改善されたことはたくさんありました。それでも解決されない場合は、寮内での引っ越しも可能です。寮の中はお世辞にも綺麗とはいえない環境です。湿気が多いのでカビが発生します。また、トイレやシャワーはその階に住む人全員が使うので、汚いです。実は寮生活が留学生活で一番大変だったことでした。学校外でシェアハウスをする人や、家賃は多少上がりますが、別の寮に住む人などもありました。しかし、ルームメイトに中国語を添削してもらったり、一緒にご飯を食べに行ったりと、大人数でみんなと仲良くなりたいた人には寮生活はおすすめです。

東呉大学には、日本語学科の学生だけではなく、他の学科の学生でも日本語を勉強している人が多く、たくさんの友人ができます。校内言語交換のイベントも多く開かれています。またバディ制度といって留学生1人に対し、現地の学生2人がついてさまざまなことをサポートしてくれます。活動を通して知り合った友人と食事に行ったり、映画を見に行ったり、旅行に行ったりしました。週末は大抵友人と遊ぶか、SNSで見つけた日本語ボランティアに参加したりしていました。

留学を通して世界中に友人ができたこと、日本のすばらしさ、台湾のすばらしさ、周りの人への感謝、将来の目標など多くのことを得ることができました。長期留学は楽しい反面、辛いことも多くあります。日本よりも些細なことがストレスになりがちです。体調を崩し病院にも行きました。そのため授業についていけなくなったり、友人よりも中国語が聞き取れず悔しい思いもしたりしました。しかし、これは留学に行ったからこそ経験できた感情であり、自身の成長にとって不可欠の経験だったと思っています。今よりも少しでも自分を成長させたいと思う人には、私は留学することを強くおすすめします。頑張ってください。



【大学や街の様子】

大邱カトリック大学は大邱市内からバスと電車を乗り継いで約1時間の慶山（キョンサン）市にあります。大邱は夏は韓国で最も暑い地域と知られる一方で、冬はマイナス10度以下になる日もあるなど寒暖差が激しいのですが、実際には日本の気候と大して差は感じませんでした。大学の周辺には生活に必要な店や施設が全て揃っていたため不便はありませんでした。大学は坂を少し登ったところにあり、日本の首都圏の大学と比べると何倍もの敷地面積があったため移動するのが少し大変でしたが、山が近いこともあり自然豊かで、韓国で深刻な問題となっているPM2.5の心配もほとんどない良い環境でした。また、日本人留学生は各学期4人ほどしかおらず、韓国人や外国人留学生との出会い、言語学習のためには良い条件だったと感じています。



【授業】

卒業論文のテーマや卒業後の進路を考慮し、留学先では社会福祉を専攻しました。獨協では社会福祉が専攻ではないため、韓国語で新しい分野を習得することは大変でしたが、新鮮で楽しみながら学ぶことができました。ただ、社会福祉学科の授業は人気も競争率も高く、計画していた通りには履修が進みませんでした。そこで以前から興味があった社会学科の授業も並行して受けることにしました。社会学科の大半の科目が最新のニュース記事や論文から実際の事例を取り上げて韓国社会の問題にフォーカスする講義であったため、韓国人の問題意識を知ることができた点でとてもためになりました。10人ほどの少人数の授業で、教授や他の学生とディスカッションをしながら交流できた点が特に良かったと感じていて、社会学科の科目を履修できてむしろ良かったと思っています。専攻の授業ではチームプロジェクトや発表が多く、留学生の立場からすると精神的にも大変な部分がありましたが、「外国語でプレゼンテーションなんて皆が経験できるものではない」と自身に言い聞かせてやり切りました。これから何度もあるだろう日本語でのプレゼンテーションはもう怖くありません。

【生活や寮について】

授業のある日は放課後に友だちと図書館やカフェで課題をすることが多く、休日は市内に遊びに行ったり、部屋でゆっくり過ごしたりすることが多かったです。留学には費用がかかるため普段は食事以外にはあまりお金を使わず、長期休みに旅行に出かけて大きなお金を使うスタイルでした。大邱は正直ソウルなどと比べると遊ぶ場所も少なく、物価もそれほど高くないため、費用をなるべく抑えたいと思っている人に適している場所だと思います。

住居は留学期間を通して大学の敷地内にある寮で暮らしました。休日を除いて共用スペースは毎日清掃が入りますが、複数人で使用するのでどうしても我慢しなければならぬ場面がありました。寮のメリットは、費用が圧倒的に安いこと、自分とは違う文化やバックグラウンドを持つ仲間と生活しながら自分の凝り固まった価値観を変えることができること、また1人でいる時間が良くも悪くも少ないためホームシックにならないことでした。私は、どちらの学期も外国人のルームメイトと2人で生活しました。お互いに配慮しても生活スタイルが合わずストレスを感じたこともありますが、理解しようとする姿勢と、どうしても譲れない点があったら話し合うという姿勢が必要だと感じました。ちなみに一緒に生活した仲間たちはいい人ばかりでした。

【留学を終えて】

大邱カトリック大学への過去の留学生派遣は2017年が最後で、コロナ禍以降の情報はほとんどない状態でした。国際交流センターや外務省からの情報以外には、YouTubeやSNS等で現地のリアルな情報を随時チェックしながら情報収集しました。現地では知り合いが一人もいない中でスタートしましたが、良い縁に恵まれ周りの人の力を借りながら充実した留学生活を送ることができました。国際交流センターを始め、ゼミの先生や現地で出会った人たちの協力や支えがなければ成し遂げられなかった留学生活だったと思います。今回の留学は生涯の大きな経験になったと共に、周りの人達への感謝の気持ちに改めて気づかせてくれた経験でした。

【アドバイス】

3年生で就活の準備をしながらも、コロナ禍で思うような大学生活を送れなかったことをずっと心残りに感じていて、このままだと後悔するに違いないと思い決めた留学でした。周りの人たちと比べると遅い4年生秋学期からの留学でしたが、それでも留学を決断して良かったと感じています。留学先で何でも話し合える友だちに会えたこと、将来について広い視野で考えられるようになったこと、韓国に対する見方の変化や日本人としてのアイデンティティを感じられたことも、全部この留学経験なしには得られなかったものです。もし、私のように今から留学に行くのは遅いかなと迷っている人がいたら、ぜひ挑戦してみてください。行った後悔よりも行かなかった後悔のほうが大きく、行かなかった後悔は一生続くと感じています。応援しています！

長期留学体験記【認定留学】英語圏

アメリカ

カリフォルニア州立大学モントレー・ベイ校

言語文化学科 M. M.
留学期間：2022年8月～2023年5月

私は、2年生の秋学期と3年生の春学期の2学期間をカリフォルニア州立大学モントレー・ベイ校（CSUMB）で過ごしました。私が留学を考え始めたときはまだコロナ下だったので、認定留学で行ける大学には限りがあり、CSUMBしか選択肢がありませんでしたが、今ではCSUMBを留学先を選んで本当に良かったと思っています。

私は幼いころから外国に憧れがあって、ただ漠然と留学してみたい!とっていました。そのため、正直なところ、何か明確な目標があって留学を決めたわけではありませんでした。しかし、留学が正式に決まってからは、国際交流センターの方にすすめていただいた授業を取ったり、事前研修に参加したりしたことで自分が留学を通してどうなりたいのかをしっかりと考えられるようになりました。もちろん、留学前は不安もたくさんありました。特に一番不安だったのは自分の英語力です。勉強はしていたものの、実際にアメリカに行ったら現地の学生についていけるのだろうか、などとよく悩んだりしていました。



アメリカに到着して1ヶ月は、新しい生活に慣れるのとにかく必死でした。授業でも日常生活でも最初は英語がよく聞き取れなかったり、思っていることがうまく伝えられなかったりしたので、落ち込むことも多くありました。しかし、クラスメイトやルームメイト、そして先生に助けてもらいながら少しずつアメリカでの大学生生活に慣れていきました。

私がこの1学期目にとった授業で一番心に残っているのはサービラーニングの授業です。この授業では座学の授業の時間とは別に、週1回3時間、近くの小学校に行き子供たちに日本語や日本の文化を教えるレクチャーをしました。子供たちを相手に実際に授業をしたり授業計画を立てたりしたのは初めてだったので、教師の大変さとやりがいを実感しました。特に私は将来日本語教育の道に進みたいと考えていたので、自分の将来について具体的に考えるととてもよい機会となりました。

2学期目には現地の学生の友人も増え、最初の学期よりも充実したものとなりました。また、授業でも、1学期目は同じクラスに数人日本人留学生在いたのですが、2学期目には留学生在自分ひとりだけというクラスが多かったので、その分大変だったこともありましたが、とてもためになる経験でした。

私が留学を通して得たものは、英語力だけでなく、新しい考え方やかけがえのない友人です。CSUMBでの授業を通して新たな気づきはたくさんありましたが、友人との会話からも学ぶことが多くありました。例えば、人種問題やジェンダー問題などに対しては留学前にも知識として知ってはいたものの、どこか他人事のように捉えてしまっていました。しかし、授業中のディスカッションでそのような社会問題に対してクラスメイトが当たり前のようにしっかりと意見を持っていたり、人種やジェンダーについて悩んだり苦しんだりしている友人から実際に話を聞いたりすることによって、それらの問題により興味を持つようになりました。また、それと同時に自分がこのような問題に対していかに無知であったかということに気づかされました。この気づきは留学がなかったらきっと得られなかったと思うので、留学先で素晴らしい先生や友人に恵まれたことを本当にありがたく思っています。さらに、留学を応援して支援してくれた家族や国際交流センターの方々にも感謝でいっぱいです。

最後に、もし今留学するチャンスがあるのにためらっている人がいたら、留学は絶対に行った方がいいと心から思います。不安があるのはみんな同じですが、それを乗り越えた先で学べることは計り知れないと思います！

【大学や街の様子】

留学先は語学学校だったので、さまざまな国からさまざまな人たちがフランス語を勉強しに来ていた。高校を卒業したばかりの人、20代から40代の学びたいことのため、あるいは仕事のために来たという人もいた。そのため、違う価値観や違う文化に触れ合うことができ、刺激的な毎日だった。ただ、フランス人とかかわりフランス語を思いきり勉強したい場合は、物足りなさを感じるかもしれない。

リヨンは落ち着いた街で、中心を流れる2つの大きな川や綺麗な建物に囲まれ、とても過ごしやすかった。交通はメトロや電車、バスもあるが、街はあまり大きくないので、歩いて移動するのも楽しかった。また、日本よりも幅の広い自転車専用レーンがあるので、自転車やスクーターの利用者も多かった。

コンビニなどはなく、スーパーは19時ごろに閉まり、土日にも開いていないので、多少不便を感じることはあったものの、日の入りが遅いため夜遅くまで外で快適に過ごすことができた。さらに、フランス内の移動もバスを利用することで容易だった。

フランス語を話したい日本人と日本語を話したいフランス人が集まるカフェが毎週水曜日に開催されており、そこで多くのフランス人と出会うこともできた。



【授業】

教室ではコの字に机を並べて座り、学生同士で話し合う時間が多かった。私のクラスには日本人が4人、イラン人が3人、アメリカ人が2人、その他トルコ、韓国、台湾、ナイジェリア、中国、ケニアからの学生がいた。授業は教科書に沿って進められていたが、フランスの民謡や流行りの曲などを使って聞き取りの練習、表現の学習をすることもあった。月に2回音声の授業があり、ヘッドホンをつけてひたすら発音の練習をした。授業での発表は自分の国の文化や歴史、場所などを紹介するものであったため、他の国についての理解や、興味が深まる、非常に貴重な機会となった。

私はフランス語だけで授業を受けた経験もなく、文法事項もすべて日本語で勉強していたため、はじめは授業についていくのが大変だった。教科書に出てくる単語は予習をし、わからないことがあれば先生に聞くようにしていたが、先生の説明もフランス語であるため理解できないこともあった。しかしそこであきらめず、ニュアンスだけでもつかんで家に帰って復習し、自分の理解度がどのくらいなのかを確認して、次の授業に挑んでいた。

【生活や寮について】

日本でも一人暮らしの経験がなく、外国語で友だちを作ったこともなかったため、はじめの2週間は寮の共有スペースを避け、自分の部屋にこもって生活していた。2週間が過ぎたころ韓国人の女子学生4人が声をかけてくれ、そこから私の留学生活は一気に明るくなった。私はフランス語だけでなく、さまざまな言語に興味があり、知っている外国語をきっかけに仲良くなったり、友だちの言語を進んで覚えて距離を縮めたりもした。普段の会話は、フランス語、英語、日本語、相手の国の言葉の4言語のミックスで会話することを楽しんでた。まだフランス語が話せない友だちとは英語で会話をしていたため、英語力もついた。フランス語でも英語でも、みな学習中なので、完璧に話せる必要はないということに気づき、とにかく伝えようという気持ちで話した。わからない単語があっても誰かが助けてくれることも多く、積極的に会話することができた。

寮のキッチンには30人ほどで共有だったため、いつも誰かがいるので、話をしながら料理をして一緒にご飯を食べることもよくあった。

韓国、台湾、トルコの友だちとお互いの国の料理を一緒に食べるにレストランへ行ったり、バカンスは旅行したりもした。放課後は川沿いでお酒を飲みながら話し、たくさん時間を一緒に過ごした。今でも彼らとは連絡を取り、手紙やプレゼントを贈り合っている。

また、毎日その日の出来事や考えたことをノートに書いていた。その時間は、自己分析をして自分について考え直す大切な時間だった。

【留学を終えて】

はじめの2ヶ月は、授業についていくため必死になって夜中まで勉強した。それが自分のフランス語力の成長につながり、頑張ったよかったと強く思う。また、積極的に多くの人とかかわることを楽しむ中で感じたことは、自分は偶然の出会いに感動する瞬間が好きであること、人をプラスの面から見るができるという強みがあること、さまざまな言語を記憶し瞬時に使うことが得意であること、異なる言語をミックスして話すことが好きであることにも気づいた。

日本にいるよりも海外にいたほうが自分らしくいられるようにも感じ、進路も改めて考え直している。

【アドバイス】

留学前はすることが多く大変だったが、頑張ったと本当に良かったと今は心の底から思える。留学中に得るものは大きいので、めげずに頑張してほしい。

不安でいっぱいになったときは人生何とかかなと思って少しずつでも前向きになってほしい。私はよい友人たちに恵まれ、出会ったひとりひとりから影響を受け、私の留学生活はどんどん華やかになった。少し警戒心を捨てて街を散歩してみるのも何かが始まるきっかけになると思う。



危機管理・安全対策

Risk Management and Security Measures

安全な海外留学のために



安全のためのガイドライン

世界各地では紛争、襲撃事件、テロ、暴動や内乱、さまざまな感染症や大規模な災害などが発生しており、私たちは流動的な状況への対応を日々迫られています。海外渡航にあたっては基本的な安全管理・危機管理対策に加え、感染症対策や関連措置への対応等の備えが求められています。そのためには渡航者である学生自身による状況確認と判断力、情報収集力や危機管理能力を高めることが必要です。渡航後、常にその国や地域の最新情報入手に努めることはもちろんですが、渡航前から目的地について調査したり、オリエンテーション等に参加し危機管理に対する意識を高めるとともに、起こりうるリスクを可能な限り想定し準備をしておくことが大切です。



渡航と安全対策

日本は世界でも特に治安の良い国です。そのため、日本にいる時と同じ安全意識を持ったまま渡航することは非常に危険です。さらに、渡航先で問題が生じた場合や予期しないトラブルに巻き込まれた場合は、自己責任において対処しなければなりません。そのため、個人でできる予防策を講じておく必要があります。

獨協大学では、短期・長期を問わず留学の決まった学生に、学内で実施する「危機管理セミナー」への参加を義務づけています。これにとどまらず、渡航前に「外務省海外安全ホームページ」「世界の医療事情（外務省・在外公館医務官情報）」等のサイトにアクセスし、常に最新の情報を入手するように心がけましょう。渡航を予定している国・地域の政府観光局や、旅行会社や保険会社なども貴重な情報源となります。外務省海外安全ホームページのメールサービスを利用すれば関心のある地域について発出された最新の情報を受け取ることもできます。また在留届の提出（P.79）が不要な3ヶ月未満の渡航を予定している場合は、いざという時に在外公館などから緊急時情報提供を受けられる海外旅行登録システム「たびレジ」に必ず登録しましょう。「たびレジ」には本人以外のメールアドレスも登録することができるため家族とも情報を共有しておくことをおすすめします。これらを踏まえ、P.115には「海外渡航時に役立つサイト」を掲載しているの、渡航を計画している方は各自確認してください。

また、本学では、危機管理の対策として大学から派遣する長期・短期留学生に対し、本学指定の海外旅行保険への加入を義務づけています。病気になったり、不慮の事故に遭遇した場合はもちろんですが、派遣先大学や他人の物品を破損した場合等の賠償問題に対応するためにも、保険加入は必須です。

なお保険加入以外にも渡航前にすべきことをP.106～に掲載しているの、必ず目を通しておきましょう。

※長期留学（交換・認定）、短期留学（協定校・認定）、および休学して留学する場合も含め、本学は在籍学生の渡航中の車やバイク等の運転を禁止しています。

■外務省海外安全ホームページで、以下の情報を出発前に確認しましょう。

- 海外安全情報（危険・スポット・広域情報、安全対策基礎データ、安全の手引等）
- たびレジ、オンライン在留届
- 「海外安全虎の巻」
- 「海外旅行のテロ・誘拐対策」
- 「海外安全劇場 海外へ渡航するあなたへ～外務省からのお知らせ（動画）」
- 「海外で困ったら 大使館・総領事館でできること（パンフレット・アニメーション資料）」



普段から心がけたい危機管理の心がまえ

危機管理は重大な事故や犯罪に巻き込まれることを防ぐためだけでなく、日常のちょっとしたことで起こるトラブルを未然に防いだり、拡大させないためにも大切です。快適な留学生活を送るためには安全への気配りが常に大切です。

出発前	<ul style="list-style-type: none"> ・パスポートの残存有効期間を確認する ・パスポートの迅速な再発行のため写真やコピーを準備しておく ・国際キャッシュカードやトラベルマネーカード、キャッシュパスポート等の準備をする ・滞在先の文化、風俗、気候等の事情を調べておく ・常備薬の準備／特別に処方された薬を持っていく際は英語で書かれた診断書や処方箋を作ってもらおう ・海外旅行保険に加入する（留学期間と、留学に付随する旅行期間の全てをカバーするもの） ・持参するクレジットカード等の番号や発行会社、発行連絡先を確認しメモしておく ・出国や渡航先入国に関する制限がないか情報収集
留学中	<ul style="list-style-type: none"> ・心身両面における健康に留意する（無理をしないように） ・体調不良を感じたら、早めに医者にかかるなど対処する（もしもに備えてモバイルバッテリー／充電器を持参すると良い） ・カルチャーショックを感じた時は周囲の人やカウンセラーに相談し、無理をせず現実的な解決方法を探る ・日本と同じ感覚で行動しないよう注意し、日本人を含めた面識のない人を安易に信用しない ・現地の交通手段・交通事情について確認する ・政治的な話や特定の国や民族、宗教、習慣、文化などについて人前で大声で話さない ・話し相手に対して意思表示をはっきりする ・想定されるトラブル対応会話を準備する（とっさの一言が言えるように） ・クレームを言うべきときはきちんと伝え、納得のいく回答や対応を求める ・毎日使う財布には必要最低限の現金と使用予定のクレジットカードのみを入れ、余分なお金や使わないクレジットカード等は別の場所に保管する ・レシートの金額や釣り銭はどんな場面でもきちんと確認し、買い物時のレシート、カード使用時の控えを管理する ・クレジットカードの利用明細をチェックする ・飲酒が認められる年齢は国によって違うため、事前に調べ、必ず遵守する ・夜の公園、地下の薄暗いカフェなどには近づかない、1人で行動しない ・ブランド物はなるべく身につけない ・麻薬や覚せい剤などの薬物には絶対に手を出さない ・携帯電話やスマートフォンとは別に、家族や現地の緊急連絡先（大使館、領事館、大学緊急連絡先等）の情報を紙にメモし保管する ・現地の報道に注意し、デモ・集会・テロ等を見たら速やかにその場を離れる ・現地で発せられている規制や制限を把握し、遵守する ・日本の家族等にも定期的に近況報告をする
帰国時 帰国後	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物の重量オーバー、日本への持ち込み禁止物等に気をつける ・麻薬等のいわゆる「運び屋」とならないよう、知人に荷物の運搬を頼まれても断る ・帰国時に検査証明提出や自主隔離などの制限がないか確認する ・体調不良時には早めに医者にかかる

危機管理セミナー

獨協大学では、本学の留学制度を利用して短期・長期留学する学生に、学内で実施する「危機管理セミナー」への参加を義務づけています。このセミナーでは、海外で注意すべき点、トラブル発生時の対処方法について説明し、学生の危機管理意識を高めることを目的としています。本学の制度を利用せずに海外に渡航する学生にも参加をおすすめしています。

2024年度は、以下の日程で実施する予定ですが、最新の情報はPorTaⅡ掲示板 [留学支援・国際交流] で確認してください。

夏季：2024年7月 3日(水) または7月 5日(金) (予定)

春季：2025年1月 8日(水) または1月10日(金) (予定)



学生・家族（保証人）の責任

海外滞在中に問題が生じた場合や予期しないトラブルに巻き込まれた場合は、自分の判断で対応しなければなりません。海外滞在中の事故やトラブルには、本学がコントロールできない種類のものが多いということも認識してください。「自分の身は自分で守る」という自己責任の意識を常に持つことが大切です。

留学で渡航する学生が事故や事件に巻き込まれた場合、本学は学生の安全確保や救援に最大限の努力をします。速やかに連絡が取れるよう、学生は滞在中の所在地を明確にし、電話番号やメールアドレスなどの連絡先を忘れずに本学に届け出るとともに、変更があった場合も必ず連絡してください。

また、渡航する学生のご家族や保証人等には、学生が無事に出発し無事に帰国できるように協力する責任があります。学生と一緒に留学先の国や地域の治安や生活環境を確認し、文化・風習などを調べることをおすすめします。また、留学前には留学に対応できる健康状態にあるかを確認し、留学中は定期的に連絡をとるようにして現地生活の様子を把握し、問題や心身不調の早期発見に心がけてください。



出発前にすべきこと

1. 海外旅行保険の加入（必須）

留学中は、自然災害被災をはじめとして、感染症罹患、交通事故といったトラブルに巻き込まれる可能性が常にあります。特に、海外で病気にかかったり、ケガをした場合、その治療費は非常に高額であり、かつ、皆さんの状況について大学が正確な情報を即座に収集することは極めて難しいのが実情です。

そこで、海外での危機管理体制強化の一環として、本学から留学に派遣する学生には、大学指定の海外旅行保険およびトータルサポートサービスへの加入を、留学の必須条件としています。この保険は包括契約であることから、学生の皆さんが個人で加入する場合よりも割安な保険料で加入することができます。トータルサポートサービスは、病気、ケガ、盗難等のトラブルについて24時間365日、日本語で相談できるサービスで、学生本人だけでなく、ご家族からの相談にも対応します。

なお、長期留学の場合、上記海外旅行保険とは別に留学ビザ取得の要件として保険加入が求められる国があります。また留学先大学でも現地の保険への加入を指示される場合があります。この場合、留学先国・大学の指示に従って加入することになりますが、本学で加入した保険の内容を証明する書類（英文の付保証明書）を提示すれば、現地での保険加入が免除（または一部免除）されることもありますので、事前にしっかり調べて準備してください。また、英文の付保証明書は渡航の際は必ず携行してください。

2. 健康管理等

■ 健康診断

留学先の機関によっては健康診断書の提出を求められることがあります。また書類の提出を求められない場合でも、自分の健康状態を把握するために、出発前には健康診断を受けましょう。

本学で毎年4月に行われる定期健康診断の受診は最低限必要ですが、足りない項目については、医療機関等で追加検査を受けてください。また、健診や追加検査後に再検査や受診をすすめられた時には、必ず受診してください。特に持病がある場合は、事前に国際交流センターにもその旨を知らせてください。

なお、健康に不安のある人、アレルギーや持病がある人、服用している薬がある人などは英文の診断書や処方箋等を持参しましょう。

国によっては医療過誤の際の損害賠償が厳しいなどの理由から、医療情報が不明確な患者に対して医師が十分な処置を行ってこない場合があります。そのような時に英文診断書等があると現地の医師にも患者の症状や処置方法・処方薬がわかるので、スムーズに治療を受けることができます。かかりつけの病院で英文診断書等を出してもらえない場合、日本旅行医学会等のHPから英文診断書を発行してくれる医師や病院を確認し、発行してもらいましょう。

■ 歯科検診

留学が決まったら早めに歯科検診を受けましょう。海外では歯科医に行きたくても何ヶ月も診察の予約が取れなかったり、実際に治療を受けた後、高額な費用を請求されることがあります。なお、長期留学の場合、大学指定の海外旅行保険で治療費の8割が補償されます（低補償プランを除く）が、歯科治療の場合は一旦自分で立替払いをする必要があります（帰国後に請求）。必要な治療は必ず日本で終わらせてから渡航してください。

■ 予防接種

海外渡航時の予防接種には、入国時に法的に要求されるものと、入学の条件として留学先大学等から要求されるものがあります。これらの予防接種を受けないと留学や旅行が不可能となりますので、詳しくは渡航先国の大使館や最寄りの検疫所、留学先大学などに確認してください。

・ 法的に要求される場合

特定の国（主にアフリカの熱帯地域や南アメリカの熱帯地域）では、入国の際に黄熱病予防接種証明書を提示しないと入国できません。またこれらの国からインドや東南アジアの国へ入国する際や、帰国時の乗り換えの際などに必要になる場合もあります。予防接種は予約制で、実施機関が限られています。厚生労働省検疫所HPで早めに確認しておきましょう。

・ 留学先の大学等から要求される場合

必要な予防接種の種類は留学先により異なりますので、早めに詳細を確認しましょう。数回（2～3回）接種が必要なものもあるので、できるだけ出発の6ヶ月以上前には医療機関または本学保健センターに相談してください。

また特に要求がなくても、破傷風や風疹等は何の国へ行くにも予防接種がすすめられていますし、はしかの抗体検査・予防接種も受けておくことをおすすめします。渡航先によってはA型・B型肝炎、狂犬病等の予防接種も要求される場合があるので、早めに自分の留学先の国と教育機関の規定を確認しましょう。

■ 持病・常用薬

・ 現在服用中の薬がある場合

持病のため普段から薬を服用している人、治療中や経過観察中の人は、その病気の経過や治療法、服用中の薬剤等に関して、主治医に診断書や処方箋等を書いてもらいましょう。できれば渡航先の国の言語で書いてもらうことが望ましいのですが、難しい場合は英文診断書でも役に立ちます。

また、薬を使用している場合は、現地ですぐに適切な医療機関が見つからない場合も考えて、2～3ヶ月分の薬を持参することをおすすめします。ただし、海外へ大量の医薬品を持ち出すときは、検疫等で問題が起こらないように必ず英文診断書等を携行しましょう。

・ 常用薬

海外では医師の処方箋がないと薬が買えないことがありますし、一般の薬局で売っている薬も日本で入手できるものとは異なる場合があるため、特に自分がよく使う薬は持参しましょう。乗り物酔い止め、頭痛・生理痛薬、腹痛・下痢止めや胃腸薬、風邪薬などは、普段自分が使っているものを持っていくと安心です。

日本から医薬品を送ってもらう場合は、国・地域によって発送に関する条件が異なりますので、出発前に必ず確認しておきましょう。

■ 体調管理

出発直前に友人等との壮行会を行い、体調を崩し出発を延期するケースが散見されます。出発前はそうしたリスクも考えて準備、行動してください。



1. 緊急時の連絡と対策

渡航中、思わぬ事件や事故に遭遇した時や自然災害等で生命が危険にさらされた場合には、直ちに救助や救援を求めましょう。このような場合に備えて、滞在国や滞在中の地域の警察や消防署、日本大使館・領事館の連絡先を必ずメモしておいてください。

また、本学指定で加入する「海外留学生トータルサポートサービス」の利用方法をあらかじめ理解し、緊急事態発生の場合はすぐに連絡してください。

2. 留学中の健康管理について

留学中の健康管理のために、自分のペースをつかんで、規則正しい生活を心がけましょう。特に食事は、栄養のバランスや食べる量など、自分で管理するしかありません。好きなものだけを好きなだけ食べて、体重は10キロも増加したのに栄養失調になった人や、ストレスから拒食症・過食症になってしまう人もいます。健康であることが充実した留学生活にもつながります。また海外では食べ物や水を介した消化器系の感染症や動物や蚊・ダニなどが媒介する感染症も発生しています。時差や気候、環境の変化からくるストレスにより免疫力が低下すると、これらの感染症にかかりやすくなります。季節性のインフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症対策同様にうがいや手洗いを励行し、食事管理（生水や氷を避け、十分に火が通った安心・安全なものを食べる）や適切な自衛（虫よけの利用、着衣の工夫、感染症発生時には人ごみに近寄らない等）を心がけましょう。またアレルギーが重症化する場合もあるため、動物やペットへのむやみな接触も避けましょう。

体調不良を感じたら早めに医師やカウンセラーに相談してください。本学の指定する「海外留学生トータルサポートサービス」でも、看護師、医師が日本語で各種相談に応じます（専門医による電話相談サービスは事前予約が必要です）。加えて、現地の病院の紹介も行っています。



渡航先での注意事項

滞在地では、その国の法の遵守は当然ながら、「目立たない」「行動を予知されない」「用心を怠らない」という“安全の三原則”を守りましょう。それが自分の身を守る安全対策につながります。

現地での行動について不安がある場合は、一人で判断せずに留学先の責任者やアドバイザー、短期留学の場合は同行教職員やホストファミリーなどに相談するようにしてください。

安全の原則 ①：目立たない
<ul style="list-style-type: none"> • 華美な身なり、目立つ格好はしない • 公共の場で大声で話をしたり、大笑いしたりしない • ウロウロ、キョロキョロしない
安全の原則 ②：行動を予知されない
<ul style="list-style-type: none"> • 自分の行動予定をむやみに他人に話さない • 行動のパターン化（移動ルートや時間などの固定化）を避ける
安全の原則 ③：用心を怠らない
<ul style="list-style-type: none"> • 親しげに近づいてくる人物を無条件に信用しない、スキを見せない • 電車や車、カフェの座席に荷物を置いたまま席を離れない • 自分の名前や住所をむやみに知らせない • 見知らぬ人からすすめられたものを安易に口にしない（パーティ等での麻薬への誘いにも注意） • 知り合って間もない人物からの誘いには要注意（特に夜間や1対1での外出） • ホームステイ先等でセクハラ等に遭わないように注意する • 夜の公園、危険な場所、雰囲気の悪い場所へは近づかない • 人けのないところを歩くのは昼間でも避ける、特に夜間の単独行動は避ける • 万一に備え、自分の旅行日程・連絡先を家族・知人に残す • ATMを利用するときは周りに注意し、道路に露出したATMはできるだけ使わない • 釣り銭などの受領時、お金を財布にきちんとしまってから次の行動に移る • 多額の現金は持ち歩かず貴重品は安全な場所に預け、パスポートはコピーを携行する • ファスナー等で閉まらず簡単に開いてしまうバッグは使わず、ショルダーバッグは斜め掛け、リュックサックは前に抱える

■貴重品の取扱い

現金、クレジットカード、パスポート、デジタルカメラ、スマートフォン、パソコンなどの貴重品が盗難に遭う被害が多数報告されています。外出先はもちろん、残念ながらホームステイ先や寮においても実際に起こっています。共同生活の中で物を紛失すると、同居人を疑わざるを得ない状況になり、お互いに非常に嫌な思いをします。そんな状況を作り出さないためにも、すぐに戻るからと安心せず、外出時には必ず部屋の鍵だけでなく、スーツケース等の鍵もかける、貴重品は目につくところに置かない、留学先大学のガイドラインに従って防止策をとるなど、十分注意してください。

■麻薬・覚醒剤・危険ドラッグ

麻薬や覚醒剤等に関する取り締まりや罰則は世界中で厳しさを増しています。麻薬関連の犯罪で科される刑罰は、日本とは比べものにならないほど重いもので、国によっては極刑に処せられることもあります。いかなる種類の麻薬でも、所持、譲渡、売買、製造、輸出入など全て厳重に禁止されています。一方、非医療用大麻（嗜好用マリファナ）についてはカナダやアメリカの一部の州において購入や所持等がすでに合法化されています。また、チョコレートやクッキーなどの菓子、飲料など「大麻入り食品」も市場に出回っているため、手軽に入手できます。しかし、日本では大麻取締法において、大麻の所持・譲受（購入を含む）等については違法とされ、合法地域での行為も処罰の対象となります。大麻を吸うと視覚・聴覚の変化や情緒不安定、集中力の低下や思考の変化等が現れ、長く続けると幻覚・妄想や暴力的な行動等、精神的に異常をきたしたり、知的機能の低下等を招くことがあります。また「危険ドラッグ」には、液体、粉末、葉片、気体とさまざまな形状のものがあり、「お香」「アロマリキッド」「合法ハーブ」「タイヤ充填用（自転車）」等と称して販売されているものもあります。その成分には、麻薬や覚醒剤等と同様の成分が含まれており、人体にとって大変有害です。これを使用すると、意識障害、おう吐、痙攣、呼吸困難等の症状を引き起こし、死に至るケースもあります。大学の寮やパーティなどで学生が遊び半分にマリファナなどをすすめてくることもあるかもしれませんが、毅然とした態度で断りましょう。そのような場に居合わせてしまった場合は、その場からできるだけ早く立ち去ることが大切です。軽い気持ちで手を出し、一生を棒に振るような結果を招かないようにしてください。

また、自らは意識しなくても、土産を手渡されたり、小荷物を託されたりする形で、不本意に麻薬を所持させられてしまうこともあります。中身のわからないものには最大の注意を払う、無用心に引き受けない、ということを忘れないでください。実際に他大学の学生が麻薬の運び屋として、逮捕された例があります。

■各種ハラスメント

文化の異なる社会においては、ジェンダーや性的行為、教員と学生の関係に文化的な差異があったり、制度や法律的な扱いが異なることもあります。ハラスメントに関する知識や現地の文化を知ることは重要です。知らないで被害を受けやすいだけでなく、思いがけず加害者になってしまう危険性すらあります。

キャンパスや寮、ホームステイ先、地域コミュニティなど場所はどこであれ、留学先において、もしセクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメント、あるいは何らかの差別的な扱いを受けたと感じたら、すぐに大学のカウンセリング・センターやインターナショナル・オフィスの留学生担当者に相談しましょう。教職員が同行する短期留学の場合は、まず同行の教職員に相談してください。プライバシーは確実に守られますので、心配は不要です。

文化によってジェンダー問題の扱われ方は大きく異なります。特に外国人の場合、人種が異なるというだけで目立ちますし、言葉が十分に話せなければ、騙される危険性も残念ながら高いと言えるでしょう。男女間においても、デート時の暗黙のルールが日本とは違っていたり、あなたの行動があなたの意図したものとは違う解釈をされてしまう危険性もあります。曖昧な態度を続けると、YESと誤解されてしまうことがありますので、嫌だと感じたら、はっきりとNOと言う態度をとることが大切です。

安心して過ごせる環境を確保することはあなたの権利であり、充実した留学生活を送るための大切な課題です。

■セーフセックス

性行動においても安全や健康に留意しましょう。コンドームの使用や禁欲的な生活は、性感染症、HIV感染等を防ぐだけでなく、望まない妊娠を避ける有効な手段となります。また海外で注意すべきなのは、文化によって性に対する考え方やモラルが異なることです。イスラム教国や仏教国等ではあからさまな性がタブー視される傾向にあり、日本とは状況がかなり異なることを認識してください。

■カルチャーショック

ある程度の期間外国で暮らしていると、程度の差はあれ必ずカルチャーショックを体験します。カルチャーショックとは、異なった文化や環境の中で、今まで自分の国や文化の中で培ってきたものが通用しなくなり、精神的な打撃を受けることです。例えば、見るもの聞くもの全てが新鮮な時期を過ぎると、だんだん周囲に疑問や反発を感じたり、敵意を抱いたりするようになります。

疲労・倦怠感、ホームシック、イライラ、うつ、食欲不振、不眠、欲求の増加、高揚感などの症状はカルチャーショック時によく見られます。

こういった症状に気づいたら、あまり深く考え込まずに身近な友人に話してみたり、気分転換に自分の好きなことや趣味に没頭してみましょう。また、日記を書いてみることは、混乱し、舞い上がっている自分を客観視できる良い対処法です。それでも症状が軽くない場合には早めに留学アドバイザーやカウンセラーなどに相談しましょう。

「せっかく留学をしているのだから日本人の友だちはいらない！」という人がいますが、つらい状況の時に微妙な心境を理解してくれるのは、やはり同じ文化・生活習慣の中で育ってきた日本人です。完全に日本人のネットワークを遮断するのではなく、困った時には助け合える良い関係を築いておきましょう。

■差別・偏見、異文化間のトラブル

留学先の国や地域で、差別や偏見を受けることは、多かれ少なかれあります。また同時に、自分の中にある差別や偏見といった意識に気がつくかもしれません。世界は実に多種多様な人々で構成されているという当然のことを、肌で感じるはずですが。価値観、考え方はもちろん、文化的背景の異なる人々にも出会うでしょう。その時大切なのは、自文化と他文化を構成するアイデンティティを意識・尊重し、人間としての尊厳をもって自らも行動し、相手にも接するということです。留学先の国の人々が、日本人をどのようなイメージで捉えているのかを知っておくことも、助けになるかもしれません。

外国人とのコミュニケーションでは、国民性による表情やジェスチャーの違いが思わぬ誤解を生むこともあります。言葉によるコミュニケーションがスムーズにいかない場合、表情やジェスチャーといった別の情報源から相手のメッセージを曲解してしまう危険度が増します。誤解が一旦生じてしまうと不信感が募り、修復不可能な状況に陥ってしまうことも珍しくありません。相手から「こんなひどいことを言われた」「こんなひどい態度を取られた」と感じた時は、素直に相手に疑問をぶつけてください。それにより、お互いの誤解はほぼ解けるでしょう。

日本人は“察する”文化の中で育っていますが、外国では言葉として“発する”ことが重要です。「郷に入っては郷に従え」で現地に溶けこむよう努めましょう。

コロナ禍が始まって以降、特にアメリカなどではアジア系住民に対する嫌がらせや暴力行為が増えています。攻撃を受けた場合は、逃げる、周囲に助けを求めるなど、被害を最小限に抑えるよう行動してください。また人けの少ない場所や乗り物、夜間の一人歩きを避けるなど、自分の身は自分で守ることが大切です。

■宗教・民族

日本では宗教に無関心な人が多いため、他国の宗教に対しても無頓着になりがちです。しかし、海外には信仰心の篤い人が多くおり、私たちの何気ない言動が相手を傷つけ、誤解や食い違いを生むこともありえます。偏見や差別などは、その多くが宗教や民族感情に根ざしており、無知や無理解がトラブルの引き金になります。渡航先の国の宗教や慣習を調べるのはもちろんですが、国際人として他国の人の宗教や文化に対する尊敬の念を忘れないよう行動しましょう。

また、記念日や祝祭日などは、その起源が宗教や歴史的な事件に関連していることが多々あります。国によっては、その前後に過激集団間の紛争や宗教的な対立が起こりやすくなる場合がありますので、留学先の国の記念日や祝祭日、安息日などについても外務省HP等で下調べをしておきましょう。

提出書類等に宗教を記入する欄がある場合、特に信仰している宗教がなければ空欄にしておきましょう。「信仰している宗教はない」という意味で「NO」と記入すると、国によっては「宗教を否定している＝無政府主義者である」とみなされ危険人物扱いを受ける場合がありますので注意してください。

■ マイノリティ

日本で体験することはほとんどないでしょうが、海外で生活を始めた途端、自分がその社会ではマイノリティ（社会的少数者・社会的弱者）であることに気づかされます。特にアジア系の居住者が少ない国や地域では、時には周囲から好奇の目で見られたり、物珍しい存在としての扱いを受けたりするかもしれません。そのため人間関係がうまく築けなかったり、存在を無視されて誤解が生じたりと、不快な気持ちを味わうこともあるかもしれませんが、ほとんどは悪意のないものです。自分の国と文化に誇りをもって毅然とした態度で臨みましょう。

■ 法律・条例

改めて言うまでもなく、留学先の国や地域は日本とは異なる法律や条例で統治され、社会的秩序が保たれています。その際気をつけたいのは、法律もまたその国の文化によって規定されているため、日本国内では当たり前で合法的な言動が、海外では非合法となる場合もあるということです。例えば、日本では20歳になると飲酒ができますが、アメリカでは21歳で、しかも州により詳細は異なります。日本の常識は海外の常識ではありません。

その国の法律や条例についての基本的な知識を得るといのは、実は大変重要なことなのです。メディアで問題視された日本人学生の世界遺産の建造物への落書きなども、こうした自覚に欠けた軽率な行為と言えます。

事故や事件を引き起こしたり巻き込まれたりしたとき、鍵を握るのは現地の法律です。万一、現地の法律や条例を犯してしまい、現地警察に逮捕・連行されるような事態に陥った時は、速やかに日本大使館や領事館と連絡を取り、弁護士を紹介してもらうなど法的な対応や適切な助言を得ることが大切です。ただし、在外公館ができることは国によってはかなり限定される場合もあります。

また、留学先機関の学則や懲罰規程なども日本の大学とは異なります。自分の留学先の規程には必ず目を通しましょう。

■ 逮捕・誤認逮捕

海外滞在中に警察に連行されたり逮捕されたりした時は、弁護人や通訳の要請を最優先に行いましょう。最初に、在留邦人の安全を主要任務としている大使館・領事館等の在外公館への連絡を要請し、領事等との面会を求め、家族・大学等への連絡支援を依頼しましょう。また、万が一差別的・非人道的な扱いを受けた時は、関係当局に改善の要求をしなくてはなりません。

■ 銃とキャンパス内の安全対策

日本でもしばしば報道されているように、北米諸国では一般市民が銃を所持する割合が高く、特にアメリカでは銃関連の犯罪が多発しています。日本とは異なり、銃犯罪は身近な問題になりえるということを認識しましょう。

危機意識の持ち方は大学生活においても同様です。アメリカの大学の多くは銃規制に関する方針（Firearms Policy）を設けていますが、許可制や登録制により大学構内に銃を持ち込むことが可能な大学も少なくありません。アメリカの大学のHPには、University PoliceやSecurity Office等の部署が独自のページを設けていて、キャンパスやその周辺の治安の確認や、犯罪関連の情報収集ができるようになっています。必ず目を通して、万が一学内で銃犯罪が起こった時にはどのように対応すればよいのか、確認しておくことが大切です。

アメリカの場合、ほとんどの大学では24時間体制の警備を行っていますので、何かあった時に助けを求められるように、場所や連絡先を確認しておきましょう。また、授業が始まると夜遅くまで図書館で勉強することもあるでしょうが、夜間の移動等には、Campus EscortやSafe Walk等のサービスがある場合、活用するようにしましょう。

■ 性暴力

統計調査等で、欧米諸国の大学のキャンパスやキャンパス周辺で性暴力に関する事件が予想以上に多いことが報告されています。このような強姦や性暴力といった痛ましい事件は、特にパーティやデートなどで飲酒した後に発生しやすいようです。望まないときにはNO!ときっぱりとした意思表示をすること。それが被害を防ぐ第一の対策です。

アメリカやカナダの大学では、University PoliceやSecurity Officerなどが24時間体制で警備を行っていますし、いざという時に助けを求められる緊急電話（Emergency Phone）が大学構内に設置されていますので、必ず場所を確認しておきましょう。被害を防ぎ自分の身を守るためには、これら緊急時のサポート制度や対策を最大限活用することが大切です。

■ Date Rape Drugに要注意！

海外で多発して社会問題になっている事件のひとつに、Date Rape Drugという薬物をアルコールやジュースに混入し、昏睡状態に陥らせて暴行におよぶというのがあります。自分の身を守るのは自分自身であることを十分認識し、対策を講じてください。信用できない人とは飲食をともにしない、信頼の置ける友人と席をともにする、他人から飲み物をもらわない、店で注文した飲み物は自分でグラスを受け取る、グラスに飲み物が入っている間は席を外さない、などを心がけましょう。

■ 政治関連

政治問題や社会制度等について議論や意見を交わすことは、語学力はもとより情報収集力や思考能力を伸ばす上でも格好の学習機会といえます。しかし、過度の議論や過激な応酬に発展しそうな場合にはクールダウンが必要です。国によっては、熱がこもりすぎてデモや暴動が発生してしまうことも全くないとはいえません。デモや情宣活動など過激な政治行動に不用意に参加したり、興味本位で近づいたりしないようにしましょう。歴史や領土等に関わる微妙な問題について、迂闊に人を刺激するような言動は慎むのが賢明です。特に政治的衝突やその影響とみられる事件・事案が生じている場合には、たとえ意見を求められたとしても、よくわからないまま、安易に意見を述べることをないように注意しましょう。

■ テロ被害に遭わないために

世界各国でテロ事件が多発しています。特に最近の傾向として、ソフトターゲット（民間人）に対するテロが増加しています。外務省「海外安全ホームページ」等で現地情報を確認し、「狙われやすい人、場所、日時」の情報を収集し、危険回避に努めてください。最終的には、個人による「予防」と「対処」が不可欠です。

・事前対策

- ①人混みを避ける（観光地、宗教施設、ホテルロビーなど）。目立つ服装を避ける。
- ②イヤホン等で外部の音を遮断しない。
- ③レストラン等では、出入口付近やガラス面の近くを避け、入口を見通せる奥の壁際か柱の近くに席をとる。

・もしテロに遭遇した場合 →発生から10分が勝負

- ①爆発音・銃撃音が聞こえたら、直ちに伏せる。
- ②頑丈な物陰に隠れる。
- ③できるだけ速やかに現場から離れ、近寄らない。
- ④避難する時間がない時は、隠れる。
- ⑤群衆パニックに巻き込まれない。冷静に。
- ⑥安全な場所に移動できたら、体に異常がないかを確認。

【爆発テロの場合】

- ①カバン等で頭部を保護し、姿勢を低くして現場を離れる。
- ②複数の爆発物が仕掛けられている可能性に注意。

【銃撃事件の場合】

- ①低い姿勢で、ジグザグに逃げる。
- ②不用意に動く狙われるので、目立たない、叫ばない。
- ③落ち着いたら、スマートフォン、携帯電話の電源を切る。

安全な場所に移動できたら、速やかに自宅および本学国際交流センターに状況報告をお願いします。事態の重大性によっては、留学の中止、帰国等の措置をとりますので、大学の指示に従ってください。

■ 自然災害

自然災害には、地震、津波、噴火、暴風雨、洪水、ハリケーン、竜巻、異常気象（猛暑、豪雨、豪雪）などがあります。特に地震や竜巻等、予測が難しい自然災害では、一瞬の判断の誤りが確実に生命に関わります。留学先の国や地域でどのような種類の自然災害が起きやすいか、いざという時はどうしたらよいかを入念に調べておき、事前の心構えを忘れないようにしましょう。暴風雨など、ある程度の予測ができるものに対しては、対処の仕方を周りに確認しておくことで安心です。また、災害発生後は衛生状態が悪くなるのが考えられるので、健康状態に留意してください。

■被害に遭ってしまったら

強盗や引ったくりに出くわした際に抵抗すると、命を失う危険もあります。むやみに抵抗しないでください。被害に遭ったら直ちに警察に届けましょう。後日、海外旅行保険の保険金請求に必要となるため、現地の警察から Damage Report / Police Report（被害届／事故調書）等を必ずもらっておいてください。

軽いケガだと思っても、思わぬ後遺障害により保険金を請求する時のためにも、必ず病院へ行き、診断書を出してもらってください。

被害に遭うと、気が動転して後の対処を怠ってしまうことがあります。警察への届け出、保険金請求の準備、パスポートや航空券などが盗まれた場合の再発行手続き、クレジットカード等が盗まれた場合のカード会社への連絡等、対応を迅速かつ適切に行ってください。

なお、本学指定で加入する「海外留学生トータルサポートサービス」に連絡すれば、必要な手続きについて日本語で説明を受けられます（24時間365日対応）。

■最悪の事態への対応

海外滞在中に死亡例が発生する可能性も全くないとは言い切れません。万が一、このような緊急事態が発生した場合、本学では第一報を入手し次第、緊急対策本部を設け、事実や身元の確認および事故処理等に最大限の努力を注ぎます。

本学では第一に在外公館の支援のもと、ご家族や関係者との連絡、遺体の荼毘あるいは日本への搬送等に関する手続き等、事故対応に最善を尽くします。

■メディアへの対応

獨協大学の学生が、本学が企画する留学で海外滞在中に事件・事故等に遭遇し、メディアからの取材を受ける場合は、基本的には本学の緊急対策本部が対応窓口となります。取材については、個人情報の取り扱いや提供情報の内容を詳細に確認した上で、本学が慎重かつ適切に対応します。

本学の危機管理について

本学では、学生・教職員の海外派遣に際し、大学として安全配慮義務を全うするとともに、万が一緊急事態が発生した場合、危機発生時に迅速かつ適切に対応するため、「海外危機対応マニュアル」を制定しています。危機発生時は、同マニュアルに基づき、関係各省庁とも連携し危機管理対応を行います。大学HPに掲載していますので、以下の順にアクセスし、出発前に一読ください。



HOME > 国際交流 > 留学関連情報 > 危機管理 > 海外における危機管理対応について > 危機管理対応マニュアル

海外渡航時に役立つサイト

		ホームページ		海外安全ホームページ		
				https://www.mofa.go.jp/mofaj/index.html		https://www.anzen.mofa.go.jp
海外安全	外務省	渡航3ヶ月未満の方 たびレジ (海外安全情報無料配信サービス)	渡航3ヶ月以上の方 ORRネット (オンライン在留届)	海外安全アプリダウンロード		
				for iPhone	for Android	
						
	NHKワールド・ラジオ日本	短波放送の受信方法・周波数		https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/radio/howto/		
健康・衛生	WHO	世界保健機関		https://www.who.int/		
	厚生労働省	新型コロナウイルス感染症について		https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html		
		検疫所FORTH 海外で健康に過ごすために		https://www.forth.go.jp		
	外務省	世界の医療事情		https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/		
日本国 在外公館 および 窓口機関	ドイツ	在ドイツ日本国大使館		https://www.de.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html		
	アメリカ	在アメリカ合衆国日本国大使館		https://www.us.emb-japan.go.jp		
	英国	在英国日本国大使館		https://www.uk.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html		
	カナダ	在カナダ日本国大使館		https://www.ca.emb-japan.go.jp		
	ジャマイカ	在ジャマイカ日本国大使館		https://www.jamaica.emb-japan.go.jp		
	オーストラリア	在オーストラリア日本国大使館		https://www.au.emb-japan.go.jp		
	インドネシア	在インドネシア日本国大使館		https://www.id.emb-japan.go.jp		
	トルコ	在トルコ日本国大使館		https://www.tr.emb-japan.go.jp		
	チェコ	在チェコ共和国日本国大使館		https://www.cz.emb-japan.go.jp		
	ウズベキスタン	在ウズベキスタン日本国大使館		https://www.uz.emb-japan.go.jp		
	フランス	在仏日本国大使館		https://www.fr.emb-japan.go.jp		
	スペイン	在スペイン日本国大使館		https://www.es.emb-japan.go.jp		
	メキシコ	在メキシコ日本国大使館		https://www.mx.emb-japan.go.jp		
	中国	在中国日本国大使館		https://www.cn.emb-japan.go.jp		
	台湾	(公財) 日本台湾交流協会		https://www.koryu.or.jp		
	韓国	在大韓民国日本国大使館		https://www.kr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/		
	国・地域別 観光サイト	ドイツ	ドイツ政府観光局		https://www.germany.travel/en/home.html	
アメリカ		GoUSA		https://www.gousa.jp		
英国		英国政府観光庁		https://www.visitbritain.com/jp		
カナダ		カナダ観光局		https://jp-keepexploring.canada.travel		
ジャマイカ		Visit Jamaica		https://www.visitjamaica.com		
オーストラリア		オーストラリア政府観光局		https://www.australia.com/ja-jp		
インドネシア		Visit Indonesia		https://www.visitindonesia.jp		
トルコ		Go Turkiye		https://goturkiye.com		
チェコ		チェコ政府観光局		https://www.visitczechrepublic.com/ja-JP		
ウズベキスタン		Uzbekistan.travel		https://uzbekistan.travel/en/		
フランス		フランス観光開発機構		https://jp.france.fr		
スペイン		スペイン政府観光局		https://www.spain.info		
メキシコ		Visit Mexico		https://visitmexico.com		
中国		中国駐東京観光代表処		http://www.cnto-tokyo.jp		
台湾		台湾観光協会		https://jp.taiwan.net.tw		
韓国	韓国観光公社		http://japanese.visitkorea.or.kr			



就職活動

<キャリアセンター>

Job Hunting

留学と就職



就職活動のグローバル化

グローバル化がますます加速するなか、企業は生き残りを賭け、海外経験豊かな学生の採用を重視しています。海外で事業展開している日本企業のなかには、国内の人材だけではなく、海外拠点での現地採用や、海外の大学に留学中の学生に内定を出すなどの「グローバル採用」を行う企業が増えています。

海外に市場を持つか否かにかかわらず、国籍を問わず優秀な人材を採用したい、外国人を採用することで社内を活性化させたいという目的でグローバル採用を実施する企業も増えています。企業だけでなく公共団体等にも、同様の動きは広がっています。今や外国人の学生も日本人にまじって就職活動をするなど、“就職活動のグローバル化”は、すでに当たり前になっているのです。グローバル人材とは、単に外国語のスキルをもつだけではなく、世界の激しい変化にも対応できる「しなやかさと逞しさ」をもち、それらをビジネスの現場で発揮できる人材をさします。海外留学は、グローバル人材になるための“はじめの一歩”だと言えるでしょう。留学先では、日本とは異なる社会の在り方や文化の違いを、自分の目で確かめ、考え、貪欲に吸収してください。そして、留学先で得た知識や出会いを通じて、自分の将来を考え、どうすれば社会に貢献できるかを、じっくり考えてください。



留学経験を就職活動に生かすために

「留学すると就職活動に不利ですか?」という質問をよく受けます。確かに、留学中は企業訪問や会社説明会に直接出席できない等の地理的な問題はありますが、海外でもグローバル採用の説明会が開催されていたり、WEBでの説明会や選考を実施する企業も増えています。また、帰国時期がエントリー時期に間に合わなくても、留学先でインターネットを駆使して情報を収集し、企業にアプローチする学生もいます。一方、就職活動にとらわれず、留學生生活を優先させる学生もいます。いずれも、自分が留学で得たものを採用担当者にしっかり説明できるようになってほしいと思います。ただ海外にいたというだけでは、就職に有利にはなりません。留学して自分がどう変わり、成長したのかを客観的に見つめ直す視点をもってください。

2025年4月採用(現大学4年生)は、会社説明会等の広報活動開始時期が3年生の3月1日以降、選考活動(面接など)が4年生の6月1日以降とされていますが、実際は早期化(3年生の夏休みごろ)しています。留学を思い当たったら早い段階からキャリアセンターにも相談し、就職に関する状況を理解した上で留学計画を立てましょう。



キャリアセンターによる「長期留学予定者のための就職ガイダンス」

キャリアセンターでは、留学が決まった学生を主対象とする「長期留学予定者のための就職ガイダンス」を開催(7月)し、出発前の注意事項、留学中にすべきこと等を説明しています。また、留学中でもPorTaⅡを活用して就職活動の準備が可能です。PorTaⅡで進路希望登録を行い、適宜キャリアセンターからの情報を掲示板[キャリア・就職支援]で収集してください。大学に届く求人情報もPorTaⅡの(キャリア支援 > 求人照会)から確認できます。現在、オンラインでのWEB相談も受け付けていますので、不安なことがあれば予約してご利用ください。大学のキャリアセンターに送られてくる求人票は、獨協大生を積極的に採用しようとする企業からの求人ですが、帰国留學生の採用を別枠で、あるいは通年で実施する企業が増えています。帰国留學生の就職活動のチャンスは広がっています。

皆さんが充実した留學生を送り、その経験を自分のキャリアに活かすことができるよう、キャリアセンターは国際交流センターとともにサポートいたします。

〔キャリアセンターメールアドレス〕shuushoku@stf.dokkyo.ac.jp

長期留学した学生の主な進路一覧

長期留学した学生の主な進路一覧（過去5年）

留学年度	ドイツ語圏	英語圏	フランス語圏	中国語圏/韓国語圏/スペイン語圏 ★は韓国語圏 ☆はスペイン語圏
2022年度	全日本空輸(株) 日本通運(株)	(株)T&K TOKA ルネサスエレクトロニクス(株) (株)時事通信社 全日本空輸(株) (株)森ビルホスピタリティコーポレーション	(株)成城石井 クリスチャンディオール合同会社 RIMOWA JAPAN(株) (株)ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ (株)JTBグローバルマーケティング&トラベル	NAAセーフティサポート(株)★ 古河電気工業(株)☆ (株)韓進インターナショナルジャパン★ (株)近鉄エクスプレス☆ 三井住友ファイナンス&リース(株)☆ クラブツーリズム(株)
2021年度		(株)ヨコソー イースタン・カーライナー(株) (公財) 日本英語検定協会	(株)JALスカイ	日鉄物流(株)☆ アサヒホールディングス(株) (一社) 国際交流サービス協会☆
2020年度	富士フィルムロジスティクス(株)	日本通運(株)	(株)三井不動産ホテルマネジメント	(株)アダストリア★ 地方公務員（茨城県・市町村）★
2019年度	(株)日立ビルシステム プリマハム(株) 日本アイ・ピー・エム(株) 西濃シエンカー(株) 日本ロジステックホールディングス(株) (株)コンピュータマインド社 (株)ムラキ 学校法人帝京大学	千代田インテグレ(株) 日本アイ・ピー・エム(株) (株)イシダ (株)NTTドコモ (株)サイバーエージェント (株)すららネット ティー・エス・ビー(株) 日本ヒューレット・パッカード(同) アマゾンジャパン(同) (株)イーオン (株)エスプール・ロジスティクス	中外鑛業(株) 三喜商事(株) (株)セブン-イレブン・ジャパン	東京東信用金庫★ (株)クイック★ 星野リゾート・マネジメント☆ (株)LAVA International★
2018年度	KOA(株) (株)プリシード・システムズ CVCF(株) ANAエアポートサービス(株) 明治安田生命保険相互会社 (株)SPILYTUS 日本ステリ(株) (一社)国際交流サービス協会	スガツネ工業(株) (株)日立製作所 日本アイ・ピー・エム(株) FICT(株) 三菱鉛筆(株) KDDI(株) ソフトバンク(株) 楽天(株) (株)ZIPAIR Tokyo (株)近鉄エクスプレス フェデラルエクスプレスジャパン合同会社 西濃シエンカー(株) 東日本旅客鉄道(株) (株)ホンダトレーディング (株)イッセイミヤケ 一村産業(株) アンカー・ジャパン(株) 日立グローバルライフソリューションズ(株) (株)コメリ アクサ生命保険(株) (株)ディ・エフ・エフ (株)国際サービス・エージェンシー 中学校教員（埼玉県） 学校法人獨協学園獨協大学 防衛省 愛媛県人事委員会	日本航空(株) エノテカ(株) (株)精クリエティブ 地方公務員（埼玉県・市町村）	グレイステクノロジー(株)☆ 伊藤忠ロジスティクス(株)★ 大王海運(株) 佐川グローバルロジスティクス(株)★ クオールホールディングス(株)★ (株)近鉄・都ホテルズ☆ グランドニッコー東京台場

「留学年度別」のデータのため、卒業年度に達していない学生の進路情報は含まれません。

ドイツ語学科 2024年3月卒業 I. K.

留 学 先：レーゲンスブルク大学（ドイツ）

留学期間：2022年4月～2023年2月（交換留学）

就 職 先：日本通運株式会社

留学が決まっている人や留学に行きたいけれど迷っている人の中には、就職活動が不安だと思っている人も多いのではないのでしょうか。そこで、ドイツに1年間留学した私の就職活動経験を皆さんにお伝えしたいと思います。

まず結論から言うと、私は留学が就職活動において不利になったと感じたことはありませんでした。むしろ、私の場合は留学に行ったことで就職活動を円滑に進めることができましたと思っています。それでは、私がどのように留学と就職活動を進めていたかについて述べたいと思います。

私は獨協に入学した当初からドイツに留学をしたいと考えていました。まず2年生の夏休みに短期留学に参加し、その後3年生の秋学期から1年間長期留学をするという計画を立てていました。しかし、2年生が始まると同時に新型コロナウイルスの感染拡大によってヨーロッパの国々はロックダウンとなり、そのため夏休みの短期留学にも行くことができなくなりました。そこでパンデミックの間はドイツ語検定試験の勉強をしたり、留学の説明会に参加したりして準備を進めていきました。結果的に当初の予定より半年遅く、4年生の春から留学がスタートすることになりました。

正直に言うと、留学前も留学中もほとんど就職活動には手をつけていませんでした。特にやりたい仕事などもなく、2023年2月末の帰国から、私の就職活動はスタートしました。3月1日に正式な広報活動が解禁され就職活動が始まりました。右も左もわからなかった私はとりあえずオンラインで行われていた合同説明会に参加し、興味を持っていた旅行業界や空輸、専門商社などの話を聞きました。いろいろな会社の説明会に参加する中で、私の中で「海外で働くチャンスがある会社がいい」という思いが強くなりました。それをきっかけに、日本の貿易を支える海運会社や海外物流を扱う企業の説明会に頻繁に参加するようになりました。

ある程度業種が絞れてきた4月になりエントリーシートの提出が始まりました。すでに就職活動を終えている友人やキャリアセンターの方に添削してもらいながら、私は留学経験を中心にエントリーシートを作成しました。例えば学生時代に力を入れたことでは、留学先で現地の学生に混じってゼミに参加し、試行錯誤を繰り返しながら研究内容の理解度が高まっていったこと、自己PRでは留学するために1年生の時から計画的に学習や貯金を進めていたことなどを書きました。エントリーシートにおいて重要なのは、自分は大学時代にどんなことを頑張って、どんなふうに工夫をして、そして自分はどうなったかという起承転結を意識して書くことだと思います。留学中の経験だけでなく、留学に向けてどんな準備をしていたのかも自分をアピールする材料になるので、その点でも留学は就職活動において有利に働くと思います。

面接でも同じように自分の特徴や強みを、留学中や留学の準備段階でのエピソードを交えながら話すことで、「計画性」や「海外志向」という自分の特徴に一貫性を出せたのではないかと思います。面接官には留学でどんなことをしたか、どうして留学したいと思ったか、どうしてドイツを選んだか、といった質問をよくされていたので、留学前に留学の目的や達成したいことなどを明確にしておくこと、さらに留学後は自身の経験の振り返りをしっかりしておくことが重要だと思います。面接を経て、私は第一志望の物流企業に内定をもらうことができました。

冒頭でも述べた通り、私は就職活動を通して留学が不利になると感じたことはありませんでした。結果的に5年かけて大学を卒業しますが、それに関して言及されることもありませんでした。目的をもって留学したことを伝えられれば全く問題はありません。大学のサポートも受けながら1年間海外で学生として生活できるのは、大学生の特権だと思いますし、何より素晴らしい思い出にもなります。もし就職活動が理由で留学に踏み切れないという人がいたら、迷わず行ってほしいと心から思います。

言語文化学科 2024年3月卒業 T. K.

留 学 先：マンチェスター大学（英国）
留学期間：2022年9月～2023年6月（交換留学）
就 職 先：ルネサスエレクトロニクス株式会社

【はじめに】

私は大学4年次の秋学期から翌年の春学期までの長期留学を経験し、卒業を1年間延期させました。留学に行くまでは、就職活動に影響が出てしまわないか不安でいっぱいでした。しかし、結果的に私にとってこの留学経験は、将来のことを真剣に考えるととても良い機会になりました。ですから、私の就職活動の経験を共有することが、同じように不安な思いを抱えている方の参考になり、また、留学へ踏み出す大きな原動力となるのではと思っています。

【留学と就職活動の両立に重要なこと】

まず、留学と就職活動の両方を充実させるためには、留学前後の就職活動の流れを確認し、具体的な計画を立てることが重要です。通常の就職活動のスケジュールでは、留学期間中に多くの企業が募集を締め切り、早期選考で学生に内定を出します。ゆえに、留学生は、いつまでに内定が欲しいのかを考え、帰国後どのような就職活動イベントに参加するのかを事前に決めておき、それに向けて履歴書の準備や面接練習を行っていく必要があります。計画性がないと、行きたい企業の応募締め切りに間に合わず、卒業までに就職活動を終わられなかったり、自分の納得いく企業に就職できる確率が低くなったりしてしまいます。そのため、留学前から就職活動の計画と準備を行うことはとても重要になります。

【留学前・留学中の就職活動】

次に、実際に私が行った留学前と留学中の就職活動準備についてご紹介します。

留学前は主に業界・企業研究をしていました。具体的には、対面・オンラインの企業説明会に参加して、より多くの業界を知ること意識していました。おすすめは、留学生・帰国生が参加する東京サマーキャリアフォーラム（選考直結型の合同企業説明会）に一度足を運んでみることです。次年度、自分が就職活動をする際に同じ企業が参加する可能性が高いため、先に業界や企業について知ることができる良い機会になります。余裕があれば、実際に履歴書やエントリーシートを作成し面接を受けてみて、就職活動の流れを知っておくことをおすすめします。

留学中は、自己分析とキャリアフォーラムの最新情報・募集要項をチェックしていました。留学中は、留学先でしかできない経験を優先していたため、たくさんのごことはできませんでしたが、最低限自分が興味のある職種や業界について日ごろから調べていました。帰国3ヶ月前の長期休み（3月）から少しずつエントリーシートを書く練習をし、キャリアセンターや友人、家族に添削をお願いしていました。また、時間があるときは、気になる企業の会社説明会に参加して、選考に参加できる場所にはトライしました。一次面接はオンライン上がほとんどなので、面接の流れをつかむ意味で有効でした。

【留学後の就職活動】

留学中から行っていた会社説明会への参加とエントリーシートの提出を継続し、気になる企業にはどんどん応募しました。また、帰国後の6月には東京サマーキャリアフォーラムに参加し、エントリーシート提出や会社説明会参加、また数社の面接を受けました。そして、すでに自分がやってみたい職種や携わりたい業界は明確になっていたため、それを実現できる企業から内定をもらった9月時点で、就職活動を終了させました。

就職活動をしていく中で、企業が留学経験者に最も求めているのは柔軟性だと感じました。私は面接で、留学先大学の授業のグループワークで自分がさまざまな国から来ている学生らの意見をまとめ作業を円滑に進めた経験を特にアピールしました。そのフィードバックとして多くの企業から、入社後は留学で培った柔軟性を活かしてほしい、と評価していただくことが多くありました。そのことから、多様な文化・価値観を持つ人と接する際の柔軟性が、企業が学生に求める重要な要件だと思っています。

【最後に】

大学3、4年次に留学へ行くことで卒業が遅れることが不安、就職活動で不利になるのではないかと考えている方は多いと思います。実際、留学に行くことは自分の準備と行動次第で就職活動において有利にも不利にもなります。無計画で留学してしまうと、折角のチャンスを逃してしまう可能性もあります。だからこそ、自分が留学をした理由や実現したいことを明確にし、帰国後の就職活動の計画を立てることが重要であると考えます。

留学に行くべきか悩んでいる方は、なぜ留学に行きたいのか、その先の将来どのように留学経験を活かしたいのかを考えてみてください。そうすることで、留学はさらに充実した経験となり、その結果として悔いのない就職活動ができると思います。



留学統計資料 (過去5年)

Statistical Data

※2019～2022年度については新型コロナウイルス感染症の影響により、留学の中止・延期が生じています（詳細はP.12参照）。

■交換留学生数

国・地域名	留学先大学	2019		2020		2021		2022		2023		過去5年間合計		大学別計	国・地域別計
		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春学期	秋学期		
ドイツ	デュースブルク=エッセン大学	2	1(1)					2	1		3	3(1)	6(1)	40(8)	
	デュッセルドルフ大学			1						1	1	1	2		
	ハイデルベルク大学	1						1	1	1	1	3	2		5
	ハレ=ヴィッテンベルク大学														0
	ヒルデスハイム大学	1	1(1)			1	1				1	2	3(1)		5(1)
	ブレーメン専門単科大学		1(1)				1		1	1	1	1	4(1)		5(1)
	ベルリン自由大学		2(1)					1	1	1	1	2	4(1)		6(1)
	マールブルク大学	2										2			2
	ミュンスター大学														0
	リュネブルク大学		1(1)		1(1)					1	1(1)	1	3(3)		4(3)
レーゲンスブルク大学	1				1	1		1	1(1)	3	2(1)	5(1)			
スイス	バーゼル大学	1	1								1	1	2	2	
アメリカ	ウイスコンシン大学スティーブンス・ポイント校		1			2		2		3		8	8	13(1)	
	カリフォルニア大学デービス校	1	3(1)			1					1	4(1)	5(1)		
	カリフォルニア州立大学モントレー・ベイ校												0		
	サンフランシスコ州立大学												0		
英国	エセックス大学		1			1				1		3	3	12	
	カーディフ大学												0		
	ニューカッスル大学		1			1		3		1		6	6		
	マンチェスター大学		1					2				3	3		
カナダ	ヨーク大学							1				1	1	1	
ジャマイカ	西インド諸島大学モナ校												0	0	
オーストラリア	ウーロンゴン大学	1						1		2		4	4	4	
	サザンクロス大学												0		
チェコ	マサリク大学		2			2				1(1)	2	1(1)	6	7(1)	7(1)
インドネシア	ピヌス大学									1		1	1	1	
フランス	西部カトリック大学	1		2	1(1)	1	5(2)	3(1)	2	2	10(2)	7(2)	17(4)	24(5)	
	フランシュ・コンテ大学		2(1)					2				4(1)	4(1)		
	リュミエール・リヨン第2大学									3		3	3		
スペイン	バルセロナ自治大学		2(2)			1	1	2		2	1	7(2)	8(2)	15(5)	
	マラガ大学		2(2)			3(1)		2				7(3)	7(3)		
メキシコ	グアダラハラ大学		3(2)			1		3		2		9(2)	9(2)	9(2)	
中国	華東師範大学		1(1)									1(1)	1(1)	3(2)	
	大連理工大学					1		1(1)				2(1)	2(1)		
	北京師範大学												0		
台湾	東呉大学		1					2	2	1	2	4	6	6	
韓国	仁荷(イナ)大学	1(1)		1		2	2	1		1(1)	4(1)	4(1)	8(2)	36(10)	
	慶熙(キョンヒ)大学	1					4		4(1)		9(1)		9(1)		
	建国(コングク)大学	2	1(1)	2(1)		1	2	1(1)	4(3)	1(1)	10(4)	4(3)	14(7)		
	誠信(ソンシン)大学									1		1	1		
	大邱(テグ)カトリック大学							1				1	1		
	延世(ヨンセ)大学	1		1		1					2	1	3		
小計		16(1)	28(15)	7(1)	2(2)	1	21(1)	18(2)	31(3)	21(5)	28(4)	63(9)	110(25)	173(34)	
合計		44(16)		9(3)		22(1)		49(5)		49(9)		173(34)			

() 内は留学期間が半年の学生の内数

■ 認定留學生数

国・地域名	2019		2020		2021		2022		2023		過去5年間合計		合計
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春学期	秋学期	
ドイツ	2	2 (1)							1 (1)		3 (1)	2 (1)	5 (2)
アメリカ		7 (3)	1 (1)					11 (3)	2 (2)	7 (1)	3 (3)	25 (7)	28 (10)
カナダ													0
英国													0
アイルランド													0
チェコ										1 (1)		1 (1)	1 (1)
エストニア		1 (1)										1 (1)	1 (1)
リトアニア	1 (1)	2 (2)									1 (1)	2 (2)	3 (3)
フィンランド		1										1	1
イタリア	2 (1)										2 (1)		2 (1)
オーストラリア	2	1 (1)		1 (1)					1 (1)	2 (2)	3 (1)	4 (4)	7 (5)
ニュージーランド													0
マレーシア									1		1		1
フランス	1 (1)	5 (4)	1 (1)	1 (1)				1 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (3)	9 (7)	12 (10)
スペイン													0
メキシコ													0
チリ													0
中国	1 (1)	1 (1)									1 (1)	1 (1)	2 (2)
台湾		1						1	1 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (1)	4 (2)
韓国	1									2 (2)	1	2 (2)	3 (2)
小計	10 (4)	21 (13)	2 (2)	2 (2)				13 (4)	7 (6)	15 (8)	19 (12)	51 (27)	70 (39)
合計	31 (17)		4 (4)				13 (4)		22 (14)		70 (39)		70 (39)

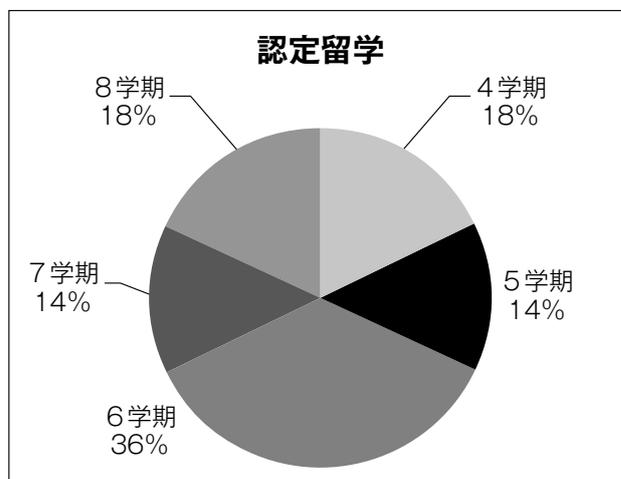
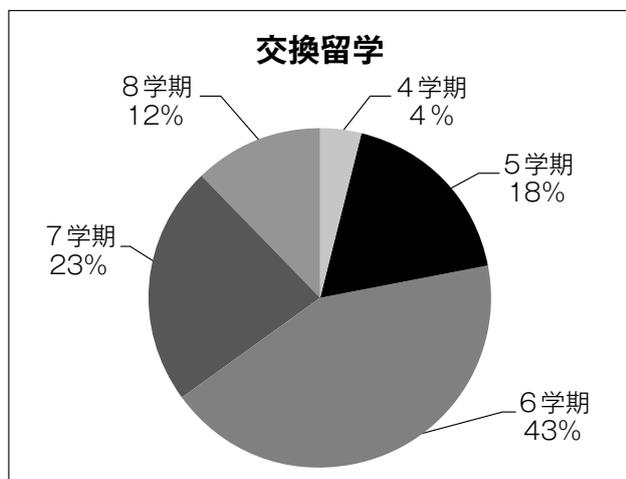
新型コロナウイルス感染症のため、派遣中止

新型コロナウイルス感染症のため、派遣中止

新型コロナウイルス感染症のため、派遣中止

() 内は留学期間が半年の学生の内数

■ 長期留学開始学期 (2023年度参考)



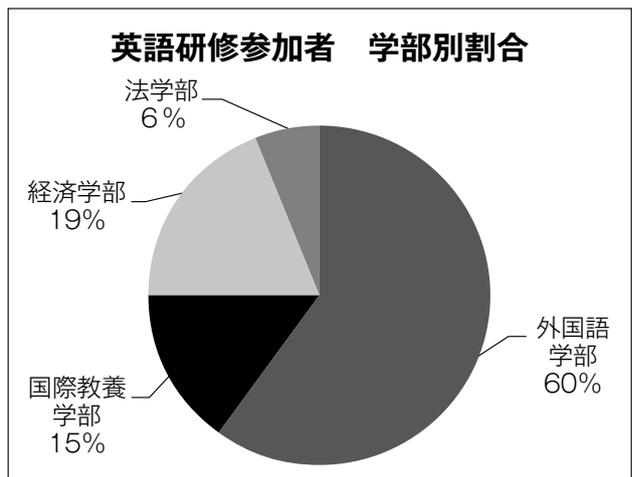
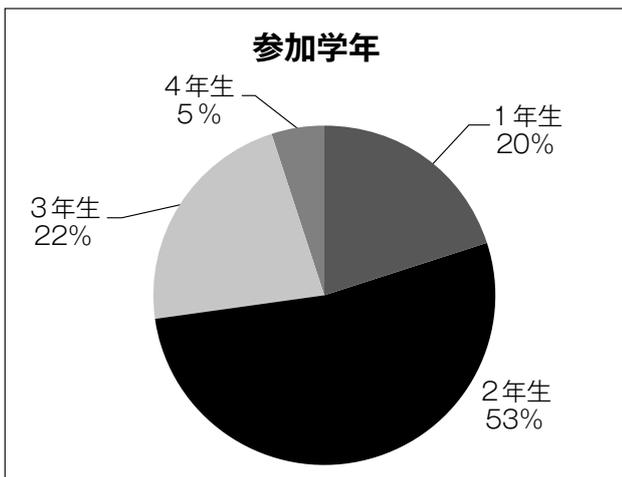
■ 短期協定校留学参加者数

国・地域名	留学先大学	2019	2020	2021	2022	2023	合計		
ドイツ	ハレ=ヴィッテンベルク大学	23	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	4	15	42		
アメリカ	ウイソコンシン大学スティーブンス・ポイント校	14			/	/	14		
	カリフォルニア大学デービス校	7			/	/	7		
カナダ	ヨーク大学	20			30	28	78		
	レジャイナ大学	/			8	27	35		
オーストラリア	ウーロンゴン大学	25			/	30	55		
フランス	ブルゴーニュ大学	12			/	14	26		
スペイン	マラガ大学	/			16	9	25		
メキシコ	グアダラハラ大学	7			/	/	7		
中国	大連理工大学	8			/	/	8		
台湾	東呉大学	/			2	中止	2		
韓国	建国（コングク）大学	16			/	/	16		
	慶熙（キョンヒ）大学	/			2	10	12		
合計		132			/	/	62	133	327

■ 短期認定留学参加者数

国・地域名	2019		2020		2021		2022		2023		合計		国・地域別								
	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春									
ドイツ		10	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	10	10																
アメリカ	3	4											7	4	11	7	22	29			
アイルランド	5	1											5	1	6						
英国	8	6											12	11	20	17	37				
カナダ															0						
オーストラリア	1	6											1	6	7						
ニュージーランド		5											12	12	5	17					
フィリピン	16	6											7	3	3	19	16	35			
マレーシア															0						
フランス		2													2	2					
スペイン	1	3													1	3	4				
中国		中止													0						
韓国		2													2	2					
合計	34	45											14	31	25	65	84	149			
		79															14	56			149

■ 短期留学（協定校・認定）参加者データ（2023年度参考）



統計資料

滞在先の緊急連絡先（留学する際に記入し、活用してください）

連絡先	施設名／住所／担当者名	電話番号／URL／メールアドレス
留学先大学		
受入担当部署		
カウンセリング		
セキュリティー		
保健センター		
その他		
滞在先		
ホテル		
アパート・寮・ ホストファミリー		
現地緊急連絡先		
日本大使館 領事館		
警察		
病院		
消防		
海外留学生 トータルサポート サービス	海外危機管理サポートデスク	

獨協大学 緊急連絡先

連絡先	施設名／住所／担当者名	電話番号／URL／メールアドレス
獨協大学	〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1	https://www.dokkyo.ac.jp/ https://www.dokkyo.ac.jp/international/
	国際交流センター	+81-48-946-1918~1920 a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp
	学生課	+81-48-946-1671
	保健センター	+81-48-946-1944
	カウンセリング・センター	+81-48-946-1931
通常業務時間：月～金 9：00～17：00、土 9：00～12：00 ※一斉休業時や上記業務時間外の緊急連絡先：+81-48-946-1698（守衛所）		



留学ガイド 2024

獨協大学 国際交流センター

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1番1号 TEL.048-946-1918~20 FAX.048-946-2892
E-mail a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp <https://www.dokkyo.ac.jp/international/>